

【公開版】

日本原燃株式会社	
資料番号	濃縮個別 52 R2
提出年月日	令和 3 年 12 月 3 日

仕様表に係る補足説明資料

本資料は、【濃縮個別 52 R1】の改訂版（R2）である。
改訂内容は以下のとおり。

- 別紙 1 添付資料 1「仕様表記載例 8」のインターロック設定値について、機器個別の設計仕様として設定値を追記した。
- 別紙 1 添付資料 1「仕様表記載例 12」について、シリンダの型式への名称変更を踏まえ、置台の名称も変更した。また、全社の整理方針に合わせ、シリンダの貯蔵本数は置台の「容量」欄に記載することとした。
- 別紙 1 添付資料 1「仕様表記載例 13」について、主要寸法として耐震設計上評価している部位の記載を追加した。
- 別紙 1 添付資料 1「仕様表記載例 23e」について、「濃縮個別 46 放射性廃棄物の廃棄施設に係る補足説明資料」の修正内容を反映し、仕様項目を修正した。

※【濃縮個別 52 R1】から変更した部分を青字にて示す。

目 次

1. 概要 1
2. 仕様表の記載内容の整理 1

添付 1 機種別の仕様表の記載方針

1. 概要

本資料は、「[全社共通 06 本文](#)（基本設計方針，仕様表等），添付書類（計算書，説明書），添付図面で記載すべき事項」（以降「[共通 06](#)」という。）の仕様表の記載方針に基づき，仕様表の記載内容を整理した結果を示し，技術基準適合性，事業変更許可申請書で示した機能・性能が，技術基準等へ適合していることを説明する上で必要な構造・性能等に係る具体的な数値等として仕様表に記載されていることを説明するものである。

2. 仕様表の記載内容の整理

第 5 回申請に係る仕様表の記載内容について，[共通 06](#) で機種別に整理した基本的な記載パターンを基に，濃縮の既認可の記載事項，事業変更許可申請書及び技術基準規則（様式-6,7）の要求事項及び発電炉の要目表の記載事項を考慮して，記載すべき事項を整理した。

第 5 回申請に係る機種別の仕様表の記載方針を[添付 1](#)に示す。

添付 1

機種別の仕様表の記載方針

仕様表記載例 1【機種：容器】

既認可の仕様表	仕様表		要求事項の整理		発電炉類似設備要目表		備考																																																																																																																																
【既認可仕様表の該当無し】	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称</td> <td>—</td> <td></td> <td>ハロンポンベ (2号中間室, 2号発 回均質室用)</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td></td> <td>一般継目なし容器</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>L/本</td> <td></td> <td>68 以上 (68^{*1})</td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力</td> <td>MPaG</td> <td></td> <td>5.2</td> </tr> <tr> <td>最高使用温度</td> <td>℃</td> <td></td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>流体等の種類</td> <td>—</td> <td></td> <td>ハロン 1301</td> </tr> <tr> <td>臨 界 管 理</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—^{*2}</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主 要 寸 法</td> <td>外径</td> <td>mm</td> <td>267.4^{*1}</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1515^{*1}</td> </tr> <tr> <td>胴部厚さ</td> <td>mm</td> <td>6.0 (6.0^{*1})</td> </tr> <tr> <td>底部厚さ</td> <td>mm</td> <td>12.0 (12.0^{*1})</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主 要 材 料</td> <td>本体</td> <td>—</td> <td>マンガン鋼^{*3}</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>本</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">取 付 箇 所</td> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>—</td> <td>ハロン消火系</td> </tr> <tr> <td>設置床 (室名称)</td> <td>—</td> <td>搬送通路 (2号発回均質室前)</td> </tr> </tbody> </table>			変更前	変更後	名称	—		ハロンポンベ (2号中間室, 2号発 回均質室用)	種類	—		一般継目なし容器	容量	L/本		68 以上 (68 ^{*1})	最高使用圧力	MPaG		5.2	最高使用温度	℃		40	流体等の種類	—		ハロン 1301	臨 界 管 理	—	—	— ^{*2}	主 要 寸 法	外径	mm	267.4 ^{*1}	高さ	mm	1515 ^{*1}	胴部厚さ	mm	6.0 (6.0 ^{*1})	底部厚さ	mm	12.0 (12.0 ^{*1})	主 要 材 料	本体	—	マンガン鋼 ^{*3}	個数	本	19	取 付 箇 所	系統名 (ライン名)	—	ハロン消火系	設置床 (室名称)	—	搬送通路 (2号発回均質室前)	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名 称</td> <td>—</td> <td></td> <td>ハロンポンベ (ほう酸水注入系ポンプA用)</td> </tr> <tr> <td>種 類</td> <td>—</td> <td></td> <td>一般継目なし容器</td> </tr> <tr> <td>容 量</td> <td>L/個</td> <td></td> <td>68 以上 (68[*])</td> </tr> <tr> <td>最 高 使 用 圧 力</td> <td>MPa</td> <td></td> <td>5.2</td> </tr> <tr> <td>最 高 使 用 温 度</td> <td>℃</td> <td></td> <td>40</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主 要 寸 法</td> <td>外 径</td> <td>mm</td> <td>265.0[*]</td> </tr> <tr> <td>高 さ</td> <td>mm</td> <td>1500[*]</td> </tr> <tr> <td>胴 部 厚 さ</td> <td>mm</td> <td>□ (5.5[*])</td> </tr> <tr> <td>底 部 厚 さ</td> <td>mm</td> <td>□ (9.0[*])</td> </tr> <tr> <td>材 料</td> <td>—</td> <td></td> <td>マンガン鋼</td> </tr> <tr> <td>個 数</td> <td>—</td> <td></td> <td>3</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">取 付 箇 所</td> <td>系 統 名 (ラ イ ン 名)</td> <td>—</td> <td>ハロンポンベ (ほう酸水注入系 ポンプA用) 消火系</td> </tr> <tr> <td>設 置 床</td> <td>—</td> <td>EL. 38.80 m</td> </tr> <tr> <td>溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>			変更前	変更後	名 称	—		ハロンポンベ (ほう酸水注入系ポンプA用)	種 類	—		一般継目なし容器	容 量	L/個		68 以上 (68 [*])	最 高 使 用 圧 力	MPa		5.2	最 高 使 用 温 度	℃		40	主 要 寸 法	外 径	mm	265.0 [*]	高 さ	mm	1500 [*]	胴 部 厚 さ	mm	□ (5.5 [*])	底 部 厚 さ	mm	□ (9.0 [*])	材 料	—		マンガン鋼	個 数	—		3	取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—	ハロンポンベ (ほう酸水注入系 ポンプA用) 消火系	設 置 床	—	EL. 38.80 m	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—		溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	—	<table border="1"> <thead> <tr> <th>技術基準</th> <th>機能要求②</th> <th>主な仕様 (詳細設計)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>様式-6,7</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>第十一条 火災等に よる損傷 の防止</td> <td>○火災の感知及び消火 火災の発生を早期に感知し、消火するために以下の対策を講じる設計とする。 ・本施設内には、火災の消火に必要な容量を有する消火器等の消火設備を設置する設計とする。 ・コールドトラップ及び均質槽には、従事者が火災の発生している室に立ち入らずに、早期かつ確実に消火できるよう遠隔操作により消火を行う設備（遠隔消火設備）を設置する。 遠隔消火設備の起動操作は、中央制御室に加え、2号発回均質室入口付近又は1号均質室入口付近においても操作可能な設計とする。</td> <td>容量 個数</td> </tr> <tr> <td>第十五条 材料及び 構造</td> <td>○材料 (1) 機械的強度及び化学的成分 容器等に使用する材料は、その使用される圧力、温度、荷重その他の使用条件に対して適切な機械的強度及び化学的成分を有する材料を使用する。 ○構造及び強度 (1) 延性破断の防止 容器等は、設計上定める条件において、全体的な変形を弾性域に抑える設計とする。 (2) 座屈による破壊の防止 容器等は、設計上定める条件において、座屈が生じない設計とする。</td> <td>主要材料 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 主要材料</td> </tr> </tbody> </table>	技術基準	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)	様式-6,7			第十一条 火災等に よる損傷 の防止	○火災の感知及び消火 火災の発生を早期に感知し、消火するために以下の対策を講じる設計とする。 ・本施設内には、火災の消火に必要な容量を有する消火器等の消火設備を設置する設計とする。 ・コールドトラップ及び均質槽には、従事者が火災の発生している室に立ち入らずに、早期かつ確実に消火できるよう遠隔操作により消火を行う設備（遠隔消火設備）を設置する。 遠隔消火設備の起動操作は、中央制御室に加え、2号発回均質室入口付近又は1号均質室入口付近においても操作可能な設計とする。	容量 個数	第十五条 材料及び 構造	○材料 (1) 機械的強度及び化学的成分 容器等に使用する材料は、その使用される圧力、温度、荷重その他の使用条件に対して適切な機械的強度及び化学的成分を有する材料を使用する。 ○構造及び強度 (1) 延性破断の防止 容器等は、設計上定める条件において、全体的な変形を弾性域に抑える設計とする。 (2) 座屈による破壊の防止 容器等は、設計上定める条件において、座屈が生じない設計とする。	主要材料 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 主要材料	<p>注記 *：公称値を示す。</p>	<p>溢水防護設計の対象外の機器であるため、溢水に係る項目(系統名、区画等)は記載していない。</p>
		変更前	変更後																																																																																																																																				
名称	—		ハロンポンベ (2号中間室, 2号発 回均質室用)																																																																																																																																				
種類	—		一般継目なし容器																																																																																																																																				
容量	L/本		68 以上 (68 ^{*1})																																																																																																																																				
最高使用圧力	MPaG		5.2																																																																																																																																				
最高使用温度	℃		40																																																																																																																																				
流体等の種類	—		ハロン 1301																																																																																																																																				
臨 界 管 理	—	—	— ^{*2}																																																																																																																																				
主 要 寸 法	外径	mm	267.4 ^{*1}																																																																																																																																				
	高さ	mm	1515 ^{*1}																																																																																																																																				
	胴部厚さ	mm	6.0 (6.0 ^{*1})																																																																																																																																				
	底部厚さ	mm	12.0 (12.0 ^{*1})																																																																																																																																				
主 要 材 料	本体	—	マンガン鋼 ^{*3}																																																																																																																																				
	個数	本	19																																																																																																																																				
取 付 箇 所	系統名 (ライン名)	—	ハロン消火系																																																																																																																																				
	設置床 (室名称)	—	搬送通路 (2号発回均質室前)																																																																																																																																				
		変更前	変更後																																																																																																																																				
名 称	—		ハロンポンベ (ほう酸水注入系ポンプA用)																																																																																																																																				
種 類	—		一般継目なし容器																																																																																																																																				
容 量	L/個		68 以上 (68 [*])																																																																																																																																				
最 高 使 用 圧 力	MPa		5.2																																																																																																																																				
最 高 使 用 温 度	℃		40																																																																																																																																				
主 要 寸 法	外 径	mm	265.0 [*]																																																																																																																																				
	高 さ	mm	1500 [*]																																																																																																																																				
	胴 部 厚 さ	mm	□ (5.5 [*])																																																																																																																																				
	底 部 厚 さ	mm	□ (9.0 [*])																																																																																																																																				
材 料	—		マンガン鋼																																																																																																																																				
個 数	—		3																																																																																																																																				
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—	ハロンポンベ (ほう酸水注入系 ポンプA用) 消火系																																																																																																																																				
	設 置 床	—	EL. 38.80 m																																																																																																																																				
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—																																																																																																																																				
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	—																																																																																																																																				
技術基準	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)																																																																																																																																					
様式-6,7																																																																																																																																							
第十一条 火災等に よる損傷 の防止	○火災の感知及び消火 火災の発生を早期に感知し、消火するために以下の対策を講じる設計とする。 ・本施設内には、火災の消火に必要な容量を有する消火器等の消火設備を設置する設計とする。 ・コールドトラップ及び均質槽には、従事者が火災の発生している室に立ち入らずに、早期かつ確実に消火できるよう遠隔操作により消火を行う設備（遠隔消火設備）を設置する。 遠隔消火設備の起動操作は、中央制御室に加え、2号発回均質室入口付近又は1号均質室入口付近においても操作可能な設計とする。	容量 個数																																																																																																																																					
第十五条 材料及び 構造	○材料 (1) 機械的強度及び化学的成分 容器等に使用する材料は、その使用される圧力、温度、荷重その他の使用条件に対して適切な機械的強度及び化学的成分を有する材料を使用する。 ○構造及び強度 (1) 延性破断の防止 容器等は、設計上定める条件において、全体的な変形を弾性域に抑える設計とする。 (2) 座屈による破壊の防止 容器等は、設計上定める条件において、座屈が生じない設計とする。	主要材料 最高使用圧力 最高使用温度 主要寸法 主要材料																																																																																																																																					

【凡例】

- : 今回の仕様表と既認可仕様表及び要求事項(様式-6,7等)が整合している項目
- : 既認可仕様表のうち、今回の仕様表に反映しない項目(反映しない理由を吹き出しにて記載)
- : 新規規制基準に係る新たな要求事項(様式-6,7等)として仕様表に追加した項目
- : 発電炉の要目表のうち、今回の仕様表に反映しない項目(反映しない理由を備考に記載)
- : 補足説明内容を示す部分

仕様表記載例 5【機種：ポンプ】

既認可の仕様表	仕様表	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																																																																																																																																																																																																																																						
<p>表-8 均質・ブレンディング設備の仕様 (2号均質パージ系ロータリポンプ)</p> <table border="1"> <tr> <td>設備機器名称</td> <td>2号均質パージ系ロータリポンプ</td> <td>区分</td> <td>均質・ブレンディング設備</td> </tr> <tr> <td>台数</td> <td>4基</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設置場所</td> <td>2号発回均質室</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>臨界管理</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>放射線防護</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐震</td> <td>第3類</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>材料・構造 (温度、圧力)</td> <td>温度: 常温 圧力: 大気圧以下</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>型式</td> <td>油回転式</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td>幅: ■■■mm 奥行: ■■■mm 高さ: ■■■mm</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>アルミニウム合金 ■■■</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>性能</td> <td>排気速度: ■■■m³/h/基</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>核燃料物質の状態</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>外部電源喪失により、ロータリポンプが停止した場合は、ロータリポンプの入口弁を自動的に閉とし、UF₆を工程内に閉じ込める。 本インターロックを図-25に示す。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>添付図</td> <td>図-9、図-14</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	設備機器名称	2号均質パージ系ロータリポンプ	区分	均質・ブレンディング設備	台数	4基			設置場所	2号発回均質室			臨界管理	—			放射線防護	—			耐震	第3類			材料・構造 (温度、圧力)	温度: 常温 圧力: 大気圧以下			型式	油回転式			主要寸法	幅: ■■■mm 奥行: ■■■mm 高さ: ■■■mm			主要材料	アルミニウム合金 ■■■			性能	排気速度: ■■■m³/h/基			核燃料物質の状態	—			その他	外部電源喪失により、ロータリポンプが停止した場合は、ロータリポンプの入口弁を自動的に閉とし、UF ₆ を工程内に閉じ込める。 本インターロックを図-25に示す。			添付図	図-9、図-14			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">仕様表</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称^{*1}</td> <td>—</td> <td>2号均質パージ系ロータリポンプ^{*8}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>種類^{*2}</td> <td>—</td> <td>油回転式</td> <td></td> </tr> <tr> <td>容量^{*3}</td> <td>m³/h/基</td> <td>■■■</td> <td></td> </tr> <tr> <td>揚程又は吐出圧力</td> <td>—</td> <td>—^{*10}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力^{*4}</td> <td>hPa</td> <td>上限: 960 下限: 0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>最高使用温度^{*4}</td> <td>℃</td> <td>40</td> <td></td> </tr> <tr> <td>流体等の種類^{*5}</td> <td>—</td> <td>排ガス^{*11}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>臨界管理</td> <td>—</td> <td>—^{*12}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>■■■</td> <td></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>■■■</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>■■■</td> <td></td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ケーシング</td> <td>—</td> <td>アルミニウム合金^{*13}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>個数^{*6}</td> <td>基</td> <td>4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>—</td> <td>均質パージ系^{*11}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>設置床 (室名称)^{*7}</td> <td>—</td> <td>2号発回均質室</td> <td></td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td>誘導電動機^{*11}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出力</td> <td>kW/基</td> <td>1.5^{*11}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>基</td> <td>4^{*11}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>—</td> <td>2号発回均質室^{*11}</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注記</p> <ul style="list-style-type: none"> *1: 記載の適正化。既設工認には「設備機器名称」と記載。 *2: 記載の適正化。既設工認には「型式」と記載。 *3: 記載の適正化。既設工認には「性能」と記載。 *4: 記載の適正化。既設工認には「材料・構造 (温度、圧力)」と記載。 *5: 記載の適正化。既設工認には「核燃料物質の状態」と記載。 *6: 記載の適正化。既設工認には「台数」と記載。 *7: 記載の適正化。既設工認には「設置場所」と記載。 *8: 本機器は、ロータリポンプ停止に伴う入口弁閉のインターロックの機能を有する設計とする。 *9: 公称値を示す。 *10: 真空ポンプであり、揚程又は吐出圧力は設計条件としないため「—」とする。 *11: 既設工認の仕様表に記載がないため、記載の適正化。記載内容は、設計図書による。 *12: 濃縮度 0.95 %未満のウランを取り扱う機器であり、臨界管理の対象外であるため「—」とする。 *13: UF₆を内包する機器ではなく、UF₆を閉じ込めるための耐食性、耐圧強度を必要としないため、JIS 規格番号は記載しない。 	仕様表		変更前	変更後	名称 ^{*1}	—	2号均質パージ系ロータリポンプ ^{*8}		種類 ^{*2}	—	油回転式		容量 ^{*3}	m³/h/基	■■■		揚程又は吐出圧力	—	— ^{*10}		最高使用圧力 ^{*4}	hPa	上限: 960 下限: 0		最高使用温度 ^{*4}	℃	40		流体等の種類 ^{*5}	—	排ガス ^{*11}		臨界管理	—	— ^{*12}		主要寸法				たて	mm	■■■		横	mm	■■■		高さ	mm	■■■		主要材料				ケーシング	—	アルミニウム合金 ^{*13}		個数 ^{*6}	基	4		取付箇所				系統名 (ライン名)	—	均質パージ系 ^{*11}		設置床 (室名称) ^{*7}	—	2号発回均質室		種類	—	誘導電動機 ^{*11}		出力	kW/基	1.5 ^{*11}		個数	基	4 ^{*11}		取付箇所	—	2号発回均質室 ^{*11}		<p>技術基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機能要求②</th> <th>主な仕様 (詳細設計)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>様式-6,7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第十条 閉じ込め機能</td> <td>○閉じ込めの機能 ・ロータリポンプが停止した場合に、ロータリポンプの入口弁を自動的に閉とし、UF₆を工程内に閉じ込めるインターロックを設ける。</td> </tr> <tr> <td>第十一条 火災等による損傷の防止</td> <td>○火災の発生防止 ・UF₆を内包する機器以外の機器については、可能な限り不燃性又は難燃性の材料 (鋼材) を使用し、火災の発生を防止する設計とする。</td> </tr> <tr> <td>第十八条 警報設備等</td> <td>○閉じ込めの機能 ・ロータリポンプが停止した場合に、ロータリポンプの入口弁を自動的に閉とし、UF₆を工程内に閉じ込めるインターロックを設ける。</td> </tr> </tbody> </table>	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)	様式-6,7		第十条 閉じ込め機能	○閉じ込めの機能 ・ロータリポンプが停止した場合に、ロータリポンプの入口弁を自動的に閉とし、UF ₆ を工程内に閉じ込めるインターロックを設ける。	第十一条 火災等による損傷の防止	○火災の発生防止 ・UF ₆ を内包する機器以外の機器については、可能な限り不燃性又は難燃性の材料 (鋼材) を使用し、火災の発生を防止する設計とする。	第十八条 警報設備等	○閉じ込めの機能 ・ロータリポンプが停止した場合に、ロータリポンプの入口弁を自動的に閉とし、UF ₆ を工程内に閉じ込めるインターロックを設ける。	<p>(2) ポンプの名称、種類、容量、揚程又は吐出圧力、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数及び取付箇所並びに原動機の種類、出力、個数及び取付箇所 (常設及び可搬型の別に記載すること。)</p> <p>・常設</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td>うず巻形^{*2}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>m³/h/個</td> <td>124.9以上^{*3} (124.9^{*3})</td> <td></td> </tr> <tr> <td>揚程^{*5}</td> <td>m</td> <td>91.4以上^{*3} (91.4^{*3})</td> <td></td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力</td> <td>MPa</td> <td>1.37^{*3}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>最高使用温度</td> <td>℃</td> <td>65.6^{*3}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>主寸法</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>吸込内径</td> <td>mm</td> <td>150^{*4, *6}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>吐出内径</td> <td>mm</td> <td>80^{*4, *6}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ケーシング厚さ</td> <td>mm</td> <td>3 (14.0^{*3, *4})</td> <td></td> </tr> <tr> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>185^{*4, *6}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>968^{*3, *4}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>704^{*4, *6}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>材料</td> <td>ケーシング^{*7}</td> <td>—</td> <td>SC46</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>—</td> <td>燃料プール冷却浄化系ポンプ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>燃料プール冷却浄化系^{*3}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>EL.29.00 m^{*3}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>RB-4-19</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要高さ</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>EL.29.20 m以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>ボンプ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td>誘導電動機^{*8}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出力</td> <td>kW/個</td> <td>55</td> <td></td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>—</td> <td>ポンプと同じ^{*2}</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注記</p> <ul style="list-style-type: none"> *1: 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ポンプ」と記載。 *2: 記載の適正化を行う。既工事計画書には「横軸単段うず巻型」と記載。 *3: 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。 *4: 公称値を示す。 *5: 記載の適正化を行う。既工事計画書には「全揚程」と記載。 *6: 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和 51 年 8 月 30 日付け建発第 98 号にて届け出した工事計画書の添付図面「第 6-5 図 燃料プール冷却浄化系ポンプ外形図」による。 *7: 記載の適正化を行う。既工事計画書には「鋼」と記載。 *8: 記載の適正化を行う。既工事計画書には「三相誘導電動機」と記載。 	名称		変更前	変更後	種類	—	うず巻形 ^{*2}		容量	m³/h/個	124.9以上 ^{*3} (124.9 ^{*3})		揚程 ^{*5}	m	91.4以上 ^{*3} (91.4 ^{*3})		最高使用圧力	MPa	1.37 ^{*3}		最高使用温度	℃	65.6 ^{*3}		主寸法				吸込内径	mm	150 ^{*4, *6}		吐出内径	mm	80 ^{*4, *6}		ケーシング厚さ	mm	3 (14.0 ^{*3, *4})		たて	mm	185 ^{*4, *6}		横	mm	968 ^{*3, *4}		高さ	mm	704 ^{*4, *6}		材料	ケーシング ^{*7}	—	SC46	個数	—	—	2	系統名 (ライン名)	—	燃料プール冷却浄化系ポンプ		設置床	—	燃料プール冷却浄化系 ^{*3}		取付箇所				設置床	—	EL.29.00 m ^{*3}		溢水防護上の区画番号	—	—	RB-4-19	溢水防護上の配慮が必要高さ	—	—	EL.29.20 m以上	名称		変更前	変更後	種類	—	誘導電動機 ^{*8}		出力	kW/個	55		個数	—	2		取付箇所	—	ポンプと同じ ^{*2}		<p>耐圧強度評価の対象外の機器であるため、厚さ等は記載していない。</p> <p>溢水防護設計の対象外の機器であるため、溢水に係る項目 (系統名、区画等) は記載していない。</p>
設備機器名称	2号均質パージ系ロータリポンプ	区分	均質・ブレンディング設備																																																																																																																																																																																																																																																																							
台数	4基																																																																																																																																																																																																																																																																									
設置場所	2号発回均質室																																																																																																																																																																																																																																																																									
臨界管理	—																																																																																																																																																																																																																																																																									
放射線防護	—																																																																																																																																																																																																																																																																									
耐震	第3類																																																																																																																																																																																																																																																																									
材料・構造 (温度、圧力)	温度: 常温 圧力: 大気圧以下																																																																																																																																																																																																																																																																									
型式	油回転式																																																																																																																																																																																																																																																																									
主要寸法	幅: ■■■mm 奥行: ■■■mm 高さ: ■■■mm																																																																																																																																																																																																																																																																									
主要材料	アルミニウム合金 ■■■																																																																																																																																																																																																																																																																									
性能	排気速度: ■■■m³/h/基																																																																																																																																																																																																																																																																									
核燃料物質の状態	—																																																																																																																																																																																																																																																																									
その他	外部電源喪失により、ロータリポンプが停止した場合は、ロータリポンプの入口弁を自動的に閉とし、UF ₆ を工程内に閉じ込める。 本インターロックを図-25に示す。																																																																																																																																																																																																																																																																									
添付図	図-9、図-14																																																																																																																																																																																																																																																																									
仕様表		変更前	変更後																																																																																																																																																																																																																																																																							
名称 ^{*1}	—	2号均質パージ系ロータリポンプ ^{*8}																																																																																																																																																																																																																																																																								
種類 ^{*2}	—	油回転式																																																																																																																																																																																																																																																																								
容量 ^{*3}	m³/h/基	■■■																																																																																																																																																																																																																																																																								
揚程又は吐出圧力	—	— ^{*10}																																																																																																																																																																																																																																																																								
最高使用圧力 ^{*4}	hPa	上限: 960 下限: 0																																																																																																																																																																																																																																																																								
最高使用温度 ^{*4}	℃	40																																																																																																																																																																																																																																																																								
流体等の種類 ^{*5}	—	排ガス ^{*11}																																																																																																																																																																																																																																																																								
臨界管理	—	— ^{*12}																																																																																																																																																																																																																																																																								
主要寸法																																																																																																																																																																																																																																																																										
たて	mm	■■■																																																																																																																																																																																																																																																																								
横	mm	■■■																																																																																																																																																																																																																																																																								
高さ	mm	■■■																																																																																																																																																																																																																																																																								
主要材料																																																																																																																																																																																																																																																																										
ケーシング	—	アルミニウム合金 ^{*13}																																																																																																																																																																																																																																																																								
個数 ^{*6}	基	4																																																																																																																																																																																																																																																																								
取付箇所																																																																																																																																																																																																																																																																										
系統名 (ライン名)	—	均質パージ系 ^{*11}																																																																																																																																																																																																																																																																								
設置床 (室名称) ^{*7}	—	2号発回均質室																																																																																																																																																																																																																																																																								
種類	—	誘導電動機 ^{*11}																																																																																																																																																																																																																																																																								
出力	kW/基	1.5 ^{*11}																																																																																																																																																																																																																																																																								
個数	基	4 ^{*11}																																																																																																																																																																																																																																																																								
取付箇所	—	2号発回均質室 ^{*11}																																																																																																																																																																																																																																																																								
機能要求②	主な仕様 (詳細設計)																																																																																																																																																																																																																																																																									
様式-6,7																																																																																																																																																																																																																																																																										
第十条 閉じ込め機能	○閉じ込めの機能 ・ロータリポンプが停止した場合に、ロータリポンプの入口弁を自動的に閉とし、UF ₆ を工程内に閉じ込めるインターロックを設ける。																																																																																																																																																																																																																																																																									
第十一条 火災等による損傷の防止	○火災の発生防止 ・UF ₆ を内包する機器以外の機器については、可能な限り不燃性又は難燃性の材料 (鋼材) を使用し、火災の発生を防止する設計とする。																																																																																																																																																																																																																																																																									
第十八条 警報設備等	○閉じ込めの機能 ・ロータリポンプが停止した場合に、ロータリポンプの入口弁を自動的に閉とし、UF ₆ を工程内に閉じ込めるインターロックを設ける。																																																																																																																																																																																																																																																																									
名称		変更前	変更後																																																																																																																																																																																																																																																																							
種類	—	うず巻形 ^{*2}																																																																																																																																																																																																																																																																								
容量	m³/h/個	124.9以上 ^{*3} (124.9 ^{*3})																																																																																																																																																																																																																																																																								
揚程 ^{*5}	m	91.4以上 ^{*3} (91.4 ^{*3})																																																																																																																																																																																																																																																																								
最高使用圧力	MPa	1.37 ^{*3}																																																																																																																																																																																																																																																																								
最高使用温度	℃	65.6 ^{*3}																																																																																																																																																																																																																																																																								
主寸法																																																																																																																																																																																																																																																																										
吸込内径	mm	150 ^{*4, *6}																																																																																																																																																																																																																																																																								
吐出内径	mm	80 ^{*4, *6}																																																																																																																																																																																																																																																																								
ケーシング厚さ	mm	3 (14.0 ^{*3, *4})																																																																																																																																																																																																																																																																								
たて	mm	185 ^{*4, *6}																																																																																																																																																																																																																																																																								
横	mm	968 ^{*3, *4}																																																																																																																																																																																																																																																																								
高さ	mm	704 ^{*4, *6}																																																																																																																																																																																																																																																																								
材料	ケーシング ^{*7}	—	SC46																																																																																																																																																																																																																																																																							
個数	—	—	2																																																																																																																																																																																																																																																																							
系統名 (ライン名)	—	燃料プール冷却浄化系ポンプ																																																																																																																																																																																																																																																																								
設置床	—	燃料プール冷却浄化系 ^{*3}																																																																																																																																																																																																																																																																								
取付箇所																																																																																																																																																																																																																																																																										
設置床	—	EL.29.00 m ^{*3}																																																																																																																																																																																																																																																																								
溢水防護上の区画番号	—	—	RB-4-19																																																																																																																																																																																																																																																																							
溢水防護上の配慮が必要高さ	—	—	EL.29.20 m以上																																																																																																																																																																																																																																																																							
名称		変更前	変更後																																																																																																																																																																																																																																																																							
種類	—	誘導電動機 ^{*8}																																																																																																																																																																																																																																																																								
出力	kW/個	55																																																																																																																																																																																																																																																																								
個数	—	2																																																																																																																																																																																																																																																																								
取付箇所	—	ポンプと同じ ^{*2}																																																																																																																																																																																																																																																																								
<p>【凡例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■: 今回の仕様表と既認可仕様表及び要求事項 (様式-6,7 等) が整合している項目 ■: 既認可仕様表のうち、今回の仕様表に反映しない項目 (反映しない理由を吹き出しにて記載) ■: 新規制基準に係る新たな要求事項 (様式-6,7 等) として仕様表に追加した項目 ■: 発電炉の要目表のうち、今回の仕様表に反映しない項目 (反映しない理由を備考に記載) ■: 補足説明内容を示す部分 	<p>【補足説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様式-6,7 の機能要求に基づき、強度評価等を伴う設備の材料は、規格番号を記載し、検査において評価どおりの材料が使用されていることを材料証明書等により確認する。 ・強度評価等を伴わない設備の材料は、火災発生防止の観点から材料名 (規格番号無し) を記載し、検査において不燃性又は難燃性材料であることをメーカー記録等により確認する。 																																																																																																																																																																																																																																																																									

仕様表記載例7【機種：ファン】

既認可の仕様表	仕様表	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																																																																																																																																								
<p>表-4 その他の主要な設備の仕様(除染排風機)</p> <table border="1"> <tr> <td>設備機器名称</td> <td>除染排風機</td> <td>区分</td> <td>除染設備</td> </tr> <tr> <td>台数</td> <td>1基</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設置場所</td> <td>除染室</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>境界管理</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>放射線防護</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐震</td> <td>第2類</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>材料・構造(温度、圧力)</td> <td>温度: 常温 圧力: _____</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>型式</td> <td>遠心式</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td>幅: 約 800 mm 奥行: 約 580 mm 高さ: 約 970 mm</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>炭素鋼 (SS 41)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>性能</td> <td>風量: 2100 m³/h 以上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>核燃料物質の状態</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>添付図</td> <td>図-4、図-5</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>該当しないため、記載を削除。</p> <p>主要設備リストで展開。</p> <p>添付書類に位置付けを変更したため、記載を削除</p>	設備機器名称	除染排風機	区分	除染設備	台数	1基			設置場所	除染室			境界管理				放射線防護				耐震	第2類			材料・構造(温度、圧力)	温度: 常温 圧力: _____			型式	遠心式			主要寸法	幅: 約 800 mm 奥行: 約 580 mm 高さ: 約 970 mm			主要材料	炭素鋼 (SS 41)			性能	風量: 2100 m ³ /h 以上			核燃料物質の状態				その他				添付図	図-4、図-5			<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称^{*1}</td> <td>—</td> <td>除染排風機</td> </tr> <tr> <td>種類^{*2}</td> <td>—</td> <td>遠心式</td> </tr> <tr> <td>容量(風量)^{*3}</td> <td>m³/h</td> <td>2150</td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力^{*4}</td> <td>—</td> <td>—^{*5}</td> </tr> <tr> <td>最高使用温度^{*4}</td> <td>℃</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>流体等の種類^{*5}</td> <td>—</td> <td>空気^{*9}</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td>たて</td> <td>mm 560^{*10}</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm 800^{*10}</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm 970^{*10}</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>—</td> <td>炭素鋼^{*11}</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">取付箇所</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—^{*12}</td> </tr> <tr> <td>設置床(室名称)^{*7}</td> <td>除染室</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">原動機</td> <td>種類</td> <td>誘導電動機^{*9}</td> </tr> <tr> <td>出力</td> <td>kW/基 5.5^{*9}</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>基 1^{*9}</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>—</td> <td>除染室^{*9}</td> </tr> </tbody> </table> <p>変更なし</p> <p>注記 *1: 記載の適正化。既設工認には「設備機器名称」と記載。 *2: 記載の適正化。既設工認には「型式」と記載。 *3: 記載の適正化。既設工認には「性能」と記載。 *4: 記載の適正化。既設工認には「材料・構造(温度、圧力)」と記載。 *5: 記載の適正化。既設工認には「核燃料物質の状態」と記載。 *6: 記載の適正化。既設工認には「台数」と記載。 *7: 記載の適正化。既設工認には「設置場所」と記載。 *8: 本機器は、大気圧付近の圧力で使用する排風機であり、その機能及び構造上の耐圧機能を必要としないため、最高圧力を設定しない。 *9: 既設工認に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。 *10: 公称値を示す。 *11: UF₆を内包する機器ではなく、UF₆を閉じ込めるための耐食性、耐圧強度を必要としないため、JIS規格番号は記載しない。 *12: 系統区別を必要としないため「—」とする。</p>		変更前	変更後	名称 ^{*1}	—	除染排風機	種類 ^{*2}	—	遠心式	容量(風量) ^{*3}	m ³ /h	2150	最高使用圧力 ^{*4}	—	— ^{*5}	最高使用温度 ^{*4}	℃	40	流体等の種類 ^{*5}	—	空気 ^{*9}	主要寸法	たて	mm 560 ^{*10}	横	mm 800 ^{*10}	高さ	mm 970 ^{*10}	主要材料	—	炭素鋼 ^{*11}	取付箇所	系統名(ライン名)	— ^{*12}	設置床(室名称) ^{*7}	除染室	原動機	種類	誘導電動機 ^{*9}	出力	kW/基 5.5 ^{*9}	個数	基 1 ^{*9}	取付箇所	—	除染室 ^{*9}	<table border="1"> <thead> <tr> <th>技術基準</th> <th>機能要求②</th> <th>主な仕様(詳細設計)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第十一条</td> <td>様式-6,7</td> <td>主要材料</td> </tr> <tr> <td>火災等による損傷の防止</td> <td>○火災の発生防止 ・UF₆を内包する機器以外の機器については、可能な限り不燃性又は難燃性の材料(鋼材)を使用し、火災の発生を防止する設計とする。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【補足説明】 ・本機器は、第1種管理区域の負圧維持に係る排風機ではないため、閉じ込め、溢水、警報、換気の条文要求に該当しない。</p>	技術基準	機能要求②	主な仕様(詳細設計)	第十一条	様式-6,7	主要材料	火災等による損傷の防止	○火災の発生防止 ・UF ₆ を内包する機器以外の機器については、可能な限り不燃性又は難燃性の材料(鋼材)を使用し、火災の発生を防止する設計とする。		<p>(5) 排風機の名称、種類、容量、主要寸法、個数及び取付箇所並びに原動機の種類、出力、個数及び取付箇所(常設及び可搬型の別に記載すること。)並びに設計上の空気の流入率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央制御室換気系フィルタ系ファン^{*1}</td> <td></td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>遠心式^{*2}</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>容量 m³/h/個^{*3}</td> <td>5100以上(5100^{*4})</td> <td></td> </tr> <tr> <td>吸込口径 mm</td> <td>450^{*4}</td> <td>391^{*4}</td> </tr> <tr> <td>吐出口径 mm</td> <td>350^{*4}×500^{*4}</td> <td>271^{*4}×321^{*4}</td> </tr> <tr> <td>たて mm</td> <td>1415^{*4}</td> <td>1230^{*4}</td> </tr> <tr> <td>横 mm</td> <td>1132^{*4}</td> <td>780^{*4}</td> </tr> <tr> <td>高さ mm</td> <td>1020^{*4}</td> <td>1250^{*4}</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>系統名(ライン名)</td> <td>中央制御室換気系フィルタ系ファン</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>EL. 23.00 m^{*5}</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>CS-3-1</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>EL. 23.00 m以上</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td>誘導電動機^{*5}</td> </tr> <tr> <td>出力 kW/個</td> <td>—</td> <td>7.5^{*5}</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td>2^{*5}</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>—</td> <td>排風機と同じ^{*5}</td> </tr> <tr> <td>設計上の空気の流入率 回/h</td> <td>—</td> <td>1.0^{*5}</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 記載の適正化を行う。既工事計画書には「排風機」と記載。 *2: 記載の適正化を行う。既工事計画書には「遠心」と記載。 *3: 記載の適正化を行う。既工事計画書には「m³/hr」と記載。 *4: 公称値を示す。 *5: 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。</p>	名	変更前	変更後	中央制御室換気系フィルタ系ファン ^{*1}		変更なし	遠心式 ^{*2}			容量 m ³ /h/個 ^{*3}	5100以上(5100 ^{*4})		吸込口径 mm	450 ^{*4}	391 ^{*4}	吐出口径 mm	350 ^{*4} ×500 ^{*4}	271 ^{*4} ×321 ^{*4}	たて mm	1415 ^{*4}	1230 ^{*4}	横 mm	1132 ^{*4}	780 ^{*4}	高さ mm	1020 ^{*4}	1250 ^{*4}	個数	—	2	系統名(ライン名)	中央制御室換気系フィルタ系ファン	変更なし	設置床	—	EL. 23.00 m ^{*5}	溢水防護上の区画番号	—	CS-3-1	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	EL. 23.00 m以上	種類	—	誘導電動機 ^{*5}	出力 kW/個	—	7.5 ^{*5}	個数	—	2 ^{*5}	取付箇所	—	排風機と同じ ^{*5}	設計上の空気の流入率 回/h	—	1.0 ^{*5}	<p>強度評価等の対象外の機器であるため、口径は記載していない。</p> <p>溢水防護設計の対象外の機器であるため、溢水に係る項目(系統名、区画等)は記載していない。</p> <p>中央制御室の居住性に係る排風機ではないため、「設計上の空気の流入率」は記載していない。</p>
設備機器名称	除染排風機	区分	除染設備																																																																																																																																																																									
台数	1基																																																																																																																																																																											
設置場所	除染室																																																																																																																																																																											
境界管理																																																																																																																																																																												
放射線防護																																																																																																																																																																												
耐震	第2類																																																																																																																																																																											
材料・構造(温度、圧力)	温度: 常温 圧力: _____																																																																																																																																																																											
型式	遠心式																																																																																																																																																																											
主要寸法	幅: 約 800 mm 奥行: 約 580 mm 高さ: 約 970 mm																																																																																																																																																																											
主要材料	炭素鋼 (SS 41)																																																																																																																																																																											
性能	風量: 2100 m ³ /h 以上																																																																																																																																																																											
核燃料物質の状態																																																																																																																																																																												
その他																																																																																																																																																																												
添付図	図-4、図-5																																																																																																																																																																											
	変更前	変更後																																																																																																																																																																										
名称 ^{*1}	—	除染排風機																																																																																																																																																																										
種類 ^{*2}	—	遠心式																																																																																																																																																																										
容量(風量) ^{*3}	m ³ /h	2150																																																																																																																																																																										
最高使用圧力 ^{*4}	—	— ^{*5}																																																																																																																																																																										
最高使用温度 ^{*4}	℃	40																																																																																																																																																																										
流体等の種類 ^{*5}	—	空気 ^{*9}																																																																																																																																																																										
主要寸法	たて	mm 560 ^{*10}																																																																																																																																																																										
	横	mm 800 ^{*10}																																																																																																																																																																										
	高さ	mm 970 ^{*10}																																																																																																																																																																										
主要材料	—	炭素鋼 ^{*11}																																																																																																																																																																										
取付箇所	系統名(ライン名)	— ^{*12}																																																																																																																																																																										
	設置床(室名称) ^{*7}	除染室																																																																																																																																																																										
原動機	種類	誘導電動機 ^{*9}																																																																																																																																																																										
	出力	kW/基 5.5 ^{*9}																																																																																																																																																																										
	個数	基 1 ^{*9}																																																																																																																																																																										
	取付箇所	—	除染室 ^{*9}																																																																																																																																																																									
技術基準	機能要求②	主な仕様(詳細設計)																																																																																																																																																																										
第十一条	様式-6,7	主要材料																																																																																																																																																																										
火災等による損傷の防止	○火災の発生防止 ・UF ₆ を内包する機器以外の機器については、可能な限り不燃性又は難燃性の材料(鋼材)を使用し、火災の発生を防止する設計とする。																																																																																																																																																																											
名	変更前	変更後																																																																																																																																																																										
中央制御室換気系フィルタ系ファン ^{*1}		変更なし																																																																																																																																																																										
遠心式 ^{*2}																																																																																																																																																																												
容量 m ³ /h/個 ^{*3}	5100以上(5100 ^{*4})																																																																																																																																																																											
吸込口径 mm	450 ^{*4}	391 ^{*4}																																																																																																																																																																										
吐出口径 mm	350 ^{*4} ×500 ^{*4}	271 ^{*4} ×321 ^{*4}																																																																																																																																																																										
たて mm	1415 ^{*4}	1230 ^{*4}																																																																																																																																																																										
横 mm	1132 ^{*4}	780 ^{*4}																																																																																																																																																																										
高さ mm	1020 ^{*4}	1250 ^{*4}																																																																																																																																																																										
個数	—	2																																																																																																																																																																										
系統名(ライン名)	中央制御室換気系フィルタ系ファン	変更なし																																																																																																																																																																										
設置床	—	EL. 23.00 m ^{*5}																																																																																																																																																																										
溢水防護上の区画番号	—	CS-3-1																																																																																																																																																																										
溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	EL. 23.00 m以上																																																																																																																																																																										
種類	—	誘導電動機 ^{*5}																																																																																																																																																																										
出力 kW/個	—	7.5 ^{*5}																																																																																																																																																																										
個数	—	2 ^{*5}																																																																																																																																																																										
取付箇所	—	排風機と同じ ^{*5}																																																																																																																																																																										
設計上の空気の流入率 回/h	—	1.0 ^{*5}																																																																																																																																																																										

【凡例】

- : 今回の仕様表と既認可仕様表及び要求事項(様式-6,7等)が整合している項目
- : 既認可仕様表のうち、今回の仕様表に反映しない項目(反映しない理由を吹き出しにて記載)
- : 新規制基準に係る新たな要求事項(様式-6,7等)として仕様表に追加した項目
- : 発電炉の要目表のうち、今回の仕様表に反映しない項目(反映しない理由を備考に記載)
- : 補足説明内容を示す部分

仕様表記載例 8【機種：フィルタ】

既認可の仕様表	仕様表	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																																																																																																																																																																		
<p>表-3 気体廃棄物の廃棄設備の仕様 (2号局所排気装置)</p> <table border="1"> <tr> <th>設備機器名称</th> <td>2号局所排気装置</td> <td>区分</td> <td>気体廃棄物の廃棄設備</td> </tr> <tr> <td>台数</td> <td>1基</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設置場所</td> <td>排気室</td> <td></td> <td>該当しないため、記載を削除。</td> </tr> <tr> <td>境界管理</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>放射線防護</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐震</td> <td>第2類</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>材料・構造 (温度、圧力)</td> <td>温度：常温 圧力：—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>型式</td> <td>バンク型 (プレフィルタ1段、HF吸着器、高性能エアフィルタ1段)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td>幅：2800mm 奥行：2400mm 高さ：2800mm</td> <td></td> <td>主要設備リストで展開。</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>本体：炭素鋼 (電気亜鉛めっき鋼板) フィルタ：グラスウール</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>性能</td> <td>局所排気装置捕集効率：99.9%以上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>核燃料物質の状態</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>(1) UF₆が漏えいした場合、2号工程用モニタで検出し警報を発するとともに自動的に緊急遮断弁を閉じ、排気を2号局所排気装置を経由して排気するラインに自動的に切替え、漏えいの拡大を防止する。 本インターロックを図-10に示す。 なお、2号局所排気装置を経由して排気するラインへ切替える機能の信頼性を上げるため、切替弁を多重化する。 (2) UF₆が漏えいしてから2号工程用モニタにより漏えいを検出し、緊急遮断弁を閉止するまでの時間は、30秒以内とする。 (3) 高性能エアフィルタの機能を適切に維持するために、HF吸着器 (HF除去効率：99.99%以上) を設ける。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>添付図</td> <td>図-3、図-6</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>添付書類に位置付けを変更したため、記載を削除。</p> <p>インターロック仕様表で展開。</p> <p>【補足説明】 ・通常時及び漏えい発生時において本機器を経由して排気しないことから溢水防護対象の対象外である。</p>	設備機器名称	2号局所排気装置	区分	気体廃棄物の廃棄設備	台数	1基			設置場所	排気室		該当しないため、記載を削除。	境界管理				放射線防護				耐震	第2類			材料・構造 (温度、圧力)	温度：常温 圧力：—			型式	バンク型 (プレフィルタ1段、HF吸着器、高性能エアフィルタ1段)			主要寸法	幅：2800mm 奥行：2400mm 高さ：2800mm		主要設備リストで展開。	主要材料	本体：炭素鋼 (電気亜鉛めっき鋼板) フィルタ：グラスウール			性能	局所排気装置捕集効率：99.9%以上			核燃料物質の状態				その他	(1) UF ₆ が漏えいした場合、2号工程用モニタで検出し警報を発するとともに自動的に緊急遮断弁を閉じ、排気を2号局所排気装置を経由して排気するラインに自動的に切替え、漏えいの拡大を防止する。 本インターロックを図-10に示す。 なお、2号局所排気装置を経由して排気するラインへ切替える機能の信頼性を上げるため、切替弁を多重化する。 (2) UF ₆ が漏えいしてから2号工程用モニタにより漏えいを検出し、緊急遮断弁を閉止するまでの時間は、30秒以内とする。 (3) 高性能エアフィルタの機能を適切に維持するために、HF吸着器 (HF除去効率：99.99%以上) を設ける。			添付図	図-3、図-6			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称^{*1}</td> <td>—</td> <td>2号局所排気装置</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>種類^{*2}</td> <td>—</td> <td>バンク型 (プレフィルタ1段、HF吸着器、高性能エアフィルタ1段)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>容量 (風量)^{*3}</td> <td>m³/h/基</td> <td>5000^{*12} *¹³</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">効率</td> <td>捕集効率</td> <td>%</td> <td>99.9以上</td> </tr> <tr> <td>HF除去効率</td> <td>%</td> <td>99.99以上</td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力^{*4}</td> <td>—</td> <td>—^{*14}</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>最高使用温度^{*1}</td> <td>°C</td> <td>40</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>流体等の種類^{*5}</td> <td>—</td> <td>排ガス^{*12}</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>2400^{*13}</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>2300^{*13}</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>2300^{*13}</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料</td> <td>管体</td> <td>—</td> <td>炭素鋼^{*15}</td> </tr> <tr> <td>ろ材</td> <td>—</td> <td>グラスウール</td> </tr> <tr> <td>個数^{*6}</td> <td>基</td> <td>1</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">取付箇所</td> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>—</td> <td>均質・ブレンディング系^{*12}</td> </tr> <tr> <td>設置床 (室名称)^{*7}</td> <td>—</td> <td>排気室</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：記載の適正化。既設工認には「設備機器名称」と記載。 *2：記載の適正化。既設工認には「型式」と記載。 *3：記載の適正化。既設工認には「性能」と記載。 *4：記載の適正化。既設工認には「材料・構造 (温度、圧力)」と記載。 *5：記載の適正化。既設工認には「核燃料物質の状態」と記載。 *6：記載の適正化。既設工認には「台数」と記載。 *7：記載の適正化。既設工認には「設置場所」と記載。 *8：本機器は、局所排気装置本体、局所排気装置切替弁及び局所排気装置バイパスライン切替弁により構成される。本機器の主機能は、工程用モニタ HF 濃度高による UF₆漏えい拡大防止のインターロックにおける局所排気装置バイパスライン切替弁の動作である。 *9：局所排気装置バイパスライン切替弁を閉止するまでの時間は、4秒以内とする。 *10：本機器は、工程用モニタ HF 濃度高による UF₆漏えい拡大防止のインターロック、地震発生時の UF₆漏えい防止インターロックの機能を有する設計とする。 *11：高性能エアフィルタの機能を適切に維持するために、HF 吸着器 (HF 除去効率：99.99%以上) を設ける。 *12：既設工認に記載がないため、記載の適正化。記載内容は、設計図書による。 *13：公称値を示す。 *14：本機器は、大気圧付近の圧力で使用するフィルタユニットであり、その機能及び構造上の耐圧機能を必要としないため、最高圧力を設定しない。 *15：UF₆を内包する機器ではなく、UF₆を閉じ込めるための耐食性、耐圧強度を必要としないため、JIS 規格番号は記載しない。</p>			変更前	変更後	名称 ^{*1}	—	2号局所排気装置	—	種類 ^{*2}	—	バンク型 (プレフィルタ1段、HF吸着器、高性能エアフィルタ1段)	—	容量 (風量) ^{*3}	m ³ /h/基	5000 ^{*12} * ¹³	—	効率	捕集効率	%	99.9以上	HF除去効率	%	99.99以上	最高使用圧力 ^{*4}	—	— ^{*14}	—	最高使用温度 ^{*1}	°C	40	—	流体等の種類 ^{*5}	—	排ガス ^{*12}	—	主要寸法	たて	mm	2400 ^{*13}	横	mm	2300 ^{*13}	高さ	mm	2300 ^{*13}	主要材料	管体	—	炭素鋼 ^{*15}	ろ材	—	グラスウール	個数 ^{*6}	基	1	—	取付箇所	系統名 (ライン名)	—	均質・ブレンディング系 ^{*12}	設置床 (室名称) ^{*7}	—	排気室	<p>技術基準</p> <p>第十条 閉じ込めの機能</p> <p>○閉じ込めの機能 ・UF₆の漏えい対策として、配管カバーの排気系に工程用モニタ及び局所排気装置を設け、UF₆が漏えいした場合に、工程用モニタにより早期に検知し、警報を発するとともに、自動的に緊急遮断弁及び局所排気系ダクトのダンパを閉止して、UF₆を配管カバー及びその排気系統内に閉じ込める設計とする。なお、均質槽及びサンプル小分け装置の加熱を停止する工程用モニタ HF 濃度高による UF₆漏えい拡大防止のインターロックを設け、排気が工程用モニタからダンパに到達する時間は、ダンパの切り替えに要する時間より十分長くなる排気風速とダクト長とすることにより、UF₆を配管カバー及びその排気系統内に閉じ込める設計とする。 前述の設備のうち、工程用モニタ、緊急遮断弁及び局所排気系ダクトのダンパを多重化することにより十分な信頼性を有する設計とする。</p> <p>第十一条 火災等の発生防止</p> <p>○火災等の発生防止 ・UF₆を内包する機器以外の機器については、可能な限り不燃性又は難燃性の材料 (鋼材) を使用し、火災の発生を防止する設計とする。</p> <p>第十八条 警報設備等</p> <p>○閉じ込めの機能 ・UF₆が漏えいした場合に、工程用モニタにより早期に検知し、警報を発するとともに、自動的に緊急遮断弁及び局所排気系ダクトのダンパを閉止するとともに、均質槽及びサンプル小分け装置の加熱を停止し、UF₆を配管カバー及びその排気系統内に閉じ込める工程用モニタ HF 濃度高による UF₆漏えい拡大防止のインターロックを設ける。 前述の設備のうち、工程用モニタ、緊急遮断弁及び局所排気系ダクトのダンパを多重化することにより十分な信頼性を有する設計とする。</p>	<p>発電炉類似設備要目表</p> <p>へ フィルター (公衆の放射線障害の防止を目的として設置するものに限る) の名称、種類、効率、主要寸法、個数及び取付箇所 (常設及び可搬型の別に記載すること。)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>フィルタ装置^{*1}、^{*4}</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>スクラビング水、金属フィルタ及び銀ゼオライト</td> </tr> <tr> <td>効率</td> <td>率^{*2} %</td> <td>—</td> <td>粒子状放射性物質 99.9 以上 無機よう素 99 以上 有機よう素 98 以上 (原子炉格納容器圧力 0.31 MPa 時ににおける定格点の値)</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">主要寸法</td> <td>胴内径</td> <td>mm</td> <td>4600^{*3}</td> </tr> <tr> <td>胴板厚さ</td> <td>mm</td> <td>□ (30.0^{*3})</td> </tr> <tr> <td>鏡板厚さ</td> <td>mm</td> <td>□ (30.0^{*3})</td> </tr> <tr> <td>鏡板の形状に係る寸法</td> <td>mm</td> <td>4600^{*3} (鏡板径) 1150^{*3} (鏡板短径の2分の1)</td> </tr> <tr> <td>管台外径 (ベントガス入口)</td> <td>mm</td> <td>457.2^{*3}</td> </tr> <tr> <td>管台厚さ (ベントガス入口)</td> <td>mm</td> <td>□ (14.3^{*3})</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">取付箇所</td> <td>管台外径 (ベントガス出口)</td> <td>mm</td> <td>355.6^{*3}</td> </tr> <tr> <td>管台厚さ (ベントガス出口)</td> <td>mm</td> <td>□ (11.1^{*3})</td> </tr> <tr> <td>マンホール外径</td> <td>mm</td> <td>609.6^{*3}</td> </tr> <tr> <td>マンホール厚さ</td> <td>mm</td> <td>□ (20.0^{*3})</td> </tr> <tr> <td>マンホール平板厚さ</td> <td>mm</td> <td>□ (83.2^{*3})</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>10000^{*3}</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">取付箇所</td> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>—</td> <td>フィルタ装置 格納容器圧力逃がし装置</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>格納容器圧力逃がし装置格納槽</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">取付箇所</td> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備 (格納容器圧力逃がし装置) と兼用する。 *2：重大事故等時における使用時の値を示す。 *3：公称値を示す。 *4：本設備は、容器として使用するフィルタ装置と同一機器である。</p>			変更前	変更後	名称	—	—	フィルタ装置 ^{*1} 、 ^{*4}	種類	—	—	スクラビング水、金属フィルタ及び銀ゼオライト	効率	率 ^{*2} %	—	粒子状放射性物質 99.9 以上 無機よう素 99 以上 有機よう素 98 以上 (原子炉格納容器圧力 0.31 MPa 時ににおける定格点の値)	主要寸法	胴内径	mm	4600 ^{*3}	胴板厚さ	mm	□ (30.0 ^{*3})	鏡板厚さ	mm	□ (30.0 ^{*3})	鏡板の形状に係る寸法	mm	4600 ^{*3} (鏡板径) 1150 ^{*3} (鏡板短径の2分の1)	管台外径 (ベントガス入口)	mm	457.2 ^{*3}	管台厚さ (ベントガス入口)	mm	□ (14.3 ^{*3})	取付箇所	管台外径 (ベントガス出口)	mm	355.6 ^{*3}	管台厚さ (ベントガス出口)	mm	□ (11.1 ^{*3})	マンホール外径	mm	609.6 ^{*3}	マンホール厚さ	mm	□ (20.0 ^{*3})	マンホール平板厚さ	mm	□ (83.2 ^{*3})	高さ	mm	10000 ^{*3}	個数	—	—	1	取付箇所	系統名 (ライン名)	—	フィルタ装置 格納容器圧力逃がし装置	設置床	—	格納容器圧力逃がし装置格納槽	取付箇所	溢水防護上の区画番号	—	—	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—	取付箇所	—	—	<p>強度評価等の対象外の機器であるため、口径は記載していない。</p> <p>溢水防護設計の対象外の機器であるため、溢水に係る項目 (系統名、区画等) は記載していない。</p>
設備機器名称	2号局所排気装置	区分	気体廃棄物の廃棄設備																																																																																																																																																																																																			
台数	1基																																																																																																																																																																																																					
設置場所	排気室		該当しないため、記載を削除。																																																																																																																																																																																																			
境界管理																																																																																																																																																																																																						
放射線防護																																																																																																																																																																																																						
耐震	第2類																																																																																																																																																																																																					
材料・構造 (温度、圧力)	温度：常温 圧力：—																																																																																																																																																																																																					
型式	バンク型 (プレフィルタ1段、HF吸着器、高性能エアフィルタ1段)																																																																																																																																																																																																					
主要寸法	幅：2800mm 奥行：2400mm 高さ：2800mm		主要設備リストで展開。																																																																																																																																																																																																			
主要材料	本体：炭素鋼 (電気亜鉛めっき鋼板) フィルタ：グラスウール																																																																																																																																																																																																					
性能	局所排気装置捕集効率：99.9%以上																																																																																																																																																																																																					
核燃料物質の状態																																																																																																																																																																																																						
その他	(1) UF ₆ が漏えいした場合、2号工程用モニタで検出し警報を発するとともに自動的に緊急遮断弁を閉じ、排気を2号局所排気装置を経由して排気するラインに自動的に切替え、漏えいの拡大を防止する。 本インターロックを図-10に示す。 なお、2号局所排気装置を経由して排気するラインへ切替える機能の信頼性を上げるため、切替弁を多重化する。 (2) UF ₆ が漏えいしてから2号工程用モニタにより漏えいを検出し、緊急遮断弁を閉止するまでの時間は、30秒以内とする。 (3) 高性能エアフィルタの機能を適切に維持するために、HF吸着器 (HF除去効率：99.99%以上) を設ける。																																																																																																																																																																																																					
添付図	図-3、図-6																																																																																																																																																																																																					
		変更前	変更後																																																																																																																																																																																																			
名称 ^{*1}	—	2号局所排気装置	—																																																																																																																																																																																																			
種類 ^{*2}	—	バンク型 (プレフィルタ1段、HF吸着器、高性能エアフィルタ1段)	—																																																																																																																																																																																																			
容量 (風量) ^{*3}	m ³ /h/基	5000 ^{*12} * ¹³	—																																																																																																																																																																																																			
効率	捕集効率	%	99.9以上																																																																																																																																																																																																			
	HF除去効率	%	99.99以上																																																																																																																																																																																																			
最高使用圧力 ^{*4}	—	— ^{*14}	—																																																																																																																																																																																																			
最高使用温度 ^{*1}	°C	40	—																																																																																																																																																																																																			
流体等の種類 ^{*5}	—	排ガス ^{*12}	—																																																																																																																																																																																																			
主要寸法	たて	mm	2400 ^{*13}																																																																																																																																																																																																			
	横	mm	2300 ^{*13}																																																																																																																																																																																																			
	高さ	mm	2300 ^{*13}																																																																																																																																																																																																			
主要材料	管体	—	炭素鋼 ^{*15}																																																																																																																																																																																																			
	ろ材	—	グラスウール																																																																																																																																																																																																			
個数 ^{*6}	基	1	—																																																																																																																																																																																																			
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	均質・ブレンディング系 ^{*12}																																																																																																																																																																																																			
	設置床 (室名称) ^{*7}	—	排気室																																																																																																																																																																																																			
		変更前	変更後																																																																																																																																																																																																			
名称	—	—	フィルタ装置 ^{*1} 、 ^{*4}																																																																																																																																																																																																			
種類	—	—	スクラビング水、金属フィルタ及び銀ゼオライト																																																																																																																																																																																																			
効率	率 ^{*2} %	—	粒子状放射性物質 99.9 以上 無機よう素 99 以上 有機よう素 98 以上 (原子炉格納容器圧力 0.31 MPa 時ににおける定格点の値)																																																																																																																																																																																																			
主要寸法	胴内径	mm	4600 ^{*3}																																																																																																																																																																																																			
	胴板厚さ	mm	□ (30.0 ^{*3})																																																																																																																																																																																																			
	鏡板厚さ	mm	□ (30.0 ^{*3})																																																																																																																																																																																																			
	鏡板の形状に係る寸法	mm	4600 ^{*3} (鏡板径) 1150 ^{*3} (鏡板短径の2分の1)																																																																																																																																																																																																			
	管台外径 (ベントガス入口)	mm	457.2 ^{*3}																																																																																																																																																																																																			
	管台厚さ (ベントガス入口)	mm	□ (14.3 ^{*3})																																																																																																																																																																																																			
取付箇所	管台外径 (ベントガス出口)	mm	355.6 ^{*3}																																																																																																																																																																																																			
	管台厚さ (ベントガス出口)	mm	□ (11.1 ^{*3})																																																																																																																																																																																																			
	マンホール外径	mm	609.6 ^{*3}																																																																																																																																																																																																			
	マンホール厚さ	mm	□ (20.0 ^{*3})																																																																																																																																																																																																			
	マンホール平板厚さ	mm	□ (83.2 ^{*3})																																																																																																																																																																																																			
	高さ	mm	10000 ^{*3}																																																																																																																																																																																																			
個数	—	—	1																																																																																																																																																																																																			
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	フィルタ装置 格納容器圧力逃がし装置																																																																																																																																																																																																			
	設置床	—	格納容器圧力逃がし装置格納槽																																																																																																																																																																																																			
取付箇所	溢水防護上の区画番号	—	—																																																																																																																																																																																																			
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—																																																																																																																																																																																																			
	取付箇所	—	—																																																																																																																																																																																																			

- 【凡例】
- : 今回の仕様表と既認可仕様表及び要求事項 (様式-6, 7 等) が整合している項目
 - : 既認可仕様表のうち、今回の仕様表に反映しない項目 (反映しない理由を吹き出しにて記載)
 - : 新規基準に係る新たな要求事項 (様式-6, 7 等) として仕様表に追加した項目
 - : 発電炉の要目表のうち、今回の仕様表に反映しない項目 (反映しない理由を備考に記載)
 - : 補足説明内容を示す部分

※赤字で示した箇所は、設工認申請書の記載の充実化。適正化を図る箇所を示す。

仕様表記載例 12 【機種：ラック／ピット／棚】

既認可の仕様表	仕様表	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																																																																																																															
<p>表-2 貯蔵設備の仕様 (製品シリンダ置台 (充填))</p> <table border="1"> <tr> <td>設備機器名称</td> <td>製品シリンダ置台 (充填)</td> <td>区分</td> <td>貯蔵設備</td> </tr> <tr> <td>台数</td> <td>156組 (2個/組)</td> <td></td> <td>89組 (2個/組)</td> </tr> <tr> <td>設置場所</td> <td>Bウラン貯蔵庫</td> <td></td> <td>Aウラン貯蔵庫</td> </tr> <tr> <td>臨界管理</td> <td colspan="3">製品シリンダ置台 (充填) に積載する製品シリンダ (充填) の相互間隔30cm以上</td> </tr> <tr> <td>放射線防護</td> <td colspan="3">—</td> </tr> <tr> <td>耐震</td> <td colspan="3">第1類</td> </tr> <tr> <td>材料・構造 (温度、圧力)</td> <td colspan="3">—</td> </tr> <tr> <td>型式</td> <td colspan="3">(積載物: 製品シリンダ (充填) (ANSI規格 30B) 1本/組)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td>幅: 100 mm</td> <td colspan="2">該当しないため、記載を削除。</td> </tr> <tr> <td>全長: 700 mm</td> <td colspan="2">主要設備リストで展開。</td> </tr> <tr> <td>高さ: 177 mm</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td colspan="3">炭素鋼 (SS400)</td> </tr> <tr> <td>性能</td> <td colspan="3">—</td> </tr> <tr> <td>核燃料物質の状態</td> <td colspan="3">—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">その他</td> <td colspan="3">Aウラン貯蔵庫内の製品シリンダ置台 (充填) は、既認可済の55組を含め、合計144組となる。</td> </tr> <tr> <td colspan="3">—</td> </tr> <tr> <td>添付図</td> <td>図-2、図-6</td> <td></td> <td>図-2、図-8</td> </tr> </table> <p>添付書類に位置付けを変更したため、記載を削除。</p> <p>該当しないため、記載を削除。</p>	設備機器名称	製品シリンダ置台 (充填)	区分	貯蔵設備	台数	156組 (2個/組)		89組 (2個/組)	設置場所	Bウラン貯蔵庫		Aウラン貯蔵庫	臨界管理	製品シリンダ置台 (充填) に積載する製品シリンダ (充填) の相互間隔30cm以上			放射線防護	—			耐震	第1類			材料・構造 (温度、圧力)	—			型式	(積載物: 製品シリンダ (充填) (ANSI規格 30B) 1本/組)			主要寸法	幅: 100 mm	該当しないため、記載を削除。		全長: 700 mm	主要設備リストで展開。		高さ: 177 mm			主要材料	炭素鋼 (SS400)			性能	—			核燃料物質の状態	—			その他	Aウラン貯蔵庫内の製品シリンダ置台 (充填) は、既認可済の55組を含め、合計144組となる。			—			添付図	図-2、図-6		図-2、図-8	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称^{*1}</td> <td>—</td> <td>ANSI 又は ISO 規格 30B 置台^{*5}</td> </tr> <tr> <td>種類^{*2}</td> <td>—</td> <td>—^{*6}</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>—</td> <td>ANSI 又は ISO 規格 30B 及び付着ウラン回収容器^{*7} 300本^{*8}</td> </tr> <tr> <td>臨界管理</td> <td>他ユニットとの相互間隔</td> <td>cm 30以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td>たて</td> <td>mm 700^{*9}</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm 100^{*9}</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm 177^{*9}</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>—</td> <td>炭素鋼^{*10}</td> </tr> <tr> <td>個数^{*3}</td> <td>組</td> <td>300 (2個/組^{*11})</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">取付箇所</td> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>—^{*12}</td> </tr> <tr> <td>設置床 (室名称)^{*4}</td> <td>Aウラン貯蔵室 Bウラン貯蔵室</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 記載の適正化。既設工認には「設備機器名称」と記載。 *2: 記載の適正化。既設工認には「型式」と記載。 *3: 記載の適正化。既設工認には「台数」と記載。 *4: 記載の適正化。既設工認には「設置場所」と記載。 *5: ANSI 又は ISO 規格 30B 置台は、事業変更許可申請書の主要な設備及び機器で示す製品シリンダ置台 (充填) である。 *6: 種別を必要としないため「—」とする。 *7: 本機器は、ANSI 又は ISO 規格 30B (製品シリンダ及び廃品シリンダ) 及び付着ウラン回収容器を積載し貯蔵する。 *8: 本機器で貯蔵する ANSI 又は ISO 規格 30B のうち廃品シリンダは 3 t-U 以下とし、付着ウラン回収容器は 12 本以下とする。 *9: 公称値を示す。 *10: UF₆ を内包する機器ではなく、UF₆ を閉じ込めるための耐食性、耐圧強度を必要としないため、JIS 規格番号は記載しない。 *11: 1組の置台は2個の支持台で構成される。^⑤ *12: 系統区別を必要としないため「—」とする。</p>		変更前	変更後	名称 ^{*1}	—	ANSI 又は ISO 規格 30B 置台 ^{*5}	種類 ^{*2}	—	— ^{*6}	容量	—	ANSI 又は ISO 規格 30B 及び付着ウラン回収容器 ^{*7} 300本 ^{*8}	臨界管理	他ユニットとの相互間隔	cm 30以上	主要寸法	たて	mm 700 ^{*9}	横	mm 100 ^{*9}	高さ	mm 177 ^{*9}	主要材料	—	炭素鋼 ^{*10}	個数 ^{*3}	組	300 (2個/組 ^{*11})	取付箇所	系統名 (ライン名)	— ^{*12}	設置床 (室名称) ^{*4}	Aウラン貯蔵室 Bウラン貯蔵室	<table border="1"> <thead> <tr> <th>技術基準</th> <th>機能要求^②</th> <th>主な仕様 (詳細設計)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第四条</td> <td>○複数ユニットの臨界安全設計 複数ユニットは実効増倍率が 0.95 以下となる配置とし、機器同士が接触しても臨界となるおそれはないが、安全設計上の管理として次の対応を行う。 ・コールドトラップ、製品シリンダ、中間製品容器及び減圧槽は、それぞれ他のユニットと相互の間隔が 30 cm 以上となるように配置する。</td> <td>他ユニットとの相互間隔</td> </tr> <tr> <td>第十一条</td> <td>○火災の発生防止 ・UF₆ を内包する機器以外の機器については、可能な限り不燃性又は難燃性の材料 (鋼材) を使用し、火災の発生を防止する設計とする。</td> <td>主要材料</td> </tr> </tbody> </table> <p>【補足説明】 ①シリンダの名称変更を踏まえ、置台の名称も変更する。 ②貯蔵本数の示し方については、全社での整理において、核燃料物質を貯蔵する「ラック/ピット/棚」の最大貯蔵能力は仕様表の「容量」欄に記載することとしているため、左記のとおり「容量」欄に貯蔵本数を記載し整合を図る (他施設のキャスクの申請では、「貯蔵建屋」の仕様表 (容量欄) に貯蔵本数を記載しているが、本施設では必要な置台は既認可で設置済みであり、貯蔵本数は置台の個数で制限できることから、全社での整理のとおり「置台」の仕様表 (容量欄) に貯蔵本数を記載する。) ③注記により事業変更許可申請書の機器名称との関係を明確にする。 ④積載するシリンダの種類を明確化する。 ⑤「2個/組」の説明を注記に追加する。</p>	技術基準	機能要求 ^②	主な仕様 (詳細設計)	第四条	○複数ユニットの臨界安全設計 複数ユニットは実効増倍率が 0.95 以下となる配置とし、機器同士が接触しても臨界となるおそれはないが、安全設計上の管理として次の対応を行う。 ・コールドトラップ、製品シリンダ、中間製品容器及び減圧槽は、それぞれ他のユニットと相互の間隔が 30 cm 以上となるように配置する。	他ユニットとの相互間隔	第十一条	○火災の発生防止 ・UF ₆ を内包する機器以外の機器については、可能な限り不燃性又は難燃性の材料 (鋼材) を使用し、火災の発生を防止する設計とする。	主要材料	<p>(3) 使用済燃料貯蔵ラックの名称、種類、容量、主要寸法、材料及び個数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th colspan="2">変更前</th> <th>変更後</th> </tr> <tr> <th colspan="2">使用済燃料貯蔵ラック</th> <th>使用済燃料貯蔵ラック^{*5}</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種類</td> <td colspan="2">たて置ラック式</td> <td rowspan="5">変更なし</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>70</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>中心間距離</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>のり</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>厚さ</td> <td>mm</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>材料</td> <td colspan="2">—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>7</td> <td>16</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。 *2: 記載の適正化を行う。既工事計画書にはベースを含む高さである「4493」と記載。記載内容は、設計図書による。 *3: 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成6年4月19日付け6資庁第2531号にて認可された工事計画の添付書類「2-2-1-1 使用済燃料貯蔵ラックの耐震性についての計算書」による。 *4: 別紙 [] 規格表参照。 *5: 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備 (代替燃料プール注水系、代替燃料プール冷却系) と兼用する。</p> <p>【補足説明】 ・シリンダ置台は、核燃料物質を内包する設備ではないため、臨界管理の対象外であるが、積載するシリンダが臨界管理の対象であることから、シリンダ置台にて核的に安全な配置を確保 (他ユニットとの相互間隔の確保) する。</p>	名称	変更前		変更後	使用済燃料貯蔵ラック		使用済燃料貯蔵ラック ^{*5}	種類	たて置ラック式		変更なし	容量	70	110	主要寸法	高さ	mm		中心間距離	mm		のり	mm		厚さ	mm			材料	—			個数	7	16		
設備機器名称	製品シリンダ置台 (充填)	区分	貯蔵設備																																																																																																																																																
台数	156組 (2個/組)		89組 (2個/組)																																																																																																																																																
設置場所	Bウラン貯蔵庫		Aウラン貯蔵庫																																																																																																																																																
臨界管理	製品シリンダ置台 (充填) に積載する製品シリンダ (充填) の相互間隔30cm以上																																																																																																																																																		
放射線防護	—																																																																																																																																																		
耐震	第1類																																																																																																																																																		
材料・構造 (温度、圧力)	—																																																																																																																																																		
型式	(積載物: 製品シリンダ (充填) (ANSI規格 30B) 1本/組)																																																																																																																																																		
主要寸法	幅: 100 mm	該当しないため、記載を削除。																																																																																																																																																	
	全長: 700 mm	主要設備リストで展開。																																																																																																																																																	
	高さ: 177 mm																																																																																																																																																		
主要材料	炭素鋼 (SS400)																																																																																																																																																		
性能	—																																																																																																																																																		
核燃料物質の状態	—																																																																																																																																																		
その他	Aウラン貯蔵庫内の製品シリンダ置台 (充填) は、既認可済の55組を含め、合計144組となる。																																																																																																																																																		
	—																																																																																																																																																		
添付図	図-2、図-6		図-2、図-8																																																																																																																																																
	変更前	変更後																																																																																																																																																	
名称 ^{*1}	—	ANSI 又は ISO 規格 30B 置台 ^{*5}																																																																																																																																																	
種類 ^{*2}	—	— ^{*6}																																																																																																																																																	
容量	—	ANSI 又は ISO 規格 30B 及び付着ウラン回収容器 ^{*7} 300本 ^{*8}																																																																																																																																																	
臨界管理	他ユニットとの相互間隔	cm 30以上																																																																																																																																																	
主要寸法	たて	mm 700 ^{*9}																																																																																																																																																	
	横	mm 100 ^{*9}																																																																																																																																																	
	高さ	mm 177 ^{*9}																																																																																																																																																	
主要材料	—	炭素鋼 ^{*10}																																																																																																																																																	
個数 ^{*3}	組	300 (2個/組 ^{*11})																																																																																																																																																	
取付箇所	系統名 (ライン名)	— ^{*12}																																																																																																																																																	
	設置床 (室名称) ^{*4}	Aウラン貯蔵室 Bウラン貯蔵室																																																																																																																																																	
技術基準	機能要求 ^②	主な仕様 (詳細設計)																																																																																																																																																	
第四条	○複数ユニットの臨界安全設計 複数ユニットは実効増倍率が 0.95 以下となる配置とし、機器同士が接触しても臨界となるおそれはないが、安全設計上の管理として次の対応を行う。 ・コールドトラップ、製品シリンダ、中間製品容器及び減圧槽は、それぞれ他のユニットと相互の間隔が 30 cm 以上となるように配置する。	他ユニットとの相互間隔																																																																																																																																																	
第十一条	○火災の発生防止 ・UF ₆ を内包する機器以外の機器については、可能な限り不燃性又は難燃性の材料 (鋼材) を使用し、火災の発生を防止する設計とする。	主要材料																																																																																																																																																	
名称	変更前		変更後																																																																																																																																																
	使用済燃料貯蔵ラック		使用済燃料貯蔵ラック ^{*5}																																																																																																																																																
種類	たて置ラック式		変更なし																																																																																																																																																
容量	70	110																																																																																																																																																	
主要寸法	高さ	mm																																																																																																																																																	
	中心間距離	mm																																																																																																																																																	
	のり	mm																																																																																																																																																	
厚さ	mm																																																																																																																																																		
材料	—																																																																																																																																																		
個数	7	16																																																																																																																																																	

※赤字で示した箇所は、設工認申請書の記載の充実化。適正化を図る箇所を示す。

【凡例】

- : 今回の仕様表と既認可仕様表及び要求事項 (様式-6,7 等) が整合している項目
- : 既認可仕様表のうち、今回の仕様表に反映しない項目 (反映しない理由を吹き出しにて記載)
- : 新規基準に係る新たな要求事項 (様式-6,7 等) として仕様表に追加した項目
- : 発電炉の要目表のうち、今回の仕様表に反映しない項目 (反映しない理由を備考に記載)
- : 補足説明内容を示す部分

仕様表記載例 13【機種：搬送設備】

既認可の仕様表	仕様表	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																																																																																																																																																																																		
<p>表-1 搬送設備の仕様 (ウラン貯蔵建屋天井走行クレーンA、B、C)</p> <table border="1"> <tr> <td>設備機器名称</td> <td>ウラン貯蔵建屋天井走行クレーンA、B、C</td> <td>区分</td> <td>搬送設備</td> </tr> <tr> <td>台数</td> <td>3基</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設置場所</td> <td>ウラン貯蔵庫</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>臨界管理</td> <td>---</td> <td></td> <td>主要設備リストで展開。</td> </tr> <tr> <td>放射線防護</td> <td>---</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐震</td> <td>第3類</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>材料・構造 (温度、圧力)</td> <td>---</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>型式</td> <td>ホイスト式 (定格荷重: 16 t)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td>スパン: 約 10460 mm サドルホイストベース: 約 4800 mm</td> <td></td> <td>該当しないため、記載を削除。</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>炭素鋼 (SS 41)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>性能</td> <td>---</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>核燃料物質の状態</td> <td>---</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>(1) シリンダ類の最下面までの吊上げ高さは、高さ制限機構により、1.2m以下に制限する。 (2) 電源喪失により動力の供給が停止した場合は、そのままの状態でもシリンダ類を保持する。 (3) 耐震評価として、上位波及防止の観点から、第1類の静的地震力を用いてクレーン及びホイストの転倒評価を行う。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>添付図</td> <td>図-1、図-7</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>事業変更許可において、本機器は第3類から第1類へ変更したため、記載を削除。</p> <p>添付書類に位置付けを変更したため、記載を削除。</p> <p>該当しないため、記載を削除。</p> <p>該当しないため、記載を削除。</p>	設備機器名称	ウラン貯蔵建屋天井走行クレーンA、B、C	区分	搬送設備	台数	3基			設置場所	ウラン貯蔵庫			臨界管理	---		主要設備リストで展開。	放射線防護	---			耐震	第3類			材料・構造 (温度、圧力)	---			型式	ホイスト式 (定格荷重: 16 t)			主要寸法	スパン: 約 10460 mm サドルホイストベース: 約 4800 mm		該当しないため、記載を削除。	主要材料	炭素鋼 (SS 41)			性能	---			核燃料物質の状態	---			その他	(1) シリンダ類の最下面までの吊上げ高さは、高さ制限機構により、1.2m以下に制限する。 (2) 電源喪失により動力の供給が停止した場合は、そのままの状態でもシリンダ類を保持する。 (3) 耐震評価として、上位波及防止の観点から、第1類の静的地震力を用いてクレーン及びホイストの転倒評価を行う。			添付図	図-1、図-7			<p>1.2 搬送設備 a. 搬送設備</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>変更前</td> <td>変更後</td> </tr> <tr> <td>名称^{*1}</td> <td>天井走行クレーン A, B, C^{*7, *8}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>種類^{*2}</td> <td>ホイスト式</td> <td></td> </tr> <tr> <td>容量 (定格荷重)</td> <td>t</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>臨界管理</td> <td>---</td> <td>---</td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>走行レール間距離^{*3}</td> <td>mm</td> <td>10460^{*10}</td> </tr> <tr> <td>サドルホイストベース</td> <td>mm</td> <td>4800^{*10}</td> </tr> <tr> <td>高さ^{*4}</td> <td>mm</td> <td>1679^{*10, *11}</td> </tr> <tr> <td>横行レール間距離</td> <td>mm</td> <td>3080^{*10, *11}</td> </tr> <tr> <td>ホイストホイストベース</td> <td>mm</td> <td>1040^{*10, *11}</td> </tr> <tr> <td>ホイスト高さ</td> <td>mm</td> <td>979^{*10, *11}</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>本体</td> <td>炭素鋼^{*12}</td> </tr> <tr> <td>個数^{*5}</td> <td>基</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>---</td> </tr> <tr> <td></td> <td>設置床 (室名称)^{*6}</td> <td>A ウラン貯蔵室</td> </tr> </table> <p>注記 *1: 記載の適正化。既設工認には「設備機器名称」と記載。 *2: 記載の適正化。既設工認には「型式」と記載。 *3: 記載の適正化。既設工認には「スパン」と記載。 *4: 走行レール上面からホイスト上面までの高さを示す。 *5: 記載の適正化。既設工認には「台数」と記載。 *6: 記載の適正化。既設工認には「設置場所」と記載。 *7: 本機器は、吊り上げ高さを床上より1.2 m以下に制限する機能及び外部電源喪失時に吊り上げ状態を維持する保持機能を有する設計とする。 *8: その他の構成機器として、吊り具を有する設計とする。 *9: シリンダ類の運搬中に他のシリンダ類と接触した場合においても臨界とならないことから臨界管理の対象外であるため「-」とする。 *10: 公称値を示す。 *11: 既設工認に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は設計図書による。 *12: UF₀を内包する機器ではなく、UF₀を閉じ込めるための耐食性、耐圧強度を必要としないため、JIS規格番号は記載しない。 *13: 系統区別を必要としないため「-」とする。</p>		変更前	変更後	名称 ^{*1}	天井走行クレーン A, B, C ^{*7, *8}		種類 ^{*2}	ホイスト式		容量 (定格荷重)	t	16	臨界管理	---	---	主要寸法			走行レール間距離 ^{*3}	mm	10460 ^{*10}	サドルホイストベース	mm	4800 ^{*10}	高さ ^{*4}	mm	1679 ^{*10, *11}	横行レール間距離	mm	3080 ^{*10, *11}	ホイストホイストベース	mm	1040 ^{*10, *11}	ホイスト高さ	mm	979 ^{*10, *11}	主要材料	本体	炭素鋼 ^{*12}	個数 ^{*5}	基	3	取付箇所	系統名 (ライン名)	---		設置床 (室名称) ^{*6}	A ウラン貯蔵室	<p>技術基準</p> <table border="1"> <tr> <td>機能要求②</td> <td>主な仕様 (詳細設計)</td> </tr> <tr> <td>様式-6,7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第十一条 火災等に よる損傷 の防止</td> <td>○火災の発生防止 ・UF₀を内包する機器以外の機器については、可能な限り不燃性又は難燃性の材料(鋼材)を使用し、火災の発生を防止する設計とする。</td> </tr> <tr> <td>第十六条 搬送設備</td> <td>○搬送設備 UF₀シリンダ類及び付着ウラン回収容器の移動に用いる天井走行クレーン、シリンダ搬送台車及びシリンダ搬出車は、これらのシリンダ等の重量に対して十分な強度を有する設計とする。 天井走行クレーンにはUF₀シリンダ類及び付着ウラン回収容器を、落下試験により閉じ込め性を維持できることを確認した高さ(シリンダ1段積みで1.2 m及びシリンダ2段積みで1.85 m)以上に吊り上げることを防止する吊り上げ高さ制限インターロック及び電源喪失時に吊り上げ状態を維持する保持機能を設ける設計とする。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>主要材料</td> </tr> <tr> <td></td> <td>容量 (定格荷重)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>吊り上げ制限高さ 吊り上げ状態維持</td> </tr> </table> <p>【補足説明】 ・評価に必要な数値を記載する方針としていることから、耐震設計上評価している部位について記載を追加する。</p>	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)	様式-6,7		第十一条 火災等に よる損傷 の防止	○火災の発生防止 ・UF ₀ を内包する機器以外の機器については、可能な限り不燃性又は難燃性の材料(鋼材)を使用し、火災の発生を防止する設計とする。	第十六条 搬送設備	○搬送設備 UF ₀ シリンダ類及び付着ウラン回収容器の移動に用いる天井走行クレーン、シリンダ搬送台車及びシリンダ搬出車は、これらのシリンダ等の重量に対して十分な強度を有する設計とする。 天井走行クレーンにはUF ₀ シリンダ類及び付着ウラン回収容器を、落下試験により閉じ込め性を維持できることを確認した高さ(シリンダ1段積みで1.2 m及びシリンダ2段積みで1.85 m)以上に吊り上げることを防止する吊り上げ高さ制限インターロック及び電源喪失時に吊り上げ状態を維持する保持機能を設ける設計とする。		主要材料		容量 (定格荷重)		吊り上げ制限高さ 吊り上げ状態維持	<table border="1"> <tr> <td>名</td> <td>称</td> <td>変更前</td> <td>変更後</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>原子炉建屋クレーン</td> <td></td> </tr> <tr> <td>種</td> <td>類</td> <td>天井走行式</td> <td></td> </tr> <tr> <td>主</td> <td>巻</td> <td>t</td> <td>125</td> </tr> <tr> <td>容</td> <td>巻</td> <td>t</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>量</td> <td>巻</td> <td>t</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td>モノレールホイスト</td> <td>t</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>主</td> <td>要</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>寸</td> <td>法</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>走行レール間距離^{*1}</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>クレーン本体ガード距離</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>クレーン本体ガード幅</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>クレーン本体ガード高さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>材</td> <td>料</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>ガード</td> <td></td> <td>SM50A^{*3}</td> </tr> <tr> <td>個</td> <td>数</td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>取</td> <td>付</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>箇</td> <td>所</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>系統名 (ライン名)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>設置床</td> <td></td> <td>Fl. 54.50 m^{*2}</td> </tr> <tr> <td></td> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>注記 *1: 記載の適正化を行う。既工事計画書には「スパン」と記載。 *2: 記載の適正化を行う。既工事計画書には「」と記載。 *3: 公称値を示す。 *4: 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。 *5: 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成元年4月26日付け発管業発第37号にて届け出した工事計画の添付書類「1-2-1 原子炉建屋クレーンの耐震性についての計算書」による。</p>	名	称	変更前	変更後			原子炉建屋クレーン		種	類	天井走行式		主	巻	t	125	容	巻	t	5	量	巻	t	1		モノレールホイスト	t	10	主	要			寸	法				走行レール間距離 ^{*1}	mm			クレーン本体ガード距離	mm			高さ	mm			クレーン本体ガード幅	mm			クレーン本体ガード高さ	mm		材	料				ガード		SM50A ^{*3}	個	数		1	取	付			箇	所				系統名 (ライン名)				設置床		Fl. 54.50 m ^{*2}		溢水防護上の区画番号				溢水防護上の配慮が必要な高さ			<p>溢水防護設計の対象外の機器であるため、溢水に係る項目(区画、高さ等)は記載していない。</p>
設備機器名称	ウラン貯蔵建屋天井走行クレーンA、B、C	区分	搬送設備																																																																																																																																																																																																																			
台数	3基																																																																																																																																																																																																																					
設置場所	ウラン貯蔵庫																																																																																																																																																																																																																					
臨界管理	---		主要設備リストで展開。																																																																																																																																																																																																																			
放射線防護	---																																																																																																																																																																																																																					
耐震	第3類																																																																																																																																																																																																																					
材料・構造 (温度、圧力)	---																																																																																																																																																																																																																					
型式	ホイスト式 (定格荷重: 16 t)																																																																																																																																																																																																																					
主要寸法	スパン: 約 10460 mm サドルホイストベース: 約 4800 mm		該当しないため、記載を削除。																																																																																																																																																																																																																			
主要材料	炭素鋼 (SS 41)																																																																																																																																																																																																																					
性能	---																																																																																																																																																																																																																					
核燃料物質の状態	---																																																																																																																																																																																																																					
その他	(1) シリンダ類の最下面までの吊上げ高さは、高さ制限機構により、1.2m以下に制限する。 (2) 電源喪失により動力の供給が停止した場合は、そのままの状態でもシリンダ類を保持する。 (3) 耐震評価として、上位波及防止の観点から、第1類の静的地震力を用いてクレーン及びホイストの転倒評価を行う。																																																																																																																																																																																																																					
添付図	図-1、図-7																																																																																																																																																																																																																					
	変更前	変更後																																																																																																																																																																																																																				
名称 ^{*1}	天井走行クレーン A, B, C ^{*7, *8}																																																																																																																																																																																																																					
種類 ^{*2}	ホイスト式																																																																																																																																																																																																																					
容量 (定格荷重)	t	16																																																																																																																																																																																																																				
臨界管理	---	---																																																																																																																																																																																																																				
主要寸法																																																																																																																																																																																																																						
走行レール間距離 ^{*3}	mm	10460 ^{*10}																																																																																																																																																																																																																				
サドルホイストベース	mm	4800 ^{*10}																																																																																																																																																																																																																				
高さ ^{*4}	mm	1679 ^{*10, *11}																																																																																																																																																																																																																				
横行レール間距離	mm	3080 ^{*10, *11}																																																																																																																																																																																																																				
ホイストホイストベース	mm	1040 ^{*10, *11}																																																																																																																																																																																																																				
ホイスト高さ	mm	979 ^{*10, *11}																																																																																																																																																																																																																				
主要材料	本体	炭素鋼 ^{*12}																																																																																																																																																																																																																				
個数 ^{*5}	基	3																																																																																																																																																																																																																				
取付箇所	系統名 (ライン名)	---																																																																																																																																																																																																																				
	設置床 (室名称) ^{*6}	A ウラン貯蔵室																																																																																																																																																																																																																				
機能要求②	主な仕様 (詳細設計)																																																																																																																																																																																																																					
様式-6,7																																																																																																																																																																																																																						
第十一条 火災等に よる損傷 の防止	○火災の発生防止 ・UF ₀ を内包する機器以外の機器については、可能な限り不燃性又は難燃性の材料(鋼材)を使用し、火災の発生を防止する設計とする。																																																																																																																																																																																																																					
第十六条 搬送設備	○搬送設備 UF ₀ シリンダ類及び付着ウラン回収容器の移動に用いる天井走行クレーン、シリンダ搬送台車及びシリンダ搬出車は、これらのシリンダ等の重量に対して十分な強度を有する設計とする。 天井走行クレーンにはUF ₀ シリンダ類及び付着ウラン回収容器を、落下試験により閉じ込め性を維持できることを確認した高さ(シリンダ1段積みで1.2 m及びシリンダ2段積みで1.85 m)以上に吊り上げることを防止する吊り上げ高さ制限インターロック及び電源喪失時に吊り上げ状態を維持する保持機能を設ける設計とする。																																																																																																																																																																																																																					
	主要材料																																																																																																																																																																																																																					
	容量 (定格荷重)																																																																																																																																																																																																																					
	吊り上げ制限高さ 吊り上げ状態維持																																																																																																																																																																																																																					
名	称	変更前	変更後																																																																																																																																																																																																																			
		原子炉建屋クレーン																																																																																																																																																																																																																				
種	類	天井走行式																																																																																																																																																																																																																				
主	巻	t	125																																																																																																																																																																																																																			
容	巻	t	5																																																																																																																																																																																																																			
量	巻	t	1																																																																																																																																																																																																																			
	モノレールホイスト	t	10																																																																																																																																																																																																																			
主	要																																																																																																																																																																																																																					
寸	法																																																																																																																																																																																																																					
	走行レール間距離 ^{*1}	mm																																																																																																																																																																																																																				
	クレーン本体ガード距離	mm																																																																																																																																																																																																																				
	高さ	mm																																																																																																																																																																																																																				
	クレーン本体ガード幅	mm																																																																																																																																																																																																																				
	クレーン本体ガード高さ	mm																																																																																																																																																																																																																				
材	料																																																																																																																																																																																																																					
	ガード		SM50A ^{*3}																																																																																																																																																																																																																			
個	数		1																																																																																																																																																																																																																			
取	付																																																																																																																																																																																																																					
箇	所																																																																																																																																																																																																																					
	系統名 (ライン名)																																																																																																																																																																																																																					
	設置床		Fl. 54.50 m ^{*2}																																																																																																																																																																																																																			
	溢水防護上の区画番号																																																																																																																																																																																																																					
	溢水防護上の配慮が必要な高さ																																																																																																																																																																																																																					

※赤字で示した箇所は、設工認申請書の記載の充実化。適正化を図る箇所を示す。

【凡例】

- : 今回の仕様表と既認可仕様表及び要求事項(様式-6,7等)が整合している項目
- : 既認可仕様表のうち、今回の仕様表に反映しない項目(反映しない理由を吹き出しにて記載)
- : 新規規制基準に係る新たな要求事項(様式-6,7等)として仕様表に追加した項目
- : 発電炉の要目表のうち、今回の仕様表に反映しない項目(反映しない理由を備考に記載)
- : 補足説明内容を示す部分

仕様表記載例 14【機種：機械装置（1/2）】

既認可の仕様表	仕様表	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																																																																																																																															
<p>該当しないため、記載を削除。</p> <p>表-1 均質・ブレンド設備の仕様（2号均質槽）</p> <table border="1"> <tr> <td>設備機器名称</td> <td>2号均質槽</td> <td>区分</td> <td>均質・ブレンド設備</td> </tr> <tr> <td>台数</td> <td>6基</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設置場所</td> <td>2号発回均質室</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設 計 条 件</td> <td colspan="3"> 2号均質槽に収納する中間製品容器と他の臨界管理を必要とするユニットとの相互 間隔30cm以上 </td> </tr> <tr> <td>放射線防護</td> <td colspan="3">—</td> </tr> <tr> <td>耐震</td> <td colspan="3">第1類</td> </tr> <tr> <td>材料・構造 (温度、圧力)</td> <td colspan="3"> 温度：100℃(中間製品容器の熱的制限値は121℃) 圧力：3kgf/cm²G </td> </tr> <tr> <td>型式</td> <td colspan="3">熱水加熱式(間接加熱)及び水冷式(間接冷却)、装荷物：中間製品容器1基/基</td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td colspan="3"> 内径：mm以下 全長：mm 肉厚：mm以上 </td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td colspan="3">炭素鋼</td> </tr> <tr> <td>性能</td> <td colspan="3">—</td> </tr> <tr> <td>核燃料物質の状態</td> <td colspan="3">液体UF₆、固体UF₆</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td colspan="3"> (1) UF₆が圧力が大気圧を超える均質槽出入口配管に配管カバーを設け、UF₆が漏れ いた場合(均質槽出口フランジ内径mm(クリティカル部分))、2号工程用モ ニタで検出し警報を発するとともに自動的に緊急シャットダウンをし、排気を2号局所 排気装置を経由して排気するラインに自動的に切替え、漏れの拡大を防止する。 本インターロックを図-18に示す。 なお、漏れ拡大防止機能の信頼性を上げるため、緊急シャットダウンは二重化する。 (2) 加熱中に2号均質槽中間製品容器圧力又は2号均質槽内温度がそれぞれ 2.7kgf/cm²G、94℃を超えない範囲で警報を発し、自動的に加熱用熱水の供給を停 止する。本インターロックを図-17に示す。 (3) 液化中の2号均質槽の移送弁及びシリンダ駆動中の他の槽の移送弁の誤操作によ り、液化中の2号均質槽より大気圧以上のUF₆が交換中の槽を通じて大気と接触す ることを防止するため、液化中の2号均質槽の移送弁及び交換中の槽の移送弁が閉と ならないようにする。本インターロックを図-18に示す。 (4) UF₆を2号均質槽内の中間製品容器に回収、充填する場合、2号均質槽内の中間 製品容器重量を測定することにより、最大充填量(4500kg-UF₆)を超えない範囲で 警報を発し、充填を停止する。本インターロックを図-19に示す。 </td> </tr> <tr> <td>添付図</td> <td colspan="3">図-1、図-14</td> </tr> </table> <p>添付書類に位置付けを変更したため、記載を削除。</p>	設備機器名称	2号均質槽	区分	均質・ブレンド設備	台数	6基			設置場所	2号発回均質室			設 計 条 件	2号均質槽に収納する中間製品容器と他の臨界管理を必要とするユニットとの相互 間隔30cm以上			放射線防護	—			耐震	第1類			材料・構造 (温度、圧力)	温度：100℃(中間製品容器の熱的制限値は121℃) 圧力：3kgf/cm ² G			型式	熱水加熱式(間接加熱)及び水冷式(間接冷却)、装荷物：中間製品容器1基/基			主要寸法	内径：mm以下 全長：mm 肉厚：mm以上			主要材料	炭素鋼			性能	—			核燃料物質の状態	液体UF ₆ 、固体UF ₆			その他	(1) UF ₆ が圧力が大気圧を超える均質槽出入口配管に配管カバーを設け、UF ₆ が漏れ いた場合(均質槽出口フランジ内径mm(クリティカル部分))、2号工程用モ ニタで検出し警報を発するとともに自動的に緊急シャットダウンをし、排気を2号局所 排気装置を経由して排気するラインに自動的に切替え、漏れの拡大を防止する。 本インターロックを図-18に示す。 なお、漏れ拡大防止機能の信頼性を上げるため、緊急シャットダウンは二重化する。 (2) 加熱中に2号均質槽中間製品容器圧力又は2号均質槽内温度がそれぞれ 2.7kgf/cm ² G、94℃を超えない範囲で警報を発し、自動的に加熱用熱水の供給を停 止する。本インターロックを図-17に示す。 (3) 液化中の2号均質槽の移送弁及びシリンダ駆動中の他の槽の移送弁の誤操作によ り、液化中の2号均質槽より大気圧以上のUF ₆ が交換中の槽を通じて大気と接触す ることを防止するため、液化中の2号均質槽の移送弁及び交換中の槽の移送弁が閉と ならないようにする。本インターロックを図-18に示す。 (4) UF ₆ を2号均質槽内の中間製品容器に回収、充填する場合、2号均質槽内の中間 製品容器重量を測定することにより、最大充填量(4500kg-UF ₆)を超えない範囲で 警報を発し、充填を停止する。本インターロックを図-19に示す。			添付図	図-1、図-14			<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称*</td> <td>—</td> <td>2号均質槽^{*10}</td> </tr> <tr> <td>種類*</td> <td>—</td> <td>熱水加熱式(間接加熱)及び水冷式(間接冷却)</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>—</td> <td>—^{*11}</td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力^{*3}</td> <td>MPaG</td> <td>0.3</td> </tr> <tr> <td>最高使用温度^{*3}</td> <td>℃</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>流体等の種類^{*4}</td> <td>—</td> <td>固体UF₆、気体UF₆、液体UF₆</td> </tr> <tr> <td>臨界管理</td> <td>他ユニットとの相互間隔</td> <td>30以上^{*10}</td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td>内径</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td></td> <td>全長</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td></td> <td>肉厚</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>胴本体</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>個数^{*5}</td> <td>基</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>均質・ブレンド系^{*12}</td> </tr> <tr> <td></td> <td>設置床(室名称)^{*6}</td> <td>2号発回均質室</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：記載の適正化。既設工認には「設備機器名称」と記載。 *2：記載の適正化。既設工認には「型式」と記載。 *3：記載の適正化。既設工認には「材料・構造(温度、圧力)」と記載。 *4：記載の適正化。既設工認には「核燃料物質の状態」と記載。 *5：記載の適正化。既設工認には「台数」と記載。 *6：記載の適正化。既設工認には「設置場所」と記載。 *7：2号均質槽への装荷物は中間製品容器1本/基とし、中間製品容器搬送用子台車を有する設計とする。また、均質槽周囲に防護カバーを設置する設計とする。 *8：本機器は、工程用モニタUF濃度によるUF₆漏れ拡大防止のインターロック、減圧槽故障による均質槽加熱停止インターロック、2号局所排風機2台停止による加熱停止のインターロック、均質槽内圧力異常による運転停止のインターロック、圧力異常高又は温度異常による加熱停止のインターロック、UF₆シリンダ駆動時の誤操作防止のインターロック、地震発生時のUF₆漏れ防止インターロック、重量異常による過充填防止インターロック、回収側槽圧力異常上昇によるガス移送停止のインターロックの機能を有する設計とする。なお、漏れ拡大防止機能の信頼性を上げるため、緊急遮断弁は二重化する。 *9：本機器は、シリンダを槽内に装填してUF₆を取り扱う機器であり、槽自体に貯留する機能がないため「—」とする。 *10：装荷物(中間製品容器1本/基)を臨界管理の対象とする。 *11：公称値を示す。 *12：既設工認に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。</p>		変更前	変更後	名称*	—	2号均質槽 ^{*10}	種類*	—	熱水加熱式(間接加熱)及び水冷式(間接冷却)	容量	—	— ^{*11}	最高使用圧力 ^{*3}	MPaG	0.3	最高使用温度 ^{*3}	℃	100	流体等の種類 ^{*4}	—	固体UF ₆ 、気体UF ₆ 、液体UF ₆	臨界管理	他ユニットとの相互間隔	30以上 ^{*10}	主要寸法	内径	mm		全長	mm		肉厚	mm	主要材料	胴本体	—	個数 ^{*5}	基	6	取付箇所	系統名(ライン名)	均質・ブレンド系 ^{*12}		設置床(室名称) ^{*6}	2号発回均質室	<table border="1"> <thead> <tr> <th>技術基準</th> <th>機能要求②</th> <th>主な仕様(詳細設計)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第四条 核燃料物質の臨界防止</td> <td>様式-6,7</td> <td>他ユニットとの相互間隔</td> </tr> <tr> <td>第十条 閉じ込めの機能</td> <td> ○複数ユニットの臨界安全設計 複数ユニットは実効増倍率が0.95以下となる配置とし、機器同士が接触しても臨界しないおそれはないが、安全設計上の管理として次の対応を行う。 ・コールドトラップ、製品シリンダ、中間製品容器及び減圧槽は、それぞれ他のユニットと相互の間隔が30cm以上となるように配置する。 ○閉じ込めの機能 ・ウランを内包する設備及び機器は、UF₆等の取り扱う物質に対して耐腐食性を有する材料を使用し、取扱い圧力に応じた耐圧気密性を確保して放射性物質の漏れを防止する設計とする。 ○漏れ拡大防止並びに影響軽減 ウランを内包する設備及び機器から放射性物質が漏れ出した場合に、その漏れを検知できる設計とし、漏れの拡大を防止するためのインターロックの設置、運転員による漏れに対処等により可能な限り放射性物質を建屋内に閉じ込める設計とする。 ・UF₆の漏れ対策として、配管カバーの排気系に工程用モニタ及び局所排気設備を設け、UF₆が漏れ出した場合に、工程用モニタにより早期に検知し、警報を発するとともに、自動的に緊急遮断弁及び局所排気ダクトのダンパを閉止して、UF₆を配管カバー及びその排気系統内に閉じ込める設計とする。 前述の設備のうち、工程用モニタ、緊急遮断弁及び局所排気ダクトのダンパを多重化することにより十分な信頼性を有する設計とする。 </td> <td>検出器の種類 計測範囲 警報動作範囲</td> </tr> <tr> <td>第十一条 火災等による損傷の防止</td> <td>○火災の発生防止 ・UF₆を内包する設備及び機器の主要な部分は不燃性材料(鋼製)により製作するとともに、電気計装ケーブルは、可能な限り難燃性ケーブルを使用する。</td> <td>主要材料</td> </tr> <tr> <td>第十五条 材料及び構造</td> <td>○材料 (1) 機械的強度及び化学的成分 容器等に使用する材料は、その使用される圧力、温度、荷重その他の使用条件に対して適切な機械的強度及び化学的成分を有する材料を使用する。 ○耐圧試験等 ・UF₆を正圧で取り扱う中間製品容器、サンプルシリンダ及び計量シリンダを収納する均質槽は、高压ガス保安法を満たす設計とし、ゲージ圧0.45MPaの耐圧試験により強度を確認したものを使用する。</td> <td>主要材料 最高使用圧力 最高使用温度 主要材料 主要寸法</td> </tr> <tr> <td>第十八条 警報設備等</td> <td>・加熱中に原料シリンダ、製品シリンダ、劣化ウランの詰替えに用いる廃品シリンダ及び中間製品容器内の圧力又は温度が異常に上昇した場合は、UF₆を大気圧未満で取り扱う場合においては、大気圧を超えない範囲又は管理温度を超えない範囲で、均質槽で中間製品容器内のUF₆の液化を行う場合においては液化操作時の管理圧力又は管理温度を超えない範囲で、警報を発するとともに自動的に熱水の供給を停止する圧力異常高又は温度異常高による加熱停止のインターロックを設ける。 (次ページにつづく)</td> <td>検出器の種類 計測範囲 警報動作範囲</td> </tr> </tbody> </table>	技術基準	機能要求②	主な仕様(詳細設計)	第四条 核燃料物質の臨界防止	様式-6,7	他ユニットとの相互間隔	第十条 閉じ込めの機能	○複数ユニットの臨界安全設計 複数ユニットは実効増倍率が0.95以下となる配置とし、機器同士が接触しても臨界しないおそれはないが、安全設計上の管理として次の対応を行う。 ・コールドトラップ、製品シリンダ、中間製品容器及び減圧槽は、それぞれ他のユニットと相互の間隔が30cm以上となるように配置する。 ○閉じ込めの機能 ・ウランを内包する設備及び機器は、UF ₆ 等の取り扱う物質に対して耐腐食性を有する材料を使用し、取扱い圧力に応じた耐圧気密性を確保して放射性物質の漏れを防止する設計とする。 ○漏れ拡大防止並びに影響軽減 ウランを内包する設備及び機器から放射性物質が漏れ出した場合に、その漏れを検知できる設計とし、漏れの拡大を防止するためのインターロックの設置、運転員による漏れに対処等により可能な限り放射性物質を建屋内に閉じ込める設計とする。 ・UF ₆ の漏れ対策として、配管カバーの排気系に工程用モニタ及び局所排気設備を設け、UF ₆ が漏れ出した場合に、工程用モニタにより早期に検知し、警報を発するとともに、自動的に緊急遮断弁及び局所排気ダクトのダンパを閉止して、UF ₆ を配管カバー及びその排気系統内に閉じ込める設計とする。 前述の設備のうち、工程用モニタ、緊急遮断弁及び局所排気ダクトのダンパを多重化することにより十分な信頼性を有する設計とする。	検出器の種類 計測範囲 警報動作範囲	第十一条 火災等による損傷の防止	○火災の発生防止 ・UF ₆ を内包する設備及び機器の主要な部分は不燃性材料(鋼製)により製作するとともに、電気計装ケーブルは、可能な限り難燃性ケーブルを使用する。	主要材料	第十五条 材料及び構造	○材料 (1) 機械的強度及び化学的成分 容器等に使用する材料は、その使用される圧力、温度、荷重その他の使用条件に対して適切な機械的強度及び化学的成分を有する材料を使用する。 ○耐圧試験等 ・UF ₆ を正圧で取り扱う中間製品容器、サンプルシリンダ及び計量シリンダを収納する均質槽は、高压ガス保安法を満たす設計とし、ゲージ圧0.45MPaの耐圧試験により強度を確認したものを使用する。	主要材料 最高使用圧力 最高使用温度 主要材料 主要寸法	第十八条 警報設備等	・加熱中に原料シリンダ、製品シリンダ、劣化ウランの詰替えに用いる廃品シリンダ及び中間製品容器内の圧力又は温度が異常に上昇した場合は、UF ₆ を大気圧未満で取り扱う場合においては、大気圧を超えない範囲又は管理温度を超えない範囲で、均質槽で中間製品容器内のUF ₆ の液化を行う場合においては液化操作時の管理圧力又は管理温度を超えない範囲で、警報を発するとともに自動的に熱水の供給を停止する圧力異常高又は温度異常高による加熱停止のインターロックを設ける。 (次ページにつづく)	検出器の種類 計測範囲 警報動作範囲	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">変更前</th> <th colspan="2">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>格納容器内水蒸気濃度^{*1}</td> <td>—</td> <td>格納容器内水蒸気濃度</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>熱伝導式水蒸気検出器</td> <td>0~20 0~100</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>検出器の種類</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>計測範囲</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>警報動作範囲</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>EL.20.30 m^{*2} EL.29.00 m^{*3}</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>—</td> <td>RB-3-1^{*2} RB-4-2^{*3}</td> <td>EL.20.30 m以上^{*2} EL.29.00 m以上^{*3}</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。 *2：対象計器は、H2E-1023-N002A。 *3：対象計器は、H2E-1023-N002B。</p> <p>【補足説明】 ・単一ユニットとしての臨界管理は装填する中間製品容器にて行う。</p>	変更前		変更後		格納容器内水蒸気濃度 ^{*1}	—	格納容器内水蒸気濃度	—	熱伝導式水蒸気検出器	0~20 0~100	—	—	検出器の種類	—	—	—	計測範囲	—	—	—	警報動作範囲	—	—	—	個数	—	—	—	系統名(ライン名)	—	—	—	取付箇所	EL.20.30 m ^{*2} EL.29.00 m ^{*3}	—	—	取付箇所	—	RB-3-1 ^{*2} RB-4-2 ^{*3}	EL.20.30 m以上 ^{*2} EL.29.00 m以上 ^{*3}	<p>溢水防護設計の対象外の機器であるため、溢水に係る項目(区画、高さ等)は記載していない。</p>
設備機器名称	2号均質槽	区分	均質・ブレンド設備																																																																																																																																																																
台数	6基																																																																																																																																																																		
設置場所	2号発回均質室																																																																																																																																																																		
設 計 条 件	2号均質槽に収納する中間製品容器と他の臨界管理を必要とするユニットとの相互 間隔30cm以上																																																																																																																																																																		
放射線防護	—																																																																																																																																																																		
耐震	第1類																																																																																																																																																																		
材料・構造 (温度、圧力)	温度：100℃(中間製品容器の熱的制限値は121℃) 圧力：3kgf/cm ² G																																																																																																																																																																		
型式	熱水加熱式(間接加熱)及び水冷式(間接冷却)、装荷物：中間製品容器1基/基																																																																																																																																																																		
主要寸法	内径：mm以下 全長：mm 肉厚：mm以上																																																																																																																																																																		
主要材料	炭素鋼																																																																																																																																																																		
性能	—																																																																																																																																																																		
核燃料物質の状態	液体UF ₆ 、固体UF ₆																																																																																																																																																																		
その他	(1) UF ₆ が圧力が大気圧を超える均質槽出入口配管に配管カバーを設け、UF ₆ が漏れ いた場合(均質槽出口フランジ内径mm(クリティカル部分))、2号工程用モ ニタで検出し警報を発するとともに自動的に緊急シャットダウンをし、排気を2号局所 排気装置を経由して排気するラインに自動的に切替え、漏れの拡大を防止する。 本インターロックを図-18に示す。 なお、漏れ拡大防止機能の信頼性を上げるため、緊急シャットダウンは二重化する。 (2) 加熱中に2号均質槽中間製品容器圧力又は2号均質槽内温度がそれぞれ 2.7kgf/cm ² G、94℃を超えない範囲で警報を発し、自動的に加熱用熱水の供給を停 止する。本インターロックを図-17に示す。 (3) 液化中の2号均質槽の移送弁及びシリンダ駆動中の他の槽の移送弁の誤操作によ り、液化中の2号均質槽より大気圧以上のUF ₆ が交換中の槽を通じて大気と接触す ることを防止するため、液化中の2号均質槽の移送弁及び交換中の槽の移送弁が閉と ならないようにする。本インターロックを図-18に示す。 (4) UF ₆ を2号均質槽内の中間製品容器に回収、充填する場合、2号均質槽内の中間 製品容器重量を測定することにより、最大充填量(4500kg-UF ₆)を超えない範囲で 警報を発し、充填を停止する。本インターロックを図-19に示す。																																																																																																																																																																		
添付図	図-1、図-14																																																																																																																																																																		
	変更前	変更後																																																																																																																																																																	
名称*	—	2号均質槽 ^{*10}																																																																																																																																																																	
種類*	—	熱水加熱式(間接加熱)及び水冷式(間接冷却)																																																																																																																																																																	
容量	—	— ^{*11}																																																																																																																																																																	
最高使用圧力 ^{*3}	MPaG	0.3																																																																																																																																																																	
最高使用温度 ^{*3}	℃	100																																																																																																																																																																	
流体等の種類 ^{*4}	—	固体UF ₆ 、気体UF ₆ 、液体UF ₆																																																																																																																																																																	
臨界管理	他ユニットとの相互間隔	30以上 ^{*10}																																																																																																																																																																	
主要寸法	内径	mm																																																																																																																																																																	
	全長	mm																																																																																																																																																																	
	肉厚	mm																																																																																																																																																																	
主要材料	胴本体	—																																																																																																																																																																	
個数 ^{*5}	基	6																																																																																																																																																																	
取付箇所	系統名(ライン名)	均質・ブレンド系 ^{*12}																																																																																																																																																																	
	設置床(室名称) ^{*6}	2号発回均質室																																																																																																																																																																	
技術基準	機能要求②	主な仕様(詳細設計)																																																																																																																																																																	
第四条 核燃料物質の臨界防止	様式-6,7	他ユニットとの相互間隔																																																																																																																																																																	
第十条 閉じ込めの機能	○複数ユニットの臨界安全設計 複数ユニットは実効増倍率が0.95以下となる配置とし、機器同士が接触しても臨界しないおそれはないが、安全設計上の管理として次の対応を行う。 ・コールドトラップ、製品シリンダ、中間製品容器及び減圧槽は、それぞれ他のユニットと相互の間隔が30cm以上となるように配置する。 ○閉じ込めの機能 ・ウランを内包する設備及び機器は、UF ₆ 等の取り扱う物質に対して耐腐食性を有する材料を使用し、取扱い圧力に応じた耐圧気密性を確保して放射性物質の漏れを防止する設計とする。 ○漏れ拡大防止並びに影響軽減 ウランを内包する設備及び機器から放射性物質が漏れ出した場合に、その漏れを検知できる設計とし、漏れの拡大を防止するためのインターロックの設置、運転員による漏れに対処等により可能な限り放射性物質を建屋内に閉じ込める設計とする。 ・UF ₆ の漏れ対策として、配管カバーの排気系に工程用モニタ及び局所排気設備を設け、UF ₆ が漏れ出した場合に、工程用モニタにより早期に検知し、警報を発するとともに、自動的に緊急遮断弁及び局所排気ダクトのダンパを閉止して、UF ₆ を配管カバー及びその排気系統内に閉じ込める設計とする。 前述の設備のうち、工程用モニタ、緊急遮断弁及び局所排気ダクトのダンパを多重化することにより十分な信頼性を有する設計とする。	検出器の種類 計測範囲 警報動作範囲																																																																																																																																																																	
第十一条 火災等による損傷の防止	○火災の発生防止 ・UF ₆ を内包する設備及び機器の主要な部分は不燃性材料(鋼製)により製作するとともに、電気計装ケーブルは、可能な限り難燃性ケーブルを使用する。	主要材料																																																																																																																																																																	
第十五条 材料及び構造	○材料 (1) 機械的強度及び化学的成分 容器等に使用する材料は、その使用される圧力、温度、荷重その他の使用条件に対して適切な機械的強度及び化学的成分を有する材料を使用する。 ○耐圧試験等 ・UF ₆ を正圧で取り扱う中間製品容器、サンプルシリンダ及び計量シリンダを収納する均質槽は、高压ガス保安法を満たす設計とし、ゲージ圧0.45MPaの耐圧試験により強度を確認したものを使用する。	主要材料 最高使用圧力 最高使用温度 主要材料 主要寸法																																																																																																																																																																	
第十八条 警報設備等	・加熱中に原料シリンダ、製品シリンダ、劣化ウランの詰替えに用いる廃品シリンダ及び中間製品容器内の圧力又は温度が異常に上昇した場合は、UF ₆ を大気圧未満で取り扱う場合においては、大気圧を超えない範囲又は管理温度を超えない範囲で、均質槽で中間製品容器内のUF ₆ の液化を行う場合においては液化操作時の管理圧力又は管理温度を超えない範囲で、警報を発するとともに自動的に熱水の供給を停止する圧力異常高又は温度異常高による加熱停止のインターロックを設ける。 (次ページにつづく)	検出器の種類 計測範囲 警報動作範囲																																																																																																																																																																	
変更前		変更後																																																																																																																																																																	
格納容器内水蒸気濃度 ^{*1}	—	格納容器内水蒸気濃度	—																																																																																																																																																																
熱伝導式水蒸気検出器	0~20 0~100	—	—																																																																																																																																																																
検出器の種類	—	—	—																																																																																																																																																																
計測範囲	—	—	—																																																																																																																																																																
警報動作範囲	—	—	—																																																																																																																																																																
個数	—	—	—																																																																																																																																																																
系統名(ライン名)	—	—	—																																																																																																																																																																
取付箇所	EL.20.30 m ^{*2} EL.29.00 m ^{*3}	—	—																																																																																																																																																																
取付箇所	—	RB-3-1 ^{*2} RB-4-2 ^{*3}	EL.20.30 m以上 ^{*2} EL.29.00 m以上 ^{*3}																																																																																																																																																																

仕様表記載例 14 【機種：機械装置（2/2）】

既認可の仕様表	仕様表	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考						
		<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1386 287 1466 348">技術基準</th> <th data-bbox="1466 287 1813 348">機能要求② 様式-6,7</th> <th data-bbox="1813 287 1979 348">主な仕様 (詳細設計)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1386 348 1466 1417">第十八条 警報設備 等</td> <td data-bbox="1466 348 1813 1417"> <p>(前ページのつづき)</p> <ul style="list-style-type: none"> 均質槽、製品シリンダ槽及び原料シリンダ槽のUF₆回収時に、UF₆シリンダ類への過充填を防止するため、最大充填量に達する前に警報を発するとともに、自動的に充填を停止するインターロックを設ける。 減圧槽が故障した場合に、自動的に均質槽の加熱を停止する減圧槽故障による均質槽加熱停止インターロックを設ける。 中間製品容器からのUF₆の漏えい等により均質槽内の圧力が通常使用圧力より有意に上昇した場合に、自動的に均質槽の加熱を停止する均質槽槽内圧力異常高による運転停止のインターロックを設ける。 局所排風機が2台停止した場合に、均質槽及びサンプル小分け装置の加熱を停止する2号局所排風機2台停止による加熱停止インターロックを設ける。 槽間のガス移送時に、回収側の槽類の圧力が上昇(ただし大気圧以下)した場合に、移送元の移送停止及び回収側の槽の回収を停止する回収側槽類圧力異常上昇によるガス移送停止のインターロックを設ける。 地震発生時の液化の自動停止操作に替えて、第1類に求められる地震力を超えない程度の地震加速度(震度5強～6弱程度(第2類の地震力に相当するおおよそ250Gal程度))を検知して警報を発し、現場の従事者を速やかに退避させるとともに、自動的に緊急遮断弁(均質槽元弁)及び局所排気ダクトのダンパを閉じ、均質槽、製品シリンダ槽、原料シリンダ槽、均質バージ系コールドトラップ及びサンプル小分け装置の加熱を停止し、UF₆を閉じ込めるインターロックを設ける。 UF₆が漏えいした場合に、工程用モニタにより早期に検知し、警報を発するとともに、自動的に緊急遮断弁及び局所排気ダクトのダンパを閉止するとともに、均質槽及びサンプル小分け装置の加熱を停止し、UF₆を配管カバー及びその排気系統内に閉じ込める工程用モニタHF濃度高によるUF₆漏えい拡大防止のインターロックを設ける。 </td> <td data-bbox="1813 348 1979 1417"> 検出器の種類 計測範囲 警報動作範囲 </td> </tr> </tbody> </table>	技術基準	機能要求② 様式-6,7	主な仕様 (詳細設計)	第十八条 警報設備 等	<p>(前ページのつづき)</p> <ul style="list-style-type: none"> 均質槽、製品シリンダ槽及び原料シリンダ槽のUF₆回収時に、UF₆シリンダ類への過充填を防止するため、最大充填量に達する前に警報を発するとともに、自動的に充填を停止するインターロックを設ける。 減圧槽が故障した場合に、自動的に均質槽の加熱を停止する減圧槽故障による均質槽加熱停止インターロックを設ける。 中間製品容器からのUF₆の漏えい等により均質槽内の圧力が通常使用圧力より有意に上昇した場合に、自動的に均質槽の加熱を停止する均質槽槽内圧力異常高による運転停止のインターロックを設ける。 局所排風機が2台停止した場合に、均質槽及びサンプル小分け装置の加熱を停止する2号局所排風機2台停止による加熱停止インターロックを設ける。 槽間のガス移送時に、回収側の槽類の圧力が上昇(ただし大気圧以下)した場合に、移送元の移送停止及び回収側の槽の回収を停止する回収側槽類圧力異常上昇によるガス移送停止のインターロックを設ける。 地震発生時の液化の自動停止操作に替えて、第1類に求められる地震力を超えない程度の地震加速度(震度5強～6弱程度(第2類の地震力に相当するおおよそ250Gal程度))を検知して警報を発し、現場の従事者を速やかに退避させるとともに、自動的に緊急遮断弁(均質槽元弁)及び局所排気ダクトのダンパを閉じ、均質槽、製品シリンダ槽、原料シリンダ槽、均質バージ系コールドトラップ及びサンプル小分け装置の加熱を停止し、UF₆を閉じ込めるインターロックを設ける。 UF₆が漏えいした場合に、工程用モニタにより早期に検知し、警報を発するとともに、自動的に緊急遮断弁及び局所排気ダクトのダンパを閉止するとともに、均質槽及びサンプル小分け装置の加熱を停止し、UF₆を配管カバー及びその排気系統内に閉じ込める工程用モニタHF濃度高によるUF₆漏えい拡大防止のインターロックを設ける。 	検出器の種類 計測範囲 警報動作範囲		
技術基準	機能要求② 様式-6,7	主な仕様 (詳細設計)								
第十八条 警報設備 等	<p>(前ページのつづき)</p> <ul style="list-style-type: none"> 均質槽、製品シリンダ槽及び原料シリンダ槽のUF₆回収時に、UF₆シリンダ類への過充填を防止するため、最大充填量に達する前に警報を発するとともに、自動的に充填を停止するインターロックを設ける。 減圧槽が故障した場合に、自動的に均質槽の加熱を停止する減圧槽故障による均質槽加熱停止インターロックを設ける。 中間製品容器からのUF₆の漏えい等により均質槽内の圧力が通常使用圧力より有意に上昇した場合に、自動的に均質槽の加熱を停止する均質槽槽内圧力異常高による運転停止のインターロックを設ける。 局所排風機が2台停止した場合に、均質槽及びサンプル小分け装置の加熱を停止する2号局所排風機2台停止による加熱停止インターロックを設ける。 槽間のガス移送時に、回収側の槽類の圧力が上昇(ただし大気圧以下)した場合に、移送元の移送停止及び回収側の槽の回収を停止する回収側槽類圧力異常上昇によるガス移送停止のインターロックを設ける。 地震発生時の液化の自動停止操作に替えて、第1類に求められる地震力を超えない程度の地震加速度(震度5強～6弱程度(第2類の地震力に相当するおおよそ250Gal程度))を検知して警報を発し、現場の従事者を速やかに退避させるとともに、自動的に緊急遮断弁(均質槽元弁)及び局所排気ダクトのダンパを閉じ、均質槽、製品シリンダ槽、原料シリンダ槽、均質バージ系コールドトラップ及びサンプル小分け装置の加熱を停止し、UF₆を閉じ込めるインターロックを設ける。 UF₆が漏えいした場合に、工程用モニタにより早期に検知し、警報を発するとともに、自動的に緊急遮断弁及び局所排気ダクトのダンパを閉止するとともに、均質槽及びサンプル小分け装置の加熱を停止し、UF₆を配管カバー及びその排気系統内に閉じ込める工程用モニタHF濃度高によるUF₆漏えい拡大防止のインターロックを設ける。 	検出器の種類 計測範囲 警報動作範囲								

【凡例】

- : 今回の仕様表と既認可仕様表及び要求事項(様式-6,7等)が整合している項目
- : 既認可仕様表のうち、今回の仕様表に反映しない項目(反映しない理由を吹き出しにて記載)
- : 新規制基準に係る新たな要求事項(様式-6,7等)として仕様表に追加した項目
- : 発電炉の要目表のうち、今回の仕様表に反映しない項目(反映しない理由を備考に記載)
- : 補足説明内容を示す部分

仕様表記載例 15 【機種：核物質等取扱ボックス】

既認可の仕様表	仕様表	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																																																																				
<p>表-2 その他の主要な設備の仕様 (除染ハウス)</p> <table border="1"> <tr> <td>設備機器名称</td> <td>除染ハウス</td> <td>分</td> <td>除染設備</td> </tr> <tr> <td>台数</td> <td>一式</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設置場所</td> <td>除染室</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>臨界管理</td> <td></td> <td></td> <td>主要設備リストで展開。</td> </tr> <tr> <td>放射線防護</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐震</td> <td>第3類</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>材料・構造 (温度、圧力)</td> <td>温度：常温 圧力：—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>型式</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td>幅：約7100mm 奥行：約4000mm 高さ：約4200mm</td> <td></td> <td>該当しないため、記載を削除。</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>炭素鋼 (SS41)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>性能</td> <td>排気フード開口部の風速：0.5 m/s以上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>核燃料物質の状態</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>ケミカルトラップ (NaF) のNaF交換作業、その他の機器の除染作業を行うための作業場の囲いとして設置する。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>添付図</td> <td>図-2、図-5</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>該当しないため、記載を削除。</p> <p>基本設計方針で展開。</p> <p>添付書類に位置付けを変更したため、記載を削除</p>	設備機器名称	除染ハウス	分	除染設備	台数	一式			設置場所	除染室			臨界管理			主要設備リストで展開。	放射線防護				耐震	第3類			材料・構造 (温度、圧力)	温度：常温 圧力：—			型式				主要寸法	幅：約7100mm 奥行：約4000mm 高さ：約4200mm		該当しないため、記載を削除。	主要材料	炭素鋼 (SS41)			性能	排気フード開口部の風速：0.5 m/s以上			核燃料物質の状態				その他	ケミカルトラップ (NaF) のNaF交換作業、その他の機器の除染作業を行うための作業場の囲いとして設置する。			添付図	図-2、図-5			<p>e. 核物質等取扱ボックス</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称^{*1}</td> <td>—</td> <td>除染ハウス</td> </tr> <tr> <td>種類^{*2}</td> <td>—^{*6}</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>開口部風速 (排気フード)^{*3}</td> <td>m/s</td> <td>0.5以上</td> </tr> <tr> <td>臨界管理</td> <td>—</td> <td>—^{*7}</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>4000^{*8}</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>7085^{*8}</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>4150^{*8}</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>—</td> <td>炭素鋼^{*9}</td> </tr> <tr> <td>個数^{*4}</td> <td>式</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">取付箇所</td> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>—^{*10}</td> </tr> <tr> <td>設置床 (室名称)^{*5}</td> <td>—</td> <td>除染室</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：記載の適正化。既設工認には「設備機器名称」と記載。 *2：記載の適正化。既設工認には「型式」と記載。 *3：記載の適正化。既設工認には「性能」と記載。 *4：記載の適正化。既設工認には「台数」と記載。 *5：記載の適正化。既設工認には「設置場所」と記載。 *6：種別を必要としないため「—」とする。 *7：本機器は、UF₆を取り扱う機器ではなく、臨界管理の対象外であるため「—」とする。 *8：公称値を示す。 *9：UF₆を内包する機器ではなく、UF₆を閉じ込めるための耐食性、耐圧強度を必要としないため、JIS規格番号は記載しない。 *10：系統区別を必要としないため「—」とする。 *11：除染ハウス内部の排気フードについては、これまでの機器点検等の実績を踏まえ、使用する用途がないこと及び今後も使用予定がないことから撤去する。</p>		変更前	変更後	名称 ^{*1}	—	除染ハウス	種類 ^{*2}	— ^{*6}	—	開口部風速 (排気フード) ^{*3}	m/s	0.5以上	臨界管理	—	— ^{*7}	主要寸法	たて	mm	4000 ^{*8}	横	mm	7085 ^{*8}	高さ	mm	4150 ^{*8}	主要材料	—	炭素鋼 ^{*9}	個数 ^{*4}	式	1	取付箇所	系統名 (ライン名)	— ^{*10}	設置床 (室名称) ^{*5}	—	除染室	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">技術基準</th> <th>機能要求②</th> <th rowspan="2">主な仕様 (詳細設計)</th> </tr> <tr> <th>様式-6,7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第十一条 火災等に よる損傷 の防止</td> <td>○火災の発生防止 ・UF₆を内包する機器以外の機器については、可能な限り不燃性又は難燃性の材料 (鋼材) を使用し、火災の発生を防止する設計とする。</td> <td>主要材料</td> </tr> </tbody> </table> <p>【補足説明】 ・排気フードは、機器点検等の作業中の実績 (空気中の放射性物質濃度：×10⁻⁶ ~ ×10⁻⁸ Bq/cm³程度) から放射性物質の飛散がほとんどないこと及び従事者に対し必要な放射線防護措置 (全面マスク、タイベック着用等) が講じられていることから、排気フードを使用する用途がなく、今後も使用予定がないことから排気フードを撤去する。</p>	技術基準	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)	様式-6,7	第十一条 火災等に よる損傷 の防止	○火災の発生防止 ・UF ₆ を内包する機器以外の機器については、可能な限り不燃性又は難燃性の材料 (鋼材) を使用し、火災の発生を防止する設計とする。	主要材料	<p><発電炉要目表なし></p>	
設備機器名称	除染ハウス	分	除染設備																																																																																																					
台数	一式																																																																																																							
設置場所	除染室																																																																																																							
臨界管理			主要設備リストで展開。																																																																																																					
放射線防護																																																																																																								
耐震	第3類																																																																																																							
材料・構造 (温度、圧力)	温度：常温 圧力：—																																																																																																							
型式																																																																																																								
主要寸法	幅：約7100mm 奥行：約4000mm 高さ：約4200mm		該当しないため、記載を削除。																																																																																																					
主要材料	炭素鋼 (SS41)																																																																																																							
性能	排気フード開口部の風速：0.5 m/s以上																																																																																																							
核燃料物質の状態																																																																																																								
その他	ケミカルトラップ (NaF) のNaF交換作業、その他の機器の除染作業を行うための作業場の囲いとして設置する。																																																																																																							
添付図	図-2、図-5																																																																																																							
	変更前	変更後																																																																																																						
名称 ^{*1}	—	除染ハウス																																																																																																						
種類 ^{*2}	— ^{*6}	—																																																																																																						
開口部風速 (排気フード) ^{*3}	m/s	0.5以上																																																																																																						
臨界管理	—	— ^{*7}																																																																																																						
主要寸法	たて	mm	4000 ^{*8}																																																																																																					
	横	mm	7085 ^{*8}																																																																																																					
	高さ	mm	4150 ^{*8}																																																																																																					
主要材料	—	炭素鋼 ^{*9}																																																																																																						
個数 ^{*4}	式	1																																																																																																						
取付箇所	系統名 (ライン名)	— ^{*10}																																																																																																						
	設置床 (室名称) ^{*5}	—	除染室																																																																																																					
技術基準	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)																																																																																																						
	様式-6,7																																																																																																							
第十一条 火災等に よる損傷 の防止	○火災の発生防止 ・UF ₆ を内包する機器以外の機器については、可能な限り不燃性又は難燃性の材料 (鋼材) を使用し、火災の発生を防止する設計とする。	主要材料																																																																																																						

- 【凡例】
- : 今回の仕様表と既認可仕様表及び要求事項 (様式-6,7等) が整合している項目
 - : 既認可仕様表のうち、今回の仕様表に反映しない項目 (反映しない理由を吹き出しにて記載)
 - : 新規規制基準に係る新たな要求事項 (様式-6,7等) として仕様表に追加した項目
 - : 発電炉の要目表のうち、今回の仕様表に反映しない項目 (反映しない理由を備考に記載)
 - : 補足説明内容を示す部分

仕様表記載例 22a 【機種：計装／放管設備（計測装置）】

既認可の仕様表	仕様表	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																				
<p style="text-align: center;">【既認可仕様表の該当無し】</p> <p>機器の仕様として申請していたため、検出器単体での仕様表の該当はなし。</p>	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">変更前</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">変更後</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">均質槽内圧力計*1</td> <td style="text-align: center;">均質槽内圧力計*1</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">検出器の種類</td> <td style="text-align: center;">検出器</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計測範囲</td> <td style="text-align: center;">-100 ~ 300</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">警報動作範囲</td> <td style="text-align: center;">通常使用圧力より有意な上昇と判断される圧力 (kPaG) 以下</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">個数</td> <td style="text-align: center;">6</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">系統名 (ライン名)</td> <td style="text-align: center;">均質槽内圧力</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">設置床 (室名称)</td> <td style="text-align: center;">2号発回均質室</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">取付箇所</td> <td style="text-align: center;"></td> </tr> </table> <p>注記 *1：本機器は、既存の設備である。</p>	変更前	変更後	均質槽内圧力計*1	均質槽内圧力計*1	検出器の種類	検出器	計測範囲	-100 ~ 300	警報動作範囲	通常使用圧力より有意な上昇と判断される圧力 (kPaG) 以下	個数	6	系統名 (ライン名)	均質槽内圧力	設置床 (室名称)	2号発回均質室	取付箇所		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th style="width: 10%;">技術基準</th> <th style="width: 50%;">機能要求②</th> <th style="width: 40%;">主な仕様 (詳細設計)</th> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">様式-6, 7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第十条 閉じ込めの機能</td> <td>○漏えい拡大防止並びに影響軽減 ウランを内包する設備及び機器から放射性物質が漏えいした場合に、その漏えいを検知できる設計とし、漏えいの拡大を防止するためのインターロックの設置、運転員による漏えい対処等により可能な限り放射性物質を建屋内に閉じ込める設計とする。</td> <td>検出器の種類 計測範囲 警報動作範囲</td> </tr> <tr> <td>第十八条 警報設備等</td> <td>加熱中に原料シリンダ、製品シリンダ、劣化ウランの詰替えに用いる廃品シリンダ及び中間製品容器内の圧力又は温度が異常に上昇した場合は、UF₆を大気圧未満で取り扱う場合においては、大気圧を超えない範囲又は管理温度を超えない範囲で、均質槽で中間製品容器内のUF₆の液化を行う場合においては液化操作時の管理圧力又は管理温度を超えない範囲で、警報を発するとともに自動的に熱水の供給を停止する圧力異常高又は温度異常高による加熱停止のインターロックを設ける。</td> <td>検出器の種類 計測範囲 警報動作範囲</td> </tr> </table>	技術基準	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)		様式-6, 7		第十条 閉じ込めの機能	○漏えい拡大防止並びに影響軽減 ウランを内包する設備及び機器から放射性物質が漏えいした場合に、その漏えいを検知できる設計とし、漏えいの拡大を防止するためのインターロックの設置、運転員による漏えい対処等により可能な限り放射性物質を建屋内に閉じ込める設計とする。	検出器の種類 計測範囲 警報動作範囲	第十八条 警報設備等	加熱中に原料シリンダ、製品シリンダ、劣化ウランの詰替えに用いる廃品シリンダ及び中間製品容器内の圧力又は温度が異常に上昇した場合は、UF ₆ を大気圧未満で取り扱う場合においては、大気圧を超えない範囲又は管理温度を超えない範囲で、均質槽で中間製品容器内のUF ₆ の液化を行う場合においては液化操作時の管理圧力又は管理温度を超えない範囲で、警報を発するとともに自動的に熱水の供給を停止する圧力異常高又は温度異常高による加熱停止のインターロックを設ける。	検出器の種類 計測範囲 警報動作範囲	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th style="width: 10%;">変更前</th> <th style="width: 90%;">変更後</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">格納容器内水素濃度*1</td> <td style="text-align: center;">変更なし</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">熱伝導式水素検出器</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計測範囲</td> <td style="text-align: center;">0~20</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">警報動作範囲</td> <td style="text-align: center;">0~100</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">個数</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">系統名 (ライン名)</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">設置床</td> <td style="text-align: center;">格納容器内水素濃度</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">取付箇所</td> <td style="text-align: center;">EL. 20.30 m*2 EL. 29.00 m*3</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">溢水防護上の区画番号</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">溢水防護上の配置が必要な高さ</td> <td style="text-align: center;">RB-3-1*2 RB-4-2*3 EL. 20.30 m 以上*2 EL. 29.00 m 以上*3</td> </tr> </table> <p>注記 *1：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。 *2：対象計器は、H2E-D23-N002A。 *3：対象計器は、H2E-D23-N002B。</p>	変更前	変更後	格納容器内水素濃度*1	変更なし	熱伝導式水素検出器	-	計測範囲	0~20	警報動作範囲	0~100	個数	-	系統名 (ライン名)	2	設置床	格納容器内水素濃度	取付箇所	EL. 20.30 m*2 EL. 29.00 m*3	溢水防護上の区画番号	-	溢水防護上の配置が必要な高さ	RB-3-1*2 RB-4-2*3 EL. 20.30 m 以上*2 EL. 29.00 m 以上*3	<p>溢水防護設計の対象外の機器であるため、溢水に係る項目（区画、高さ等）は記載していない。</p>
変更前	変更後																																																							
均質槽内圧力計*1	均質槽内圧力計*1																																																							
検出器の種類	検出器																																																							
計測範囲	-100 ~ 300																																																							
警報動作範囲	通常使用圧力より有意な上昇と判断される圧力 (kPaG) 以下																																																							
個数	6																																																							
系統名 (ライン名)	均質槽内圧力																																																							
設置床 (室名称)	2号発回均質室																																																							
取付箇所																																																								
技術基準	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)																																																						
	様式-6, 7																																																							
第十条 閉じ込めの機能	○漏えい拡大防止並びに影響軽減 ウランを内包する設備及び機器から放射性物質が漏えいした場合に、その漏えいを検知できる設計とし、漏えいの拡大を防止するためのインターロックの設置、運転員による漏えい対処等により可能な限り放射性物質を建屋内に閉じ込める設計とする。	検出器の種類 計測範囲 警報動作範囲																																																						
第十八条 警報設備等	加熱中に原料シリンダ、製品シリンダ、劣化ウランの詰替えに用いる廃品シリンダ及び中間製品容器内の圧力又は温度が異常に上昇した場合は、UF ₆ を大気圧未満で取り扱う場合においては、大気圧を超えない範囲又は管理温度を超えない範囲で、均質槽で中間製品容器内のUF ₆ の液化を行う場合においては液化操作時の管理圧力又は管理温度を超えない範囲で、警報を発するとともに自動的に熱水の供給を停止する圧力異常高又は温度異常高による加熱停止のインターロックを設ける。	検出器の種類 計測範囲 警報動作範囲																																																						
変更前	変更後																																																							
格納容器内水素濃度*1	変更なし																																																							
熱伝導式水素検出器	-																																																							
計測範囲	0~20																																																							
警報動作範囲	0~100																																																							
個数	-																																																							
系統名 (ライン名)	2																																																							
設置床	格納容器内水素濃度																																																							
取付箇所	EL. 20.30 m*2 EL. 29.00 m*3																																																							
溢水防護上の区画番号	-																																																							
溢水防護上の配置が必要な高さ	RB-3-1*2 RB-4-2*3 EL. 20.30 m 以上*2 EL. 29.00 m 以上*3																																																							

【凡例】

- ：今回の仕様表と既認可仕様表及び要求事項（様式-6, 7等）が整合している項目
- ：既認可仕様表のうち、今回の仕様表に反映しない項目（反映しない理由を吹き出しにて記載）
- ：新規基準に係る新たな要求事項（様式-6, 7等）として仕様表に追加した項目
- ：発電炉の要目表のうち、今回の仕様表に反映しない項目（反映しない理由を備考に記載）
- ：補足説明内容を示す部分

仕様表記載例 23d 【機種：建物・構築物（施設外漏えい防止堰）】

既認可の仕様表	仕様表	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																																																																																						
<p>表-49 液体廃棄物の廃棄設備の仕様（堰）</p> <p>該当しないため、記載を削除。</p> <table border="1"> <tr> <td>設備機器名称</td> <td>堰</td> <td>区分</td> <td>液体廃棄物の廃棄設備</td> </tr> <tr> <td>台数</td> <td>一式</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設置場所</td> <td>除染室</td> <td></td> <td>管理廃水処理室</td> </tr> <tr> <td>設計条件</td> <td>臨界管理</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>放射線防護</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>耐震</td> <td></td> <td>第2類*</td> </tr> <tr> <td></td> <td>材料・構造 (温度、圧力)</td> <td></td> <td>主要設備リストで展開。</td> </tr> <tr> <td>型式</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td>堰A 内のり：1900 mm以上 × 5700 mm以上 高さ：150 mm以上</td> <td>堰B 内のり：10000 mm以上 × 4000 mm以上 高さ：25 mm以上</td> <td>堰C 内のり：4200 mm以上 × 23000 mm以上 高さ：90 mm以上</td> <td>堰D 内のり：18000 mm以上 × 40000 mm以上 高さ：30 mm以上</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td colspan="3">コンクリート</td> </tr> <tr> <td>性能</td> <td>容量：0.04m³以上</td> <td>容量：0.71m³以上</td> <td>容量：5.87m³以上</td> <td>容量：9.88m³以上</td> </tr> <tr> <td>核燃料物質の状態</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td colspan="3">*：建物の一部として設計している。</td> </tr> <tr> <td>添付図</td> <td colspan="3">図-49、図-50</td> </tr> </table> <p>添付書類に位置付けを変更したため、記載を削除</p> <p>【補足説明】 ・全社作成要領において、「同一仕様の設備は、仕様表を1つにまとめてよい」としているが、本設備は仕様（寸法等）が異なるものを1つにまとめていたため、4つに見直した。（仕様表を4つに分割）</p>	設備機器名称	堰	区分	液体廃棄物の廃棄設備	台数	一式			設置場所	除染室		管理廃水処理室	設計条件	臨界管理				放射線防護				耐震		第2類*		材料・構造 (温度、圧力)		主要設備リストで展開。	型式				主要寸法	堰A 内のり：1900 mm以上 × 5700 mm以上 高さ：150 mm以上	堰B 内のり：10000 mm以上 × 4000 mm以上 高さ：25 mm以上	堰C 内のり：4200 mm以上 × 23000 mm以上 高さ：90 mm以上	堰D 内のり：18000 mm以上 × 40000 mm以上 高さ：30 mm以上	主要材料	コンクリート			性能	容量：0.04m ³ 以上	容量：0.71m ³ 以上	容量：5.87m ³ 以上	容量：9.88m ³ 以上	核燃料物質の状態				その他	*：建物の一部として設計している。			添付図	図-49、図-50			<p>d. 建物・構築物</p> <table border="1"> <tr> <td>名称^{*1}</td> <td>堰 A</td> </tr> <tr> <td>種類^{*2}</td> <td>堰^{*6,7}</td> </tr> <tr> <td>容量^{*3}</td> <td>m³ 0.64 以上</td> </tr> <tr> <td>臨界管理</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td>内のり：1900 以上 × 5700 以上 高さ：150 以上 堰本体：コンクリート^{*9}</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>個数^{*4} 区画</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>系統名（ライン名）：高放射性廃水処理系^{*7} 設置床（室名称）：除染室</td> </tr> </table> <p>注記 *1：記載の適正化。既設工認には「機器名」と記載。 *2：記載の適正化。既設工認には「型式」と記載。 *3：記載の適正化。既設工認には「性能」と記載。 *4：記載の適正化。既設工認には「台数」と記載。 *5：記載の適正化。既設工認には「設置場所」と記載。 *6：建物（中央操作棟）の一部として設計する。 *7：既設工認に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。 *8：高放射性廃水処理系のウラン廃水は、洗缶設備の空のシリンダー類（16 kg-L 以下）の洗浄水であり、臨界管理の対象外であるため、「—」とする。 *9：堰の内面には、液体状の核燃料物質等が漏えいし難い樹脂塗装を施す設計とする。</p> <p>変更前</p> <p>変更後</p> <p>変更なし</p>	名称 ^{*1}	堰 A	種類 ^{*2}	堰 ^{*6,7}	容量 ^{*3}	m ³ 0.64 以上	臨界管理	—	主要寸法	内のり：1900 以上 × 5700 以上 高さ：150 以上 堰本体：コンクリート ^{*9}	主要材料	個数 ^{*4} 区画	取付箇所	系統名（ライン名）：高放射性廃水処理系 ^{*7} 設置床（室名称）：除染室	<p>技術基準</p> <table border="1"> <tr> <td>第十条</td> <td>機能要求② 様式-6,7</td> <td>主な仕様 (詳細設計) 主要寸法 主要材料 樹脂塗装を施す設計</td> </tr> <tr> <td>第十一条</td> <td>○液体廃棄物の漏えい防止 管理廃水処理設備の貯槽類は、廃水の漏えいを防止するとともに、万一、漏えいした場合でも、漏えいの拡大を防止する設計とする。 ・床上設置の貯槽類の周辺には必要に応じて堰を設ける。また、IF₁の保管場所の周辺には、堰等を設ける。 ・貯槽類の周辺及び IF₁の保管場所の周辺の床の全面及び汚染のおそれのある範囲の壁を樹脂塗装等により平滑に仕上げ、除染しやすい構造とする。</td> <td>○火災の発生防止 ・IF₁を内包する機器以外の機器については、可能な限り不燃性又は難燃性の材料（鋼材）を使用し、火災の発生を防止する設計とする。</td> </tr> </table> <p>【補足説明】 ・最新の共通 06 の整理に基づき、項目の削除を検討した。本施設の施設外漏えい防止堰（溢水防護のための堰は含まない）は全て液体廃棄物の廃棄設備の堰であり、臨界管理の対象外である。よって、施設外漏えい防止堰全てにおいて、臨界管理に対する要求がないため項目を削除する。</p> <p>【補足説明】 ・濃縮個別 30 の修正を反映し、個数に対する要求がないことから項目を削除する。</p> <p>【補足説明】 ・既認可（仕様表への記載なし）を踏まえ、注記とする。</p>	第十条	機能要求② 様式-6,7	主な仕様 (詳細設計) 主要寸法 主要材料 樹脂塗装を施す設計	第十一条	○液体廃棄物の漏えい防止 管理廃水処理設備の貯槽類は、廃水の漏えいを防止するとともに、万一、漏えいした場合でも、漏えいの拡大を防止する設計とする。 ・床上設置の貯槽類の周辺には必要に応じて堰を設ける。また、IF ₁ の保管場所の周辺には、堰等を設ける。 ・貯槽類の周辺及び IF ₁ の保管場所の周辺の床の全面及び汚染のおそれのある範囲の壁を樹脂塗装等により平滑に仕上げ、除染しやすい構造とする。	○火災の発生防止 ・IF ₁ を内包する機器以外の機器については、可能な限り不燃性又は難燃性の材料（鋼材）を使用し、火災の発生を防止する設計とする。	<p>3 その他の設備に係る次の事項</p> <p>(2) 原子炉格納容器本体外に設置される流体状の放射性廃棄物を内包する容器からの流体状の放射性廃棄物の施設外への漏えいを防止するために施設する堰（放射性廃棄物運搬容器にあっては、流体状の放射性廃棄物の施設外への漏えいを防止するために施設する設備）の名称、主要寸法、材料及び取付箇所並びに床面及び壁面の塗装の範囲及び材料</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種</td> <td>類^{*2}</td> <td>—</td> <td>堰</td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td>堰の高さ</td> <td>mm</td> <td>150 以上^{*3, *4}</td> </tr> <tr> <td>床面及び壁面の塗装の範囲^{*4}</td> <td>—</td> <td>床面及び床面から堰の高さ以上までの壁面</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>材料</td> <td>堰</td> <td>—</td> <td>鉄筋コンクリート</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>床面及び壁面の塗装^{*4}</td> <td>—</td> <td>エポキシ樹脂</td> </tr> <tr> <td>系統名（ライン名）</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>EL. 8.30 m^{*5}</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備と兼用する。 *2：浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備に使用する場合の事項を記載。 *3：EL. 8.30 m からの高さ。 *4：記載の適正化を行う。既工事計画書には「床・壁の塗装」と記載。 *5：記載の適正化を行う。既工事計画書には「サイトバンカトラックエリア（一階）」と記載。 *6：記載の適正化を行う。既工事計画書には「15 cm 以上」と記載。</p>	名称		変更前	変更後	種	類 ^{*2}	—	堰	主要寸法	堰の高さ	mm	150 以上 ^{*3, *4}	床面及び壁面の塗装の範囲 ^{*4}	—	床面及び床面から堰の高さ以上までの壁面	—	材料	堰	—	鉄筋コンクリート	取付箇所	床面及び壁面の塗装 ^{*4}	—	エポキシ樹脂	系統名（ライン名）	—	—	—	設置床	—	EL. 8.30 m ^{*5}	—	溢水防護上の区画番号	—	—	—	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—	—	<p>変更なし</p> <p>溢水防護設計の対象外の機器であるため、溢水に係る項目（区画、高さ等）は記載していない。</p>
設備機器名称	堰	区分	液体廃棄物の廃棄設備																																																																																																																							
台数	一式																																																																																																																									
設置場所	除染室		管理廃水処理室																																																																																																																							
設計条件	臨界管理																																																																																																																									
	放射線防護																																																																																																																									
	耐震		第2類*																																																																																																																							
	材料・構造 (温度、圧力)		主要設備リストで展開。																																																																																																																							
型式																																																																																																																										
主要寸法	堰A 内のり：1900 mm以上 × 5700 mm以上 高さ：150 mm以上	堰B 内のり：10000 mm以上 × 4000 mm以上 高さ：25 mm以上	堰C 内のり：4200 mm以上 × 23000 mm以上 高さ：90 mm以上	堰D 内のり：18000 mm以上 × 40000 mm以上 高さ：30 mm以上																																																																																																																						
主要材料	コンクリート																																																																																																																									
性能	容量：0.04m ³ 以上	容量：0.71m ³ 以上	容量：5.87m ³ 以上	容量：9.88m ³ 以上																																																																																																																						
核燃料物質の状態																																																																																																																										
その他	*：建物の一部として設計している。																																																																																																																									
添付図	図-49、図-50																																																																																																																									
名称 ^{*1}	堰 A																																																																																																																									
種類 ^{*2}	堰 ^{*6,7}																																																																																																																									
容量 ^{*3}	m ³ 0.64 以上																																																																																																																									
臨界管理	—																																																																																																																									
主要寸法	内のり：1900 以上 × 5700 以上 高さ：150 以上 堰本体：コンクリート ^{*9}																																																																																																																									
主要材料	個数 ^{*4} 区画																																																																																																																									
取付箇所	系統名（ライン名）：高放射性廃水処理系 ^{*7} 設置床（室名称）：除染室																																																																																																																									
第十条	機能要求② 様式-6,7	主な仕様 (詳細設計) 主要寸法 主要材料 樹脂塗装を施す設計																																																																																																																								
第十一条	○液体廃棄物の漏えい防止 管理廃水処理設備の貯槽類は、廃水の漏えいを防止するとともに、万一、漏えいした場合でも、漏えいの拡大を防止する設計とする。 ・床上設置の貯槽類の周辺には必要に応じて堰を設ける。また、IF ₁ の保管場所の周辺には、堰等を設ける。 ・貯槽類の周辺及び IF ₁ の保管場所の周辺の床の全面及び汚染のおそれのある範囲の壁を樹脂塗装等により平滑に仕上げ、除染しやすい構造とする。	○火災の発生防止 ・IF ₁ を内包する機器以外の機器については、可能な限り不燃性又は難燃性の材料（鋼材）を使用し、火災の発生を防止する設計とする。																																																																																																																								
名称		変更前	変更後																																																																																																																							
種	類 ^{*2}	—	堰																																																																																																																							
主要寸法	堰の高さ	mm	150 以上 ^{*3, *4}																																																																																																																							
床面及び壁面の塗装の範囲 ^{*4}	—	床面及び床面から堰の高さ以上までの壁面	—																																																																																																																							
材料	堰	—	鉄筋コンクリート																																																																																																																							
取付箇所	床面及び壁面の塗装 ^{*4}	—	エポキシ樹脂																																																																																																																							
系統名（ライン名）	—	—	—																																																																																																																							
設置床	—	EL. 8.30 m ^{*5}	—																																																																																																																							
溢水防護上の区画番号	—	—	—																																																																																																																							
溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—	—																																																																																																																							

※赤字で示した箇所は、設工認申請書の記載の充実化。適正化を図る箇所を示す。

【凡例】

- ：今回の仕様表と既認可仕様表及び要求事項（様式-6,7 等）が整合している項目
- ：既認可仕様表のうち、今回の仕様表に反映しない項目（反映しない理由を吹き出しにて記載）
- ：新規制基準に係る新たな要求事項（様式-6,7 等）として仕様表に追加した項目
- ：発電炉の要目表のうち、今回の仕様表に反映しない項目（反映しない理由を備考に記載）
- ：補足説明内容を示す部分

仕様表記載例 23e 【機種：建物・構築物（保管・廃棄エリア）】

既認可の仕様表	仕様表	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																																																																																																																								
<p>該当しないため、記載を削除。</p> <p>表-1 固体廃棄物の廃棄設備の仕様（保管廃棄区画）</p> <table border="1"> <tr><td>許可番号（日付）</td><td>平成 20・12・16 原第 3 号（平成 22 年 1 月 21 日付）</td></tr> <tr><td>主要な設備及び機器の種類</td><td>放射性廃棄物の廃棄施設</td></tr> <tr><td>許可との対応</td><td>上記施設の構成機器</td></tr> <tr><td>設備・機器名称</td><td>固体廃棄物の廃棄設備</td></tr> <tr><td>設備・機器の区分</td><td>本体</td></tr> <tr><td>設置場所</td><td>ウラン貯蔵・廃棄物建屋 Bウラン濃縮廃棄物室</td></tr> <tr><td>機器名</td><td>保管廃棄区画</td></tr> <tr><td>変更内容</td><td>新設</td></tr> <tr><td>台数</td><td>1区画（保管廃棄区画②） *1</td></tr> <tr><td>型式</td><td>—</td></tr> <tr><td>主要な構造材</td><td>—</td></tr> <tr><td>寸法</td><td>保管廃棄区画①（既設） 7440mm 以上（東西）×31000mm 以上（南北） 保管廃棄区画②（新設） 7440mm 以上（東西）×44640mm 以上（南北）</td></tr> <tr><td>温度、圧力</td><td>—</td></tr> <tr><td>その他の構成機器</td><td>—</td></tr> <tr><td>その他の性能</td><td>—</td></tr> <tr><td>核燃料物質の状態</td><td>—</td></tr> <tr><td>核燃料物質の臨界防止</td><td>—</td></tr> <tr><td>火災等による損傷の防止</td><td>—</td></tr> <tr><td>耐震性</td><td>—</td></tr> <tr><td>材料及び構造</td><td>—</td></tr> <tr><td>閉じ込めの機能</td><td>—</td></tr> <tr><td>しゃへい</td><td>—</td></tr> <tr><td>換気</td><td>—</td></tr> <tr><td>核燃料物質等による汚染の防止</td><td>—</td></tr> <tr><td>安全上重要な施設</td><td>—</td></tr> <tr><td>搬送設備</td><td>—</td></tr> <tr><td>警報設備等</td><td>—</td></tr> <tr><td>廃棄施設</td><td>—</td></tr> <tr><td>放射線管理施設</td><td>—</td></tr> <tr><td>非常用電源設備</td><td>—</td></tr> <tr><td>その他事業許可で求める仕様</td><td>Bウラン濃縮廃棄物室の保管廃棄能力：約 4400 本（200L ドラム缶換算）</td></tr> <tr><td>添付図</td><td>図-1</td></tr> </table> <p>*1 保管廃棄区画①は、ドラム缶積載段数を 2 段から 3 段に変更するものであり、保管区画の寸法は、既認可済の内容（平成 14・06・11 原第 4 号）から変更なし。</p> <p>該当しないため、記載を削除。</p>	許可番号（日付）	平成 20・12・16 原第 3 号（平成 22 年 1 月 21 日付）	主要な設備及び機器の種類	放射性廃棄物の廃棄施設	許可との対応	上記施設の構成機器	設備・機器名称	固体廃棄物の廃棄設備	設備・機器の区分	本体	設置場所	ウラン貯蔵・廃棄物建屋 Bウラン濃縮廃棄物室	機器名	保管廃棄区画	変更内容	新設	台数	1区画（保管廃棄区画②） *1	型式	—	主要な構造材	—	寸法	保管廃棄区画①（既設） 7440mm 以上（東西）×31000mm 以上（南北） 保管廃棄区画②（新設） 7440mm 以上（東西）×44640mm 以上（南北）	温度、圧力	—	その他の構成機器	—	その他の性能	—	核燃料物質の状態	—	核燃料物質の臨界防止	—	火災等による損傷の防止	—	耐震性	—	材料及び構造	—	閉じ込めの機能	—	しゃへい	—	換気	—	核燃料物質等による汚染の防止	—	安全上重要な施設	—	搬送設備	—	警報設備等	—	廃棄施設	—	放射線管理施設	—	非常用電源設備	—	その他事業許可で求める仕様	Bウラン濃縮廃棄物室の保管廃棄能力：約 4400 本（200L ドラム缶換算）	添付図	図-1	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称^{*1}</td> <td>—</td> <td>固体廃棄物保管廃棄区画（Bウラン濃縮廃棄物室）^{*6}</td> </tr> <tr> <td>種類^{*2}</td> <td>—</td> <td>—^{*7}</td> </tr> <tr> <td>容量^{*3}</td> <td>本</td> <td> <table border="1"> <tr> <td>エリア①</td> <td>約 1800 (200 L ドラム缶換算)</td> <td>エリア②</td> <td>約 2600 (200 L ドラム缶換算)</td> </tr> <tr> <td>上段：約 600</td> <td></td> <td>上段：約 867</td> <td></td> </tr> <tr> <td>中段：約 600</td> <td></td> <td>中段：約 867</td> <td></td> </tr> <tr> <td>下段：約 600</td> <td></td> <td>下段：約 867</td> <td></td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>臨界管理</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>区画面積</td> <td>m²</td> <td> <table border="1"> <tr> <td>エリア①</td> <td>264 以上^{*9}</td> <td>エリア②</td> <td>376 以上^{*9}</td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>区画高さ</td> <td>m</td> <td>3.44 以上^{*10}</td> </tr> <tr> <td>個数^{*4}</td> <td>区画</td> <td>+</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>設置床（室名称）^{*5}</td> <td>Bウラン濃縮廃棄物室</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：記載の適正化。既設工認には「機器名」と記載。 *2：記載の適正化。既設工認には「型式」と記載。 *3：記載の適正化。既設工認には「その他事業許可で求める仕様」と記載。 *4：記載の適正化。既設工認には「台数」と記載。 *5：記載の適正化。既設工認には「設置場所」と記載。 *6：建物（ウラン貯蔵・廃棄物庫）の一部として設計する。 *7：種別を必要としないため「—」とする。 *8：本保管廃棄区画に保管廃棄する廃棄物は、最大ウラン含有量を加工施設保安規定に基づき制限することから、臨界管理の対象外であるため「—」とする。 *9：パレットを介して保管廃棄すること（200 L ドラム缶 4 本/パレット 1 枚）を見込んだ面積を示す。 *10：パレットを介して 3 段積みにて保管廃棄することを見込んだ高さを示す。 *11：系統区別を必要としないため「—」とする。</p> <p>【補足説明】 ・濃縮個別 46 の修正を反映し、仕様項目を修正する。</p> <p>【補足説明】 ・最新の共通 06 の整理に基づき、項目の削除を検討した。保管廃棄区画は建物一体（建物の一部）として設計するものであること及び要求事項が容量であることから、建物で示す仕様等の項目を削除する。</p>		変更前	変更後	名称 ^{*1}	—	固体廃棄物保管廃棄区画（Bウラン濃縮廃棄物室） ^{*6}	種類 ^{*2}	—	— ^{*7}	容量 ^{*3}	本	<table border="1"> <tr> <td>エリア①</td> <td>約 1800 (200 L ドラム缶換算)</td> <td>エリア②</td> <td>約 2600 (200 L ドラム缶換算)</td> </tr> <tr> <td>上段：約 600</td> <td></td> <td>上段：約 867</td> <td></td> </tr> <tr> <td>中段：約 600</td> <td></td> <td>中段：約 867</td> <td></td> </tr> <tr> <td>下段：約 600</td> <td></td> <td>下段：約 867</td> <td></td> </tr> </table>	エリア①	約 1800 (200 L ドラム缶換算)	エリア②	約 2600 (200 L ドラム缶換算)	上段：約 600		上段：約 867		中段：約 600		中段：約 867		下段：約 600		下段：約 867		臨界管理	—	—	区画面積	m ²	<table border="1"> <tr> <td>エリア①</td> <td>264 以上^{*9}</td> <td>エリア②</td> <td>376 以上^{*9}</td> </tr> </table>	エリア①	264 以上 ^{*9}	エリア②	376 以上 ^{*9}	区画高さ	m	3.44 以上 ^{*10}	個数 ^{*4}	区画	+	取付箇所	設置床（室名称） ^{*5}	Bウラン濃縮廃棄物室	<table border="1"> <thead> <tr> <th>技術基準</th> <th>機能要求②</th> <th>主な仕様 (詳細設計)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>様式-6, 7</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>第二十条 廃棄施設</td> <td>○廃棄施設 本施設の放射性廃棄物の保管廃棄施設は、放射性廃棄物を保管廃棄するために必要な容量を有する設計とする。</td> <td>容量 主要寸法</td> </tr> </tbody> </table> <p>【補足説明】 ・最新の共通 06 の整理に基づき、項目の削除を検討した。保管廃棄区画は建物一体（建物の一部）として設計するものであること及び要求事項が容量であることから、建物で示す仕様等の項目を削除する。</p>	技術基準	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)	様式-6, 7			第二十条 廃棄施設	○廃棄施設 本施設の放射性廃棄物の保管廃棄施設は、放射性廃棄物を保管廃棄するために必要な容量を有する設計とする。	容量 主要寸法	<p>(6) 廃棄物貯蔵庫の名称、種類、容量、主要寸法及び材料</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <table border="1"> <tr> <td>名称</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>建物 地上■階建（エリア） 地下■階建（エリア）</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>200L ドラム缶 約■本相当 上段約■本 中段約■本 下段約■本</td> </tr> <tr> <td>たて</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>材料</td> <td>—</td> </tr> </table> </td> <td> <table border="1"> <tr> <td>名称</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>建物 地上■階建（エリア） 地下■階建（エリア）</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>200L ドラム缶 約■本相当 上段約■本 中段約■本 下段約■本</td> </tr> <tr> <td>たて</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>材料</td> <td>—</td> </tr> </table> </td> </tr> </tbody> </table> <p>注記：*（ ）内は、貯蔵エリアを示す。 ：変更後の最右欄は今回増設分を示す。</p>	変更前	変更後	<table border="1"> <tr> <td>名称</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>建物 地上■階建（エリア） 地下■階建（エリア）</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>200L ドラム缶 約■本相当 上段約■本 中段約■本 下段約■本</td> </tr> <tr> <td>たて</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>材料</td> <td>—</td> </tr> </table>	名称	—	種類	建物 地上■階建（エリア） 地下■階建（エリア）	容量	200L ドラム缶 約■本相当 上段約■本 中段約■本 下段約■本	たて	m	横	m	高さ	m	材料	—	<table border="1"> <tr> <td>名称</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>建物 地上■階建（エリア） 地下■階建（エリア）</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>200L ドラム缶 約■本相当 上段約■本 中段約■本 下段約■本</td> </tr> <tr> <td>たて</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>材料</td> <td>—</td> </tr> </table>	名称	—	種類	建物 地上■階建（エリア） 地下■階建（エリア）	容量	200L ドラム缶 約■本相当 上段約■本 中段約■本 下段約■本	たて	m	横	m	高さ	m	材料	—	<p>材料については、建物の仕様表の主要材料で記載しているため、記載しない。</p> <p>主要寸法の外寸については、建物の仕様表の主要寸法（たて×横×高さ）で示しているため、保管エリア寸法を記載する。</p>
許可番号（日付）	平成 20・12・16 原第 3 号（平成 22 年 1 月 21 日付）																																																																																																																																																											
主要な設備及び機器の種類	放射性廃棄物の廃棄施設																																																																																																																																																											
許可との対応	上記施設の構成機器																																																																																																																																																											
設備・機器名称	固体廃棄物の廃棄設備																																																																																																																																																											
設備・機器の区分	本体																																																																																																																																																											
設置場所	ウラン貯蔵・廃棄物建屋 Bウラン濃縮廃棄物室																																																																																																																																																											
機器名	保管廃棄区画																																																																																																																																																											
変更内容	新設																																																																																																																																																											
台数	1区画（保管廃棄区画②） *1																																																																																																																																																											
型式	—																																																																																																																																																											
主要な構造材	—																																																																																																																																																											
寸法	保管廃棄区画①（既設） 7440mm 以上（東西）×31000mm 以上（南北） 保管廃棄区画②（新設） 7440mm 以上（東西）×44640mm 以上（南北）																																																																																																																																																											
温度、圧力	—																																																																																																																																																											
その他の構成機器	—																																																																																																																																																											
その他の性能	—																																																																																																																																																											
核燃料物質の状態	—																																																																																																																																																											
核燃料物質の臨界防止	—																																																																																																																																																											
火災等による損傷の防止	—																																																																																																																																																											
耐震性	—																																																																																																																																																											
材料及び構造	—																																																																																																																																																											
閉じ込めの機能	—																																																																																																																																																											
しゃへい	—																																																																																																																																																											
換気	—																																																																																																																																																											
核燃料物質等による汚染の防止	—																																																																																																																																																											
安全上重要な施設	—																																																																																																																																																											
搬送設備	—																																																																																																																																																											
警報設備等	—																																																																																																																																																											
廃棄施設	—																																																																																																																																																											
放射線管理施設	—																																																																																																																																																											
非常用電源設備	—																																																																																																																																																											
その他事業許可で求める仕様	Bウラン濃縮廃棄物室の保管廃棄能力：約 4400 本（200L ドラム缶換算）																																																																																																																																																											
添付図	図-1																																																																																																																																																											
	変更前	変更後																																																																																																																																																										
名称 ^{*1}	—	固体廃棄物保管廃棄区画（Bウラン濃縮廃棄物室） ^{*6}																																																																																																																																																										
種類 ^{*2}	—	— ^{*7}																																																																																																																																																										
容量 ^{*3}	本	<table border="1"> <tr> <td>エリア①</td> <td>約 1800 (200 L ドラム缶換算)</td> <td>エリア②</td> <td>約 2600 (200 L ドラム缶換算)</td> </tr> <tr> <td>上段：約 600</td> <td></td> <td>上段：約 867</td> <td></td> </tr> <tr> <td>中段：約 600</td> <td></td> <td>中段：約 867</td> <td></td> </tr> <tr> <td>下段：約 600</td> <td></td> <td>下段：約 867</td> <td></td> </tr> </table>	エリア①	約 1800 (200 L ドラム缶換算)	エリア②	約 2600 (200 L ドラム缶換算)	上段：約 600		上段：約 867		中段：約 600		中段：約 867		下段：約 600		下段：約 867																																																																																																																																											
エリア①	約 1800 (200 L ドラム缶換算)	エリア②	約 2600 (200 L ドラム缶換算)																																																																																																																																																									
上段：約 600		上段：約 867																																																																																																																																																										
中段：約 600		中段：約 867																																																																																																																																																										
下段：約 600		下段：約 867																																																																																																																																																										
臨界管理	—	—																																																																																																																																																										
区画面積	m ²	<table border="1"> <tr> <td>エリア①</td> <td>264 以上^{*9}</td> <td>エリア②</td> <td>376 以上^{*9}</td> </tr> </table>	エリア①	264 以上 ^{*9}	エリア②	376 以上 ^{*9}																																																																																																																																																						
エリア①	264 以上 ^{*9}	エリア②	376 以上 ^{*9}																																																																																																																																																									
区画高さ	m	3.44 以上 ^{*10}																																																																																																																																																										
個数 ^{*4}	区画	+																																																																																																																																																										
取付箇所	設置床（室名称） ^{*5}	Bウラン濃縮廃棄物室																																																																																																																																																										
技術基準	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)																																																																																																																																																										
様式-6, 7																																																																																																																																																												
第二十条 廃棄施設	○廃棄施設 本施設の放射性廃棄物の保管廃棄施設は、放射性廃棄物を保管廃棄するために必要な容量を有する設計とする。	容量 主要寸法																																																																																																																																																										
変更前	変更後																																																																																																																																																											
<table border="1"> <tr> <td>名称</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>建物 地上■階建（エリア） 地下■階建（エリア）</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>200L ドラム缶 約■本相当 上段約■本 中段約■本 下段約■本</td> </tr> <tr> <td>たて</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>材料</td> <td>—</td> </tr> </table>	名称	—	種類	建物 地上■階建（エリア） 地下■階建（エリア）	容量	200L ドラム缶 約■本相当 上段約■本 中段約■本 下段約■本	たて	m	横	m	高さ	m	材料	—	<table border="1"> <tr> <td>名称</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>建物 地上■階建（エリア） 地下■階建（エリア）</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>200L ドラム缶 約■本相当 上段約■本 中段約■本 下段約■本</td> </tr> <tr> <td>たて</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>材料</td> <td>—</td> </tr> </table>	名称	—	種類	建物 地上■階建（エリア） 地下■階建（エリア）	容量	200L ドラム缶 約■本相当 上段約■本 中段約■本 下段約■本	たて	m	横	m	高さ	m	材料	—																																																																																																																															
名称	—																																																																																																																																																											
種類	建物 地上■階建（エリア） 地下■階建（エリア）																																																																																																																																																											
容量	200L ドラム缶 約■本相当 上段約■本 中段約■本 下段約■本																																																																																																																																																											
たて	m																																																																																																																																																											
横	m																																																																																																																																																											
高さ	m																																																																																																																																																											
材料	—																																																																																																																																																											
名称	—																																																																																																																																																											
種類	建物 地上■階建（エリア） 地下■階建（エリア）																																																																																																																																																											
容量	200L ドラム缶 約■本相当 上段約■本 中段約■本 下段約■本																																																																																																																																																											
たて	m																																																																																																																																																											
横	m																																																																																																																																																											
高さ	m																																																																																																																																																											
材料	—																																																																																																																																																											

※赤字で示した箇所は、設工認申請書の記載の充実化。適正化を図る箇所を示す。

【凡例】

- ：今回の仕様表と既認可仕様表及び要求事項（様式-6, 7 等）が整合している項目
- ：既認可仕様表のうち、今回の仕様表に反映しない項目（反映しない理由を吹き出しにて記載）
- ：新規制基準に係る新たな要求事項（様式-6, 7 等）として仕様表に追加した項目
- ：発電炉の要目表のうち、今回の仕様表に反映しない項目（反映しない理由を備考に記載）
- ：補足説明内容を示す部分

仕様表記載例 23f 【機種：建物・構築物（火災区域構築物）】

既認可の仕様表	仕様表	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																																																																																																																																																																																																																																							
<p>【既認可仕様表の該当無し】</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">変更前</th> <th colspan="4">変更後</th> </tr> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>種類</th> <th>主要寸法 (mm)</th> <th colspan="2">名称</th> <th>種類</th> <th>主要寸法 (mm)</th> </tr> <tr> <th>火災区域名称</th> <th>区分</th> <th>番号</th> <th></th> <th>火災区域名称</th> <th>区分</th> <th>番号</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>A ウラン貯蔵室^{*1}</td> <td>火災区域</td> <td>R-7</td> <td>150以上 (400[°])</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>B ウラン貯蔵室^{*1}</td> <td>火災区域</td> <td>R-8</td> <td>150以上 (400[°])</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>C ウラン貯蔵室・B ウラン濃縮稼働物室^{*1}</td> <td>火災区域</td> <td>R-9</td> <td>150以上 (400[°])</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：本設備は既存の設備である。 *2：公称値のうち最小のものを示す。</p>	変更前				変更後				名称		種類	主要寸法 (mm)	名称		種類	主要寸法 (mm)	火災区域名称	区分	番号		火災区域名称	区分	番号						A ウラン貯蔵室 ^{*1}	火災区域	R-7	150以上 (400 [°])					B ウラン貯蔵室 ^{*1}	火災区域	R-8	150以上 (400 [°])					C ウラン貯蔵室・B ウラン濃縮稼働物室 ^{*1}	火災区域	R-9	150以上 (400 [°])	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">技術基準</th> <th>機能要求②</th> <th rowspan="2">主な仕様 (詳細設計)</th> </tr> <tr> <th>様式-6, 7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第十一条 火災等による損傷の防止</td> <td> <p>○火災の影響軽減</p> <p>・本施設内のUF₀を内包する設備及び機器を収納する建屋は、建築基準法に基づく耐火建築物又は準耐火建築物とし、建屋の防火区画は、耐火性能を備えた防火壁、防火扉及び防火シャッタにより区画し、火災の延焼を防止する設計とする。</p> <p>・消防法に基づき設定する本施設内の防火区画のうち、UF₀を内包する機器を設置する防火区画を火災区域として設定する。火災区域は、室内の火災荷重から導かれる等価時間（潜在的火災継続時間）以上の耐火能力を有する耐火壁（耐火シール、防火扉、防火シャッタを含む。）によって他の区域と分離する。</p> <p>・各火災区域は、耐火壁により隣接区域間の延焼を防止するか又は耐火壁、隔壁、間隔、消火設備等の組み合わせにより、隣接区域間及び火災区域内の延焼防止を行う設計とする。</p> </td> <td> <p>主要寸法</p> </td> </tr> </tbody> </table>	技術基準	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)	様式-6, 7	第十一条 火災等による損傷の防止	<p>○火災の影響軽減</p> <p>・本施設内のUF₀を内包する設備及び機器を収納する建屋は、建築基準法に基づく耐火建築物又は準耐火建築物とし、建屋の防火区画は、耐火性能を備えた防火壁、防火扉及び防火シャッタにより区画し、火災の延焼を防止する設計とする。</p> <p>・消防法に基づき設定する本施設内の防火区画のうち、UF₀を内包する機器を設置する防火区画を火災区域として設定する。火災区域は、室内の火災荷重から導かれる等価時間（潜在的火災継続時間）以上の耐火能力を有する耐火壁（耐火シール、防火扉、防火シャッタを含む。）によって他の区域と分離する。</p> <p>・各火災区域は、耐火壁により隣接区域間の延焼を防止するか又は耐火壁、隔壁、間隔、消火設備等の組み合わせにより、隣接区域間及び火災区域内の延焼防止を行う設計とする。</p>	<p>主要寸法</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">変更前</th> <th colspan="4">変更後</th> </tr> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>種類</th> <th>主要寸法 (mm)</th> <th colspan="2">名称</th> <th>種類</th> <th>主要寸法 (mm)</th> </tr> <tr> <th>火災区域 (区画) 名称</th> <th>区分</th> <th>番号</th> <th></th> <th>火災区域 (区画) 名称</th> <th>区分</th> <th>番号</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>原子炉建屋原子炉棟及び原子炉建屋付属棟 (R-1) ^{*1}</td><td>火災区域</td><td>R-1</td><td></td><td>原子炉建屋原子炉棟 (R-1) ^{*1}</td><td>火災区域</td><td>R-1</td><td></td></tr> <tr><td>原子炉建屋原子炉棟及び原子炉建屋付属棟 (R-3) ^{*1}</td><td>火災区域</td><td>R-3</td><td></td><td>原子炉建屋原子炉棟 (R-3) ^{*1}</td><td>火災区域</td><td>R-3</td><td></td></tr> <tr><td>原子炉建屋付属棟 (R-4) ^{*1}</td><td>火災区域</td><td>R-4</td><td></td><td>原子炉建屋付属棟 (R-4) ^{*1}</td><td>火災区域</td><td>R-4</td><td></td></tr> <tr><td>原子炉建屋付属棟 (R-5) ^{*1}</td><td>火災区域</td><td>R-5</td><td></td><td>原子炉建屋付属棟 (R-5) ^{*1}</td><td>火災区域</td><td>R-5</td><td></td></tr> <tr><td>原子炉建屋付属棟 (R-6) ^{*1}</td><td>火災区域</td><td>R-6</td><td></td><td>原子炉建屋付属棟 (R-6) ^{*1}</td><td>火災区域</td><td>R-6</td><td></td></tr> <tr><td>原子炉建屋付属棟 (R-7) ^{*1}</td><td>火災区域</td><td>R-7</td><td></td><td>原子炉建屋付属棟 (R-7) ^{*1}</td><td>火災区域</td><td>R-7</td><td></td></tr> <tr><td>原子炉建屋付属棟 (R-8) ^{*1}</td><td>火災区域</td><td>R-8</td><td></td><td>原子炉建屋付属棟 (R-8) ^{*1}</td><td>火災区域</td><td>R-8</td><td></td></tr> <tr><td>原子炉建屋付属棟 (R-9) ^{*1}</td><td>火災区域</td><td>R-9</td><td></td><td>原子炉建屋付属棟 (R-9) ^{*1}</td><td>火災区域</td><td>R-9</td><td></td></tr> <tr><td>原子炉建屋付属棟 (R-10) ^{*1}</td><td>火災区域</td><td>R-10</td><td></td><td>原子炉建屋付属棟 (R-10) ^{*1}</td><td>火災区域</td><td>R-10</td><td></td></tr> <tr><td>原子炉建屋付属棟 (R-11) ^{*1}</td><td>火災区域</td><td>R-11</td><td></td><td>原子炉建屋付属棟 (R-11) ^{*1}</td><td>火災区域</td><td>R-11</td><td></td></tr> <tr><td>原子炉建屋付属棟 (R-12) ^{*1}</td><td>火災区域</td><td>R-12</td><td></td><td>原子炉建屋付属棟 (R-12) ^{*1}</td><td>火災区域</td><td>R-12</td><td></td></tr> <tr><td>原子炉建屋付属棟 (R-04) ^{*1}</td><td>火災区域</td><td>R-04</td><td></td><td>原子炉建屋付属棟 (R-04) ^{*1}</td><td>火災区域</td><td>R-04</td><td></td></tr> <tr><td>原子炉建屋付属棟 (R-05) ^{*1}</td><td>火災区域</td><td>R-05</td><td></td><td>原子炉建屋付属棟 (R-05) ^{*1}</td><td>火災区域</td><td>R-05</td><td></td></tr> <tr><td>原子炉建屋付属棟 (R-06) ^{*1}</td><td>火災区域</td><td>R-06</td><td></td><td>原子炉建屋付属棟 (R-06) ^{*1}</td><td>火災区域</td><td>R-06</td><td></td></tr> <tr><td>原子炉建屋付属棟 (R-07) ^{*1}</td><td>火災区域</td><td>R-07</td><td></td><td>原子炉建屋付属棟 (R-07) ^{*1}</td><td>火災区域</td><td>R-07</td><td></td></tr> <tr><td>原子炉建屋付属棟 (R-08) ^{*1}</td><td>火災区域</td><td>R-08</td><td></td><td>原子炉建屋付属棟 (R-08) ^{*1}</td><td>火災区域</td><td>R-08</td><td></td></tr> <tr><td>原子炉建屋付属棟 (R-09) ^{*1}</td><td>火災区域</td><td>R-09</td><td></td><td>原子炉建屋付属棟 (R-09) ^{*1}</td><td>火災区域</td><td>R-09</td><td></td></tr> <tr><td>原子炉建屋付属棟 (R-10) ^{*1}</td><td>火災区域</td><td>R-10</td><td></td><td>原子炉建屋付属棟 (R-10) ^{*1}</td><td>火災区域</td><td>R-10</td><td></td></tr> <tr><td>原子炉建屋付属棟 (R-11) ^{*1}</td><td>火災区域</td><td>R-11</td><td></td><td>原子炉建屋付属棟 (R-11) ^{*1}</td><td>火災区域</td><td>R-11</td><td></td></tr> <tr><td>原子炉建屋付属棟 (R-12) ^{*1}</td><td>火災区域</td><td>R-12</td><td></td><td>原子炉建屋付属棟 (R-12) ^{*1}</td><td>火災区域</td><td>R-12</td><td></td></tr> <tr><td>原子炉建屋付属棟 (R-04) ^{*1}</td><td>火災区域</td><td>R-04</td><td></td><td>原子炉建屋付属棟 (R-04) ^{*1}</td><td>火災区域</td><td>R-04</td><td></td></tr> <tr><td>原子炉建屋付属棟 (R-05) ^{*1}</td><td>火災区域</td><td>R-05</td><td></td><td>原子炉建屋付属棟 (R-05) ^{*1}</td><td>火災区域</td><td>R-05</td><td></td></tr> <tr><td>原子炉建屋付属棟 (R-06) ^{*1}</td><td>火災区域</td><td>R-06</td><td></td><td>原子炉建屋付属棟 (R-06) ^{*1}</td><td>火災区域</td><td>R-06</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：本設備は既存の設備である。 *2：公称値のうち最小のものを示す。</p>	変更前				変更後				名称		種類	主要寸法 (mm)	名称		種類	主要寸法 (mm)	火災区域 (区画) 名称	区分	番号		火災区域 (区画) 名称	区分	番号		原子炉建屋原子炉棟及び原子炉建屋付属棟 (R-1) ^{*1}	火災区域	R-1		原子炉建屋原子炉棟 (R-1) ^{*1}	火災区域	R-1		原子炉建屋原子炉棟及び原子炉建屋付属棟 (R-3) ^{*1}	火災区域	R-3		原子炉建屋原子炉棟 (R-3) ^{*1}	火災区域	R-3		原子炉建屋付属棟 (R-4) ^{*1}	火災区域	R-4		原子炉建屋付属棟 (R-4) ^{*1}	火災区域	R-4		原子炉建屋付属棟 (R-5) ^{*1}	火災区域	R-5		原子炉建屋付属棟 (R-5) ^{*1}	火災区域	R-5		原子炉建屋付属棟 (R-6) ^{*1}	火災区域	R-6		原子炉建屋付属棟 (R-6) ^{*1}	火災区域	R-6		原子炉建屋付属棟 (R-7) ^{*1}	火災区域	R-7		原子炉建屋付属棟 (R-7) ^{*1}	火災区域	R-7		原子炉建屋付属棟 (R-8) ^{*1}	火災区域	R-8		原子炉建屋付属棟 (R-8) ^{*1}	火災区域	R-8		原子炉建屋付属棟 (R-9) ^{*1}	火災区域	R-9		原子炉建屋付属棟 (R-9) ^{*1}	火災区域	R-9		原子炉建屋付属棟 (R-10) ^{*1}	火災区域	R-10		原子炉建屋付属棟 (R-10) ^{*1}	火災区域	R-10		原子炉建屋付属棟 (R-11) ^{*1}	火災区域	R-11		原子炉建屋付属棟 (R-11) ^{*1}	火災区域	R-11		原子炉建屋付属棟 (R-12) ^{*1}	火災区域	R-12		原子炉建屋付属棟 (R-12) ^{*1}	火災区域	R-12		原子炉建屋付属棟 (R-04) ^{*1}	火災区域	R-04		原子炉建屋付属棟 (R-04) ^{*1}	火災区域	R-04		原子炉建屋付属棟 (R-05) ^{*1}	火災区域	R-05		原子炉建屋付属棟 (R-05) ^{*1}	火災区域	R-05		原子炉建屋付属棟 (R-06) ^{*1}	火災区域	R-06		原子炉建屋付属棟 (R-06) ^{*1}	火災区域	R-06		原子炉建屋付属棟 (R-07) ^{*1}	火災区域	R-07		原子炉建屋付属棟 (R-07) ^{*1}	火災区域	R-07		原子炉建屋付属棟 (R-08) ^{*1}	火災区域	R-08		原子炉建屋付属棟 (R-08) ^{*1}	火災区域	R-08		原子炉建屋付属棟 (R-09) ^{*1}	火災区域	R-09		原子炉建屋付属棟 (R-09) ^{*1}	火災区域	R-09		原子炉建屋付属棟 (R-10) ^{*1}	火災区域	R-10		原子炉建屋付属棟 (R-10) ^{*1}	火災区域	R-10		原子炉建屋付属棟 (R-11) ^{*1}	火災区域	R-11		原子炉建屋付属棟 (R-11) ^{*1}	火災区域	R-11		原子炉建屋付属棟 (R-12) ^{*1}	火災区域	R-12		原子炉建屋付属棟 (R-12) ^{*1}	火災区域	R-12		原子炉建屋付属棟 (R-04) ^{*1}	火災区域	R-04		原子炉建屋付属棟 (R-04) ^{*1}	火災区域	R-04		原子炉建屋付属棟 (R-05) ^{*1}	火災区域	R-05		原子炉建屋付属棟 (R-05) ^{*1}	火災区域	R-05		原子炉建屋付属棟 (R-06) ^{*1}	火災区域	R-06		原子炉建屋付属棟 (R-06) ^{*1}	火災区域	R-06		
変更前				変更後																																																																																																																																																																																																																																																																							
名称		種類	主要寸法 (mm)	名称		種類	主要寸法 (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																				
火災区域名称	区分	番号		火災区域名称	区分	番号																																																																																																																																																																																																																																																																					
				A ウラン貯蔵室 ^{*1}	火災区域	R-7	150以上 (400 [°])																																																																																																																																																																																																																																																																				
				B ウラン貯蔵室 ^{*1}	火災区域	R-8	150以上 (400 [°])																																																																																																																																																																																																																																																																				
				C ウラン貯蔵室・B ウラン濃縮稼働物室 ^{*1}	火災区域	R-9	150以上 (400 [°])																																																																																																																																																																																																																																																																				
技術基準	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)																																																																																																																																																																																																																																																																									
	様式-6, 7																																																																																																																																																																																																																																																																										
第十一条 火災等による損傷の防止	<p>○火災の影響軽減</p> <p>・本施設内のUF₀を内包する設備及び機器を収納する建屋は、建築基準法に基づく耐火建築物又は準耐火建築物とし、建屋の防火区画は、耐火性能を備えた防火壁、防火扉及び防火シャッタにより区画し、火災の延焼を防止する設計とする。</p> <p>・消防法に基づき設定する本施設内の防火区画のうち、UF₀を内包する機器を設置する防火区画を火災区域として設定する。火災区域は、室内の火災荷重から導かれる等価時間（潜在的火災継続時間）以上の耐火能力を有する耐火壁（耐火シール、防火扉、防火シャッタを含む。）によって他の区域と分離する。</p> <p>・各火災区域は、耐火壁により隣接区域間の延焼を防止するか又は耐火壁、隔壁、間隔、消火設備等の組み合わせにより、隣接区域間及び火災区域内の延焼防止を行う設計とする。</p>	<p>主要寸法</p>																																																																																																																																																																																																																																																																									
変更前				変更後																																																																																																																																																																																																																																																																							
名称		種類	主要寸法 (mm)	名称		種類	主要寸法 (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																				
火災区域 (区画) 名称	区分	番号		火災区域 (区画) 名称	区分	番号																																																																																																																																																																																																																																																																					
原子炉建屋原子炉棟及び原子炉建屋付属棟 (R-1) ^{*1}	火災区域	R-1		原子炉建屋原子炉棟 (R-1) ^{*1}	火災区域	R-1																																																																																																																																																																																																																																																																					
原子炉建屋原子炉棟及び原子炉建屋付属棟 (R-3) ^{*1}	火災区域	R-3		原子炉建屋原子炉棟 (R-3) ^{*1}	火災区域	R-3																																																																																																																																																																																																																																																																					
原子炉建屋付属棟 (R-4) ^{*1}	火災区域	R-4		原子炉建屋付属棟 (R-4) ^{*1}	火災区域	R-4																																																																																																																																																																																																																																																																					
原子炉建屋付属棟 (R-5) ^{*1}	火災区域	R-5		原子炉建屋付属棟 (R-5) ^{*1}	火災区域	R-5																																																																																																																																																																																																																																																																					
原子炉建屋付属棟 (R-6) ^{*1}	火災区域	R-6		原子炉建屋付属棟 (R-6) ^{*1}	火災区域	R-6																																																																																																																																																																																																																																																																					
原子炉建屋付属棟 (R-7) ^{*1}	火災区域	R-7		原子炉建屋付属棟 (R-7) ^{*1}	火災区域	R-7																																																																																																																																																																																																																																																																					
原子炉建屋付属棟 (R-8) ^{*1}	火災区域	R-8		原子炉建屋付属棟 (R-8) ^{*1}	火災区域	R-8																																																																																																																																																																																																																																																																					
原子炉建屋付属棟 (R-9) ^{*1}	火災区域	R-9		原子炉建屋付属棟 (R-9) ^{*1}	火災区域	R-9																																																																																																																																																																																																																																																																					
原子炉建屋付属棟 (R-10) ^{*1}	火災区域	R-10		原子炉建屋付属棟 (R-10) ^{*1}	火災区域	R-10																																																																																																																																																																																																																																																																					
原子炉建屋付属棟 (R-11) ^{*1}	火災区域	R-11		原子炉建屋付属棟 (R-11) ^{*1}	火災区域	R-11																																																																																																																																																																																																																																																																					
原子炉建屋付属棟 (R-12) ^{*1}	火災区域	R-12		原子炉建屋付属棟 (R-12) ^{*1}	火災区域	R-12																																																																																																																																																																																																																																																																					
原子炉建屋付属棟 (R-04) ^{*1}	火災区域	R-04		原子炉建屋付属棟 (R-04) ^{*1}	火災区域	R-04																																																																																																																																																																																																																																																																					
原子炉建屋付属棟 (R-05) ^{*1}	火災区域	R-05		原子炉建屋付属棟 (R-05) ^{*1}	火災区域	R-05																																																																																																																																																																																																																																																																					
原子炉建屋付属棟 (R-06) ^{*1}	火災区域	R-06		原子炉建屋付属棟 (R-06) ^{*1}	火災区域	R-06																																																																																																																																																																																																																																																																					
原子炉建屋付属棟 (R-07) ^{*1}	火災区域	R-07		原子炉建屋付属棟 (R-07) ^{*1}	火災区域	R-07																																																																																																																																																																																																																																																																					
原子炉建屋付属棟 (R-08) ^{*1}	火災区域	R-08		原子炉建屋付属棟 (R-08) ^{*1}	火災区域	R-08																																																																																																																																																																																																																																																																					
原子炉建屋付属棟 (R-09) ^{*1}	火災区域	R-09		原子炉建屋付属棟 (R-09) ^{*1}	火災区域	R-09																																																																																																																																																																																																																																																																					
原子炉建屋付属棟 (R-10) ^{*1}	火災区域	R-10		原子炉建屋付属棟 (R-10) ^{*1}	火災区域	R-10																																																																																																																																																																																																																																																																					
原子炉建屋付属棟 (R-11) ^{*1}	火災区域	R-11		原子炉建屋付属棟 (R-11) ^{*1}	火災区域	R-11																																																																																																																																																																																																																																																																					
原子炉建屋付属棟 (R-12) ^{*1}	火災区域	R-12		原子炉建屋付属棟 (R-12) ^{*1}	火災区域	R-12																																																																																																																																																																																																																																																																					
原子炉建屋付属棟 (R-04) ^{*1}	火災区域	R-04		原子炉建屋付属棟 (R-04) ^{*1}	火災区域	R-04																																																																																																																																																																																																																																																																					
原子炉建屋付属棟 (R-05) ^{*1}	火災区域	R-05		原子炉建屋付属棟 (R-05) ^{*1}	火災区域	R-05																																																																																																																																																																																																																																																																					
原子炉建屋付属棟 (R-06) ^{*1}	火災区域	R-06		原子炉建屋付属棟 (R-06) ^{*1}	火災区域	R-06																																																																																																																																																																																																																																																																					

【凡例】

- : 今回の仕様表と既認可仕様表及び要求事項（様式-6, 7等）が整合している項目
- : 既認可仕様表のうち、今回の仕様表に反映しない項目（反映しない理由を吹き出しにて記載）
- : 新規制基準に係る新たな要求事項（様式-6, 7等）として仕様表に追加した項目
- : 発電炉の要目表のうち、今回の仕様表に反映しない項目（反映しない理由を備考に記載）
- : 補足説明内容を示す部分

仕様表記載例 23g 【機種：建物・構築物（防水区画構築物）】

既認可の仕様表	仕様表	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																																																														
<p>【既認可仕様表の該当無し】</p>	<p>1.6 溢水防護設備 a. 溢水防護設備</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称</td> <td>—</td> <td></td> <td>溢水防護堰（固定式）</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td></td> <td>固定式</td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td>高さ mm</td> <td></td> <td>100 以上</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>堰本体</td> <td>—</td> <td>ステンレス鋼</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数</td> <td>基</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所</td> <td>系統名（ライン名）</td> <td>—</td> <td>—*1</td> </tr> <tr> <td>設置床（室名称）</td> <td>—</td> <td>1号中間室, 2号中間室, 1号発生回収室, 1号均質室, 2号発生回収室, ホット予備品室, 付着ウラン回収廃棄物室</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—*2</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—*3</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：系統区別を必要としないため「—」とする。 *2：溢水防護上の区画番号を設定していないことから「—」とする。 *3：溢水による火災の発生の可能性のある機器またはプラント監視に用いる機器ではないことから溢水防護上の配慮が必要な高さは「—」とする。</p>			変更前	変更後	名称	—		溢水防護堰（固定式）	種類	—		固定式	主要寸法	高さ mm		100 以上	主要材料	堰本体	—	ステンレス鋼	個数		基	18	取付箇所	系統名（ライン名）	—	—*1	設置床（室名称）	—	1号中間室, 2号中間室, 1号発生回収室, 1号均質室, 2号発生回収室, ホット予備品室, 付着ウラン回収廃棄物室	溢水防護上の区画番号	—	—*2	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*3	<table border="1"> <thead> <tr> <th>技術基準</th> <th>機能要求② 様式-6, 7</th> <th>主な仕様 (詳細設計)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第十二条 溢水による損傷の防止</td> <td>○溢水防護対策 想定される内部溢水に対して以下の対策を講じる。 ・第1種管理区域内の溢水が、所定の放出経路を 通らずに建屋外へ漏えいしないよう扉部に堰等 を設置する設計とする。 なお、堰の高さについては、水面の変動を考慮した 溢水高さを確保する設計とする。</td> <td>設置床（室名称） 主要寸法</td> </tr> </tbody> </table> <p>【補足説明】 ・濃縮個別 30 の修正を反映し、個数に対する要求がないことから項目を削除する。</p>	技術基準	機能要求② 様式-6, 7	主な仕様 (詳細設計)	第十二条 溢水による損傷の防止	○溢水防護対策 想定される内部溢水に対して以下の対策を講じる。 ・第1種管理区域内の溢水が、所定の放出経路を 通らずに建屋外へ漏えいしないよう扉部に堰等 を設置する設計とする。 なお、堰の高さについては、水面の変動を考慮した 溢水高さを確保する設計とする。	設置床（室名称） 主要寸法	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td colspan="2">—</td> <td></td> <td>原子炉建屋原子炉棟溢水 拡大防止堰 B1-1</td> </tr> <tr> <td>種</td> <td>類</td> <td colspan="2">—</td> <td></td> <td>堰</td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>—</td> <td></td> <td>300 以上*</td> </tr> <tr> <td>材料</td> <td>堰</td> <td colspan="2">—</td> <td></td> <td>鉄筋コンクリート</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所</td> <td>系統名 (ライン名)</td> <td colspan="2">—</td> <td></td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td colspan="2">—</td> <td></td> <td>EL. 2.00 m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の 区画番号</td> <td colspan="2">—</td> <td></td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の 配慮が必要な高さ</td> <td colspan="2">—</td> <td></td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *：EL. 2.00 m からの高さ。</p>					変更前	変更後	名称		—			原子炉建屋原子炉棟溢水 拡大防止堰 B1-1	種	類	—			堰	主要寸法	高さ	mm	—		300 以上*	材料	堰	—			鉄筋コンクリート	取付箇所	系統名 (ライン名)	—			—	設置床	—			EL. 2.00 m	溢水防護上の 区画番号	—			—	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—			—	
		変更前	変更後																																																																																															
名称	—		溢水防護堰（固定式）																																																																																															
種類	—		固定式																																																																																															
主要寸法	高さ mm		100 以上																																																																																															
主要材料	堰本体	—	ステンレス鋼																																																																																															
個数		基	18																																																																																															
取付箇所	系統名（ライン名）	—	—*1																																																																																															
	設置床（室名称）	—	1号中間室, 2号中間室, 1号発生回収室, 1号均質室, 2号発生回収室, ホット予備品室, 付着ウラン回収廃棄物室																																																																																															
	溢水防護上の区画番号	—	—*2																																																																																															
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*3																																																																																															
技術基準	機能要求② 様式-6, 7	主な仕様 (詳細設計)																																																																																																
第十二条 溢水による損傷の防止	○溢水防護対策 想定される内部溢水に対して以下の対策を講じる。 ・第1種管理区域内の溢水が、所定の放出経路を 通らずに建屋外へ漏えいしないよう扉部に堰等 を設置する設計とする。 なお、堰の高さについては、水面の変動を考慮した 溢水高さを確保する設計とする。	設置床（室名称） 主要寸法																																																																																																
				変更前	変更後																																																																																													
名称		—			原子炉建屋原子炉棟溢水 拡大防止堰 B1-1																																																																																													
種	類	—			堰																																																																																													
主要寸法	高さ	mm	—		300 以上*																																																																																													
材料	堰	—			鉄筋コンクリート																																																																																													
取付箇所	系統名 (ライン名)	—			—																																																																																													
	設置床	—			EL. 2.00 m																																																																																													
	溢水防護上の 区画番号	—			—																																																																																													
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—			—																																																																																													

※赤字で示した箇所は、設工認申請書の記載の充実化。適正化を図る箇所を示す。

【凡例】

- : 今回の仕様表と既認可仕様表及び要求事項（様式-6, 7 等）が整合している項目
- : 既認可仕様表のうち、今回の仕様表に反映しない項目（反映しない理由を吹き出しにて記載）
- : 新規制基準に係る新たな要求事項（様式-6, 7 等）として仕様表に追加した項目
- : 発電炉の要目表のうち、今回の仕様表に反映しない項目（反映しない理由を備考に記載）
- : 補足説明内容を示す部分

仕様表記載例 23h 【機種：建物・構築物（飛来物防護設備）】

既認可の仕様表	仕様表	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																														
<p>【既認可仕様表の該当無し】</p>	<p>1.7 竜巻防護設備 a. 飛来物防護設備</p> <table border="1" data-bbox="736 411 1353 846"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td>—</td> <td>竜巻防護扉</td> </tr> <tr> <td colspan="2">種類</td> <td>—</td> <td>手動片開き式</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主要寸法</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>218.3^{*1}</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>850^{*1}</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1926^{*1}</td> </tr> <tr> <td>表側鋼板厚さ</td> <td>mm</td> <td>8.2以上(16^{*1})</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料</td> <td>表側鋼板</td> <td>—</td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>枚</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">取付箇所</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>—^{*2}</td> </tr> <tr> <td>設置床(室名称)</td> <td>—</td> <td>2号発回均質室</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：公称値を示す。 *2：系統区別を必要としないため「—」とする。</p>			変更前	変更後	名称		—	竜巻防護扉	種類		—	手動片開き式	主要寸法	たて	mm	218.3 ^{*1}	横	mm	850 ^{*1}	高さ	mm	1926 ^{*1}	表側鋼板厚さ	mm	8.2以上(16 ^{*1})	主要材料	表側鋼板	—	SUS304	個数	枚	1	取付箇所	系統名(ライン名)	—	— ^{*2}	設置床(室名称)	—	2号発回均質室	<table border="1" data-bbox="1383 390 1985 961"> <thead> <tr> <th rowspan="2">技術基準</th> <th>機能要求②</th> <th rowspan="2">主な仕様 (詳細設計)</th> </tr> <tr> <th>様式-6,7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第八条 外部からの衝撃による損傷の防止</td> <td> <p>○竜巻防護設計 (1) 建屋により防護する施設 建屋により防護する施設を収納する2号発回均質室の開口部(扉, シャッタ)のうち, 設計飛来物の進入により均質槽の安全機能に影響を与え得るおそれのある開口部(扉, シャッタ)には, 防護板等により設計飛来物の進入を防止する設計とする。</p> <p>a. 設計飛来物の貫通を防止することができる又は設計飛来物の運動エネルギーを吸収することができる設計とする。</p> <p>b. 建屋及び設備の耐震性に影響を与えない設計とする。</p> <p>c. 竜巻防護施設の安全機能に影響を与えない設計とする。</p> <p>d. 保守・点検及び資機材等の搬出入を考慮した設計とする。</p> </td> <td> <p>主要寸法(厚さ) 主要材料 設置床(室名称)</p> </td> </tr> </tbody> </table>	技術基準	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)	様式-6,7	第八条 外部からの衝撃による損傷の防止	<p>○竜巻防護設計 (1) 建屋により防護する施設 建屋により防護する施設を収納する2号発回均質室の開口部(扉, シャッタ)のうち, 設計飛来物の進入により均質槽の安全機能に影響を与え得るおそれのある開口部(扉, シャッタ)には, 防護板等により設計飛来物の進入を防止する設計とする。</p> <p>a. 設計飛来物の貫通を防止することができる又は設計飛来物の運動エネルギーを吸収することができる設計とする。</p> <p>b. 建屋及び設備の耐震性に影響を与えない設計とする。</p> <p>c. 竜巻防護施設の安全機能に影響を与えない設計とする。</p> <p>d. 保守・点検及び資機材等の搬出入を考慮した設計とする。</p>	<p>主要寸法(厚さ) 主要材料 設置床(室名称)</p>	<p>< 発電炉要目表なし > 以下発電炉の基本設計方針抜粋</p> <p>2.3.3 設計方針 (中略)</p> <p>防護措置として設置する防護対策施設としては, 防護ネット(硬鋼線材: 線径φ4 mm, 網目寸法40 mm), 防護鋼板(炭素鋼: 板厚16 mm 以上), 架構及び扉(炭素鋼: 板厚31.2 mm 以上)を設置し, 内包する外部事象防護対象施設の機能を損なわないよう, 外部事象防護対象施設の機能喪失に至る可能性のある飛来物が外部事象防護対象施設に衝突することを防止する設計とする。</p>	
		変更前	変更後																																															
名称		—	竜巻防護扉																																															
種類		—	手動片開き式																																															
主要寸法	たて	mm	218.3 ^{*1}																																															
	横	mm	850 ^{*1}																																															
	高さ	mm	1926 ^{*1}																																															
	表側鋼板厚さ	mm	8.2以上(16 ^{*1})																																															
主要材料	表側鋼板	—	SUS304																																															
	個数	枚	1																																															
取付箇所	系統名(ライン名)	—	— ^{*2}																																															
	設置床(室名称)	—	2号発回均質室																																															
技術基準	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)																																																
	様式-6,7																																																	
第八条 外部からの衝撃による損傷の防止	<p>○竜巻防護設計 (1) 建屋により防護する施設 建屋により防護する施設を収納する2号発回均質室の開口部(扉, シャッタ)のうち, 設計飛来物の進入により均質槽の安全機能に影響を与え得るおそれのある開口部(扉, シャッタ)には, 防護板等により設計飛来物の進入を防止する設計とする。</p> <p>a. 設計飛来物の貫通を防止することができる又は設計飛来物の運動エネルギーを吸収することができる設計とする。</p> <p>b. 建屋及び設備の耐震性に影響を与えない設計とする。</p> <p>c. 竜巻防護施設の安全機能に影響を与えない設計とする。</p> <p>d. 保守・点検及び資機材等の搬出入を考慮した設計とする。</p>	<p>主要寸法(厚さ) 主要材料 設置床(室名称)</p>																																																

【凡例】

- : 今回の仕様表と既認可仕様表及び要求事項(様式-6,7等)が整合している項目
- : 既認可仕様表のうち, 今回の仕様表に反映しない項目(反映しない理由を吹き出しにて記載)
- : 新規制基準に係る新たな要求事項(様式-6,7等)として仕様表に追加した項目
- : 発電炉の要目表のうち, 今回の仕様表に反映しない項目(反映しない理由を備考に記載)
- : 補足説明内容を示す部分

